

第7期神戸市介護保険事業計画策定に向けての実態調査 最終報告概要

資料4

調査名称	健康とくらしの調査 (高齢者一般調査)	在宅高齢者実態調査	施設入所者調査				
			(特別養護老人ホーム)	(介護老人保健施設)	(介護療養型医療施設)	(特定施設・サービス付き 高齢者向け住宅)	(認知症対応型共同生活 介護)
調査対象	平成28年10月1日現在、 <u>要介護認定を受けていない</u> 神戸市内に居住する65歳以上の男女	平成28年10月31日現在、 <u>要介護認定を受けている</u> 神戸市内に居住する65歳以上の男女	【施設調査】 平成28年9月30日現在開設中の介護施設等 【入所者調査】 (施設が記入) ① 平成29年1月1日24時現在の入所者 ② 平成28年1月1日～平成28年12月31日に入所・入院利用の実績があり、平成29年1月1日24時まで退所された方				
調査件数	無作為抽出 15,921件 (前回15,905件)	無作為抽出 7,327件 (前回7,418件)	悉皆調査 95施設 (前回86施設)	悉皆調査 56施設 (前回53施設) 〔退所者については 50%を無作為抽出〕	悉皆調査 8施設 (前回15施設)	悉皆調査 特定施設等 105施設 (前回82施設) サ高住 73施設 (前回47施設)	悉皆調査 107施設
調査方法	郵送(本人宅送付) / 無記名回答		郵送(事業所送付) / 記名回答				
調査期間	平成28年11月21日 ～平成28年12月5日	平成29年1月7日～平成29年1月25日					
有効回答数	11,677 (有効回答率: 73.34%)	3,352 (有効回答率: 45.75%)	80施設 (回収率:84.21%)	43施設 (回収率:76.79%)	5施設 (回収率:62.50%)	特定施設等 84施設 (回収率:80.00%) サ高住 48施設 (回収率:65.75%)	86施設 (回収率:80.37%)
前回の有効回答数	11,805 (有効回答率: 74.22%)	3,487 (有効回答率: 47.01%)	78施設 (回収率:90.70%)	45施設 (回収率:84.91%)	11施設 (回収率:73.33%)	特定施設等 65施設 (回収率:79.27%) サ高住 27施設 (回収率:57.45%)	

「健康とくらしの調査」における神戸市と大規模市平均との比較

(1) 要介護リスク：虚弱者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「虚弱者割合」は「80-84歳」で低くなっている。

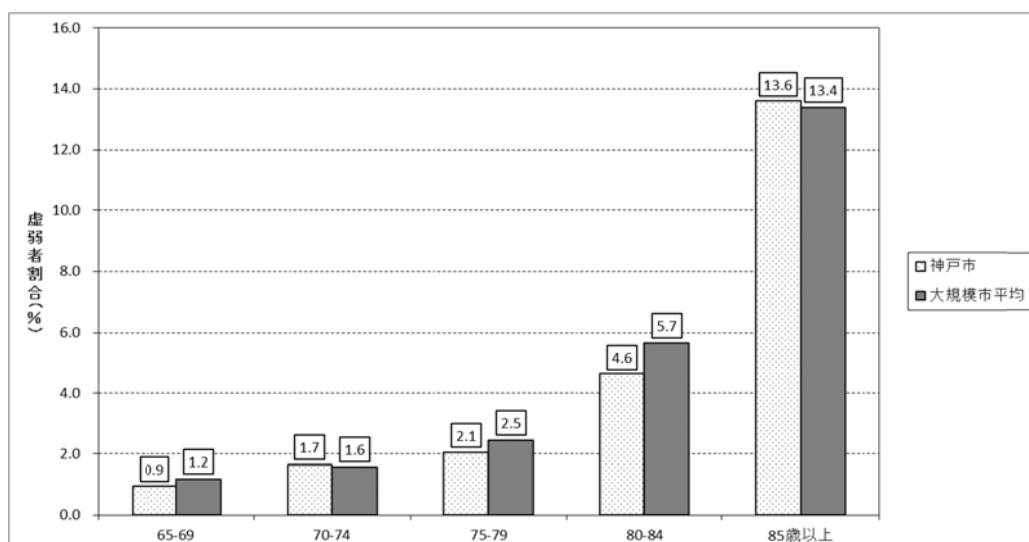


図1 虚弱者割合

介護予防二ズ： 虚弱者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	31	49	57	87	110	334
	%	0.9	1.7	2.1	4.6	13.6	2.9
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	288	373	506	719	754	2,640
	%	1.2	1.6	2.5	5.7	13.4	3.1
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表1 虚弱者割合

※ 大規模市：今回の「健康とくらしの調査」に参加している政令市5都市（神戸市、横浜市、新潟市、名古屋市、福岡市）に柏市、松戸市、船橋市、八王子市を加えた9市。

(2) 要介護リスク：運動機能低下者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「運動機能低下者割合」は大きな差はみられない。

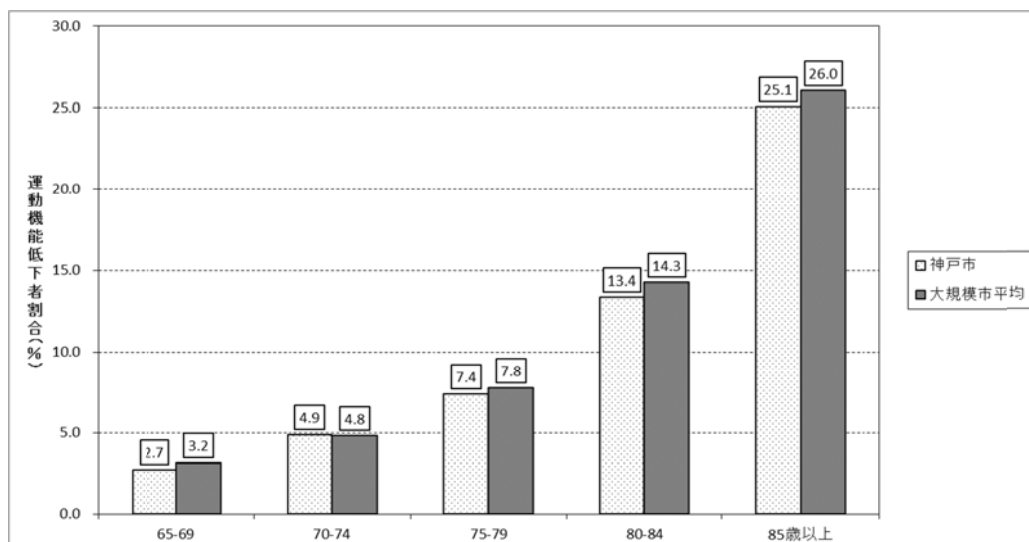


図2 運動機能低下者割合

介護予防ニーズ： 運動機能低下者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	90	144	206	251	203	894
	%	2.7	4.9	7.4	13.4	25.1	7.7
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	765	1,130	1,601	1,808	1,466	6,770
	%	3.2	4.8	7.8	14.3	26.0	7.8
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表2 運動機能低下者割合

(3) 要介護リスク：1年間の転倒あり割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「1年間の転倒あり割合」は大きな差はみられない。

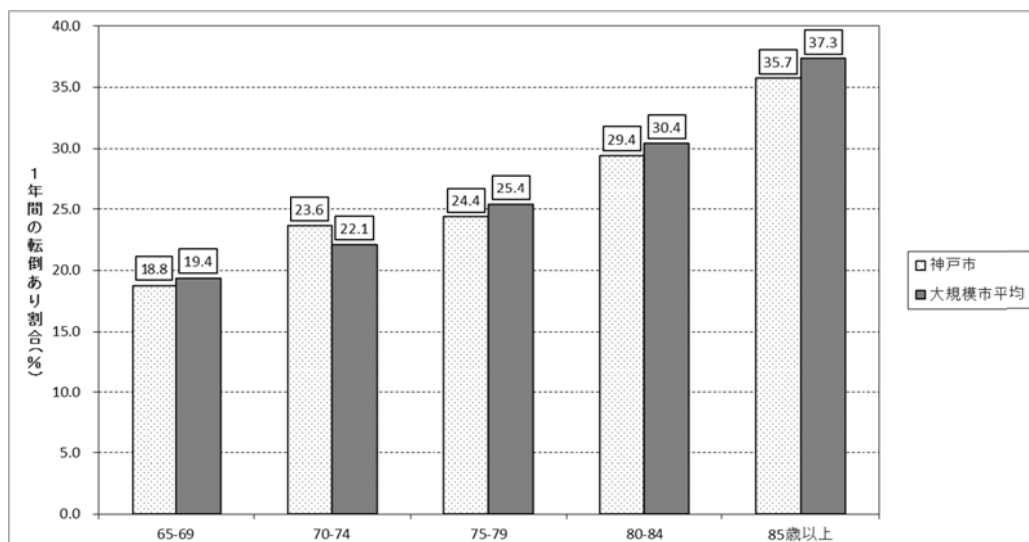


図3 1年間の転倒あり割合

介護予防ニーズ： 1年間の転倒あり割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	615	694	676	552	289	2,826
	%	18.8	23.6	24.4	29.4	35.7	24.2
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	4,683	5,171	5,218	3,854	2,099	21,025
	%	19.4	22.1	25.4	30.4	37.3	24.3
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表3 1年間の転倒あり割合

(4) 要介護リスク：物忘れが多い者の割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「物忘れが多い者の割合」は大きな差はみられない。

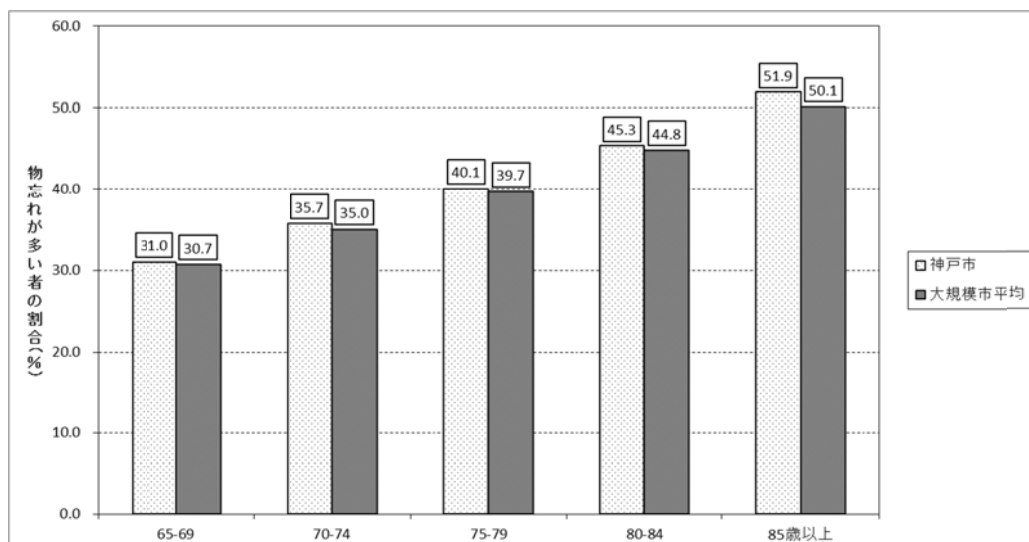


図4 物忘れが多い者の割合

介護予防ニーズ： 物忘れが多い者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	1,015	1,050	1,112	850	420	4,447
	%	31.0	35.7	40.1	45.3	51.9	38.1
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	7,425	8,203	8,156	5,677	2,819	32,280
	%	30.7	35.0	39.7	44.8	50.1	37.3
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表4 物忘れが多い者の割合

(5) 要介護リスク：閉じこもり者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「閉じこもり者割合」は「70-74歳」から「80-84歳」でやや低く、「85歳以上」で低くなっている。

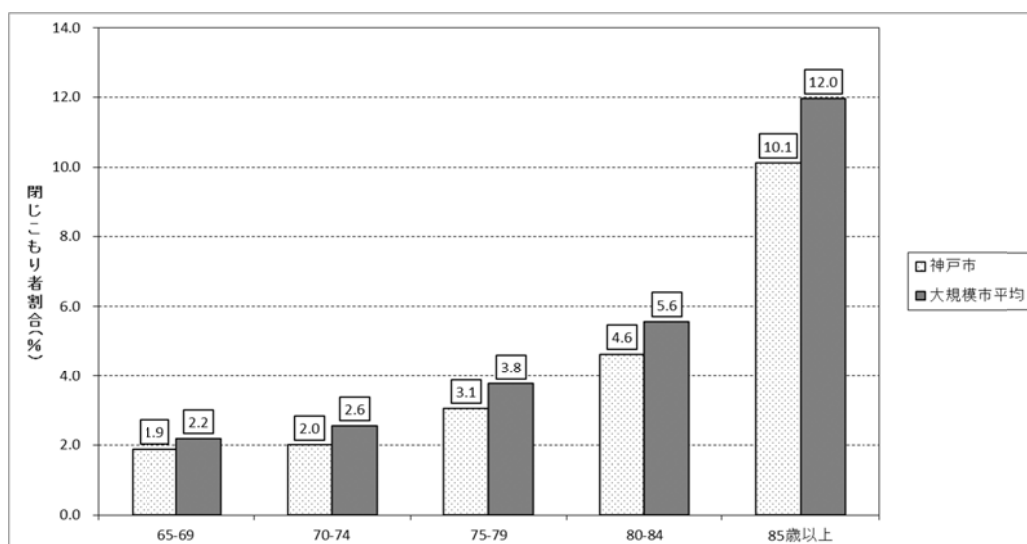


図5 閉じこもり者割合

介護予防ニーズ： 閉じこもり者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	62	59	85	87	82	375
	%	1.9	2.0	3.1	4.6	10.1	3.2
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	529	599	775	706	673	3,282
	%	2.2	2.6	3.8	5.6	12.0	3.8
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表5 閉じこもり者割合

(6) 要介護リスク：うつ割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「うつ割合」は大きな差はみられない。

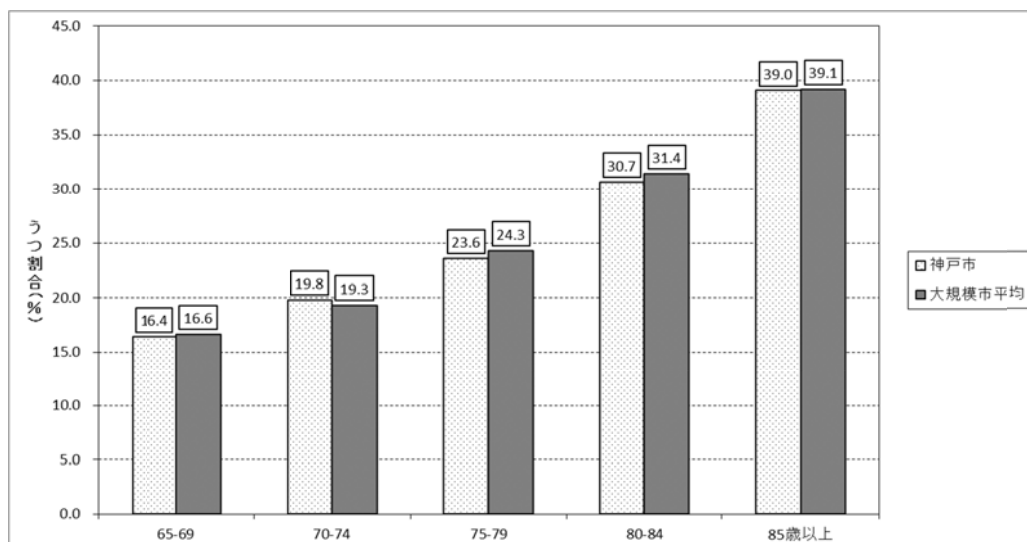


表6 うつ割合

介護予防ニーズ： うつ割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	537	581	654	575	316	2,663
	%	16.4	19.8	23.6	30.7	39.0	22.8
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	4,021	4,525	4,989	3,980	2,203	19,718
	%	16.6	19.3	24.3	31.4	39.1	22.8
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表6 うつ割合

(7) 要介護リスク：口腔機能低下者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「口腔機能低下者割合」は「65-69歳」、「70-74歳」、「80-84歳」でやや高く、「75-79歳」で高くなっている。

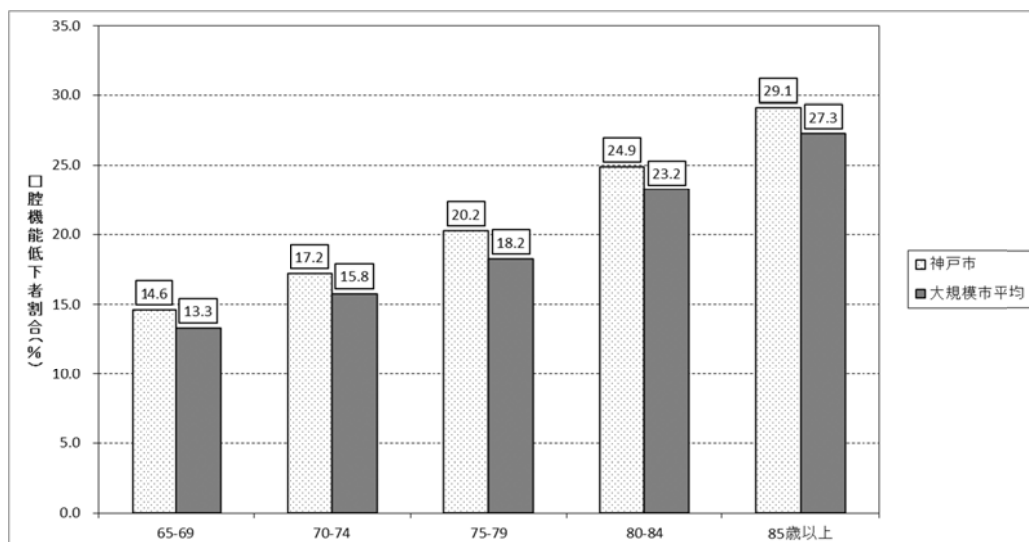


図7 口腔機能低下者割合

介護予防ニーズ： 口腔機能低下者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	479	505	562	467	236	2,249
	%	14.6	17.2	20.2	24.9	29.1	19.3
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	3,228	3,700	3,746	2,943	1,535	15,152
	%	13.3	15.8	18.2	23.2	27.3	17.5
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表7 口腔機能低下者割合

(8) 要介護リスク：BMI 18.5未満の者の割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「BMI 18.5未満の者の割合」は「85歳以上」でやや低くなっている。

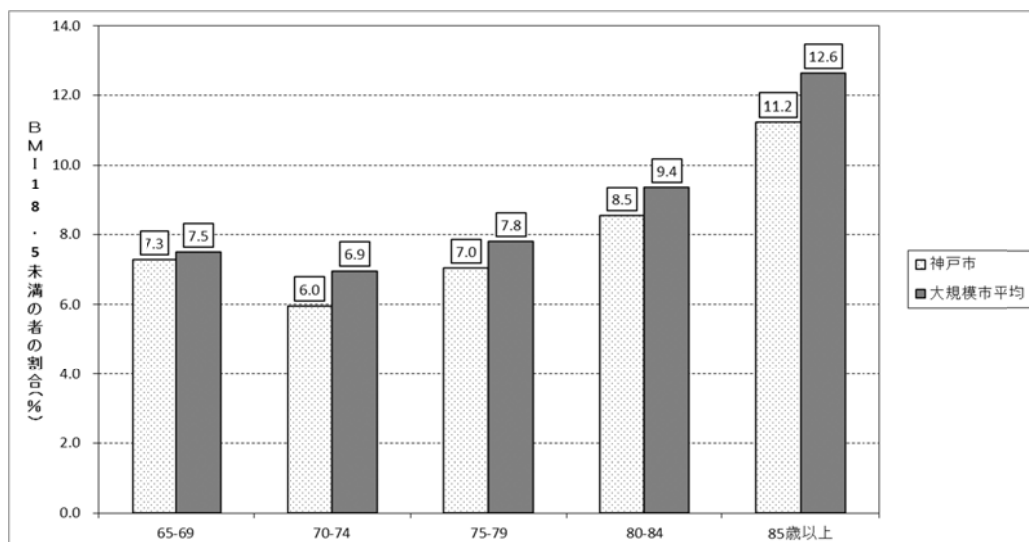


図8 BMI 18.5 未満の者の割合

介護予防ニーズ： BMI 18.5未満の者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	238	175	195	160	91	859
	%	7.3	6.0	7.0	8.5	11.2	7.4
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	1,811	1,629	1,600	1,186	711	6,937
	%	7.5	6.9	7.8	9.4	12.6	8.0
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表8 BMI 18.5 未満の者の割合

(9) 要介護リスク：要介護リスク者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「要介護リスク者割合」は「75-79歳」でやや低くなっている。

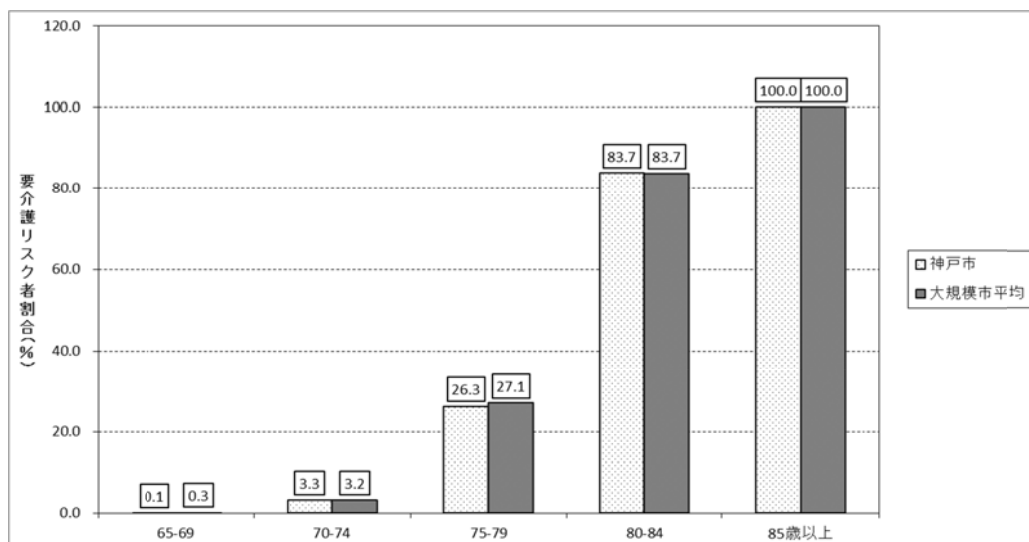


図9 要介護リスク者割合

介護予防ニーズ： 要介護リスク者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	2	96	730	1,571	810	3,209
	%	0.1	3.3	26.3	83.7	100.0	27.5
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	63	761	5,569	10,604	5,628	22,625
	%	0.3	3.2	27.1	83.7	100.0	26.2
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表9 要介護リスク者割合

(10) 要介護リスク：認知症リスク者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「認知症リスク者割合」は大きな差はみられない。

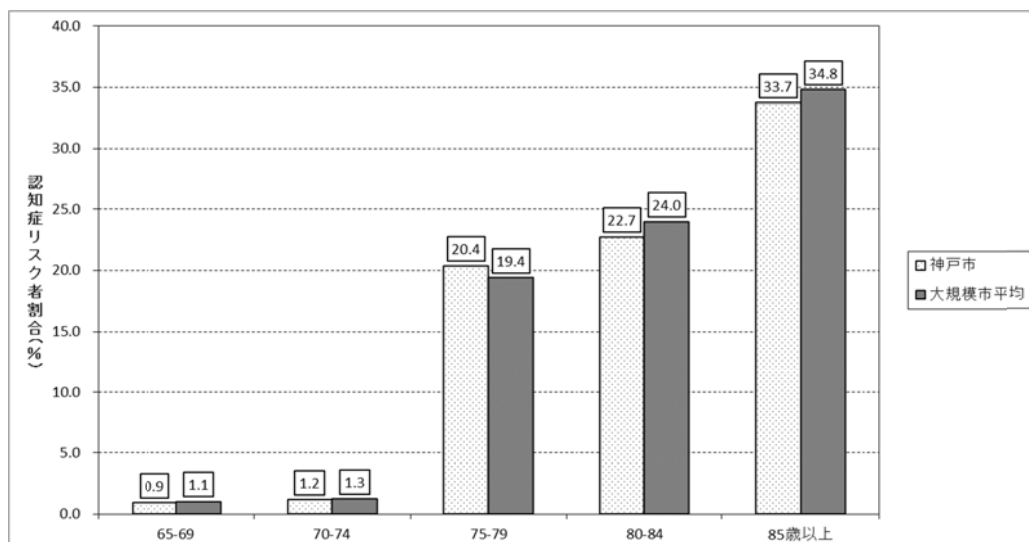


図 10 認知症リスク者割合

介護予防ニーズ： 認知症リスク者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	31	35	565	426	273	1,330
	%	0.9	1.2	20.4	22.7	33.7	11.4
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	255	294	3,982	3,038	1,956	9,525
	%	1.1	1.3	19.4	24.0	34.8	11.0
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 10 認知症リスク者割合

(11) 就労：就労していない者の割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「就労していない者の割合」は「65-69歳」でやや高くなっている。

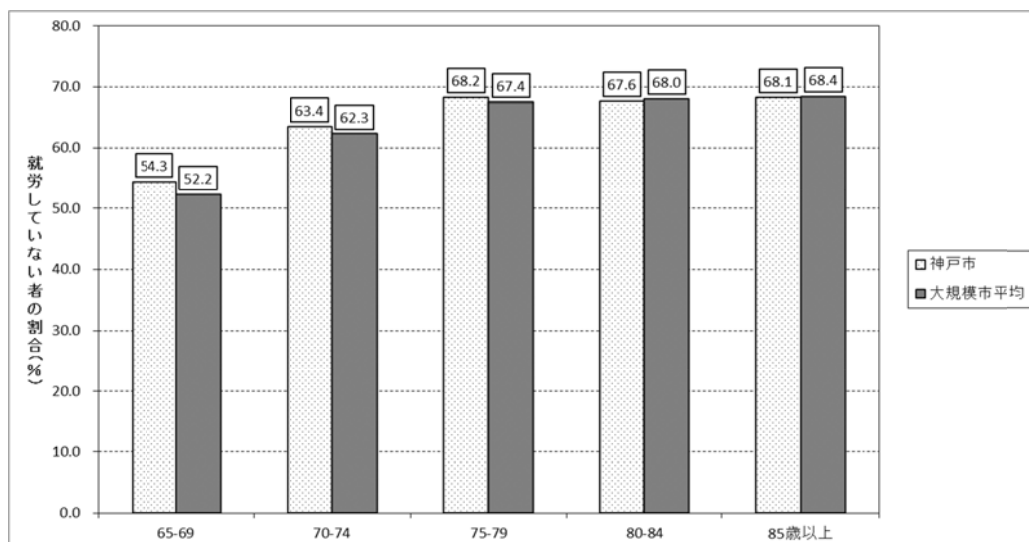


図 11 就労していない者の割合

介護予防ニーズ： 就労していない者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	1,780	1,864	1,894	1,268	552	7,358
	%	54.3	63.4	68.2	67.6	68.1	63.0
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	12,631	14,595	13,854	8,617	3,847	53,544
	%	52.2	62.3	67.4	68.0	68.4	61.9
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 11 就労していない者の割合

(12) 社会参加：スポーツの会参加者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「スポーツの会参加者割合」は大きな差はみられない。

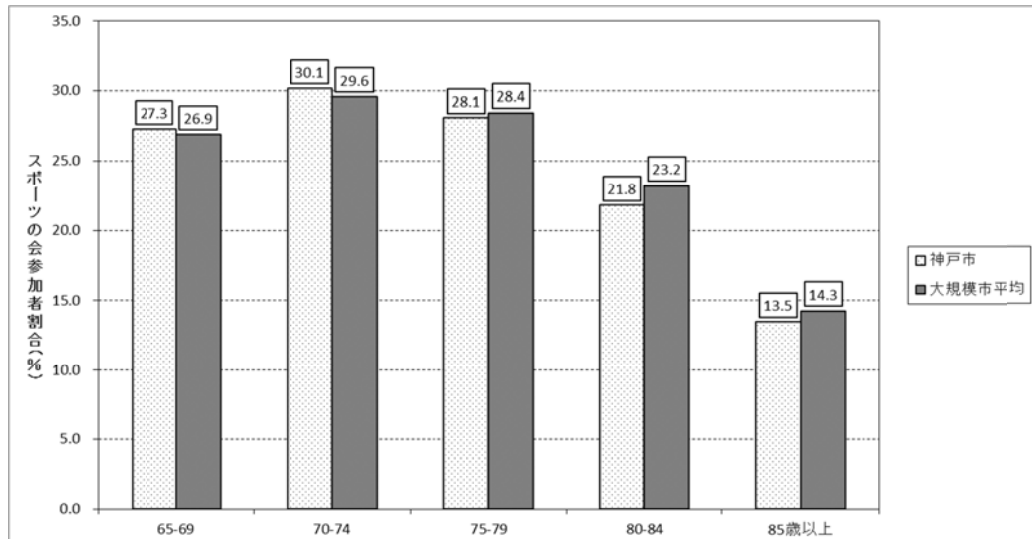


図 12 スポーツの会参加者割合

介護予防ニーズ： スポーツの会参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	893	886	779	409	109	3,076
	%	27.3	30.1	28.1	21.8	13.5	26.3
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	6,503	6,929	5,842	2,941	802	23,017
	%	26.9	29.6	28.4	23.2	14.3	26.6
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 12 スポーツの会参加者割合

(13) 社会参加：趣味の会参加者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「趣味の会参加者割合」は「70-74歳」でやや高くなっている。

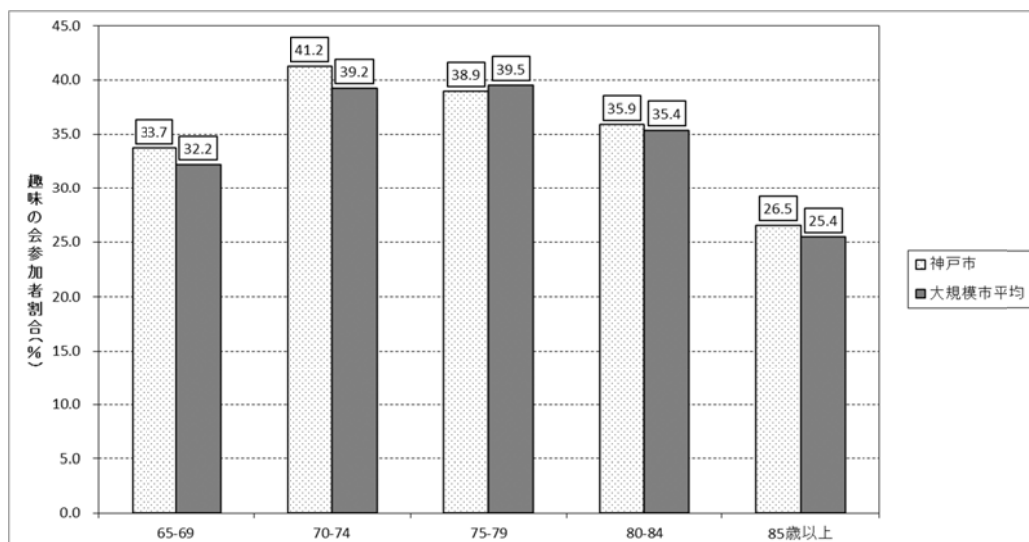


図 13 趣味の会参加者割合

介護予防ニーズ： 趣味の会参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	1,104	1,212	1,081	673	215	4,285
	%	33.7	41.2	38.9	35.9	26.5	36.7
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	7,786	9,191	8,112	4,482	1,431	31,002
	%	32.2	39.2	39.5	35.4	25.4	35.8
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 13 趣味の会参加者割合

(14) 社会参加：ボランティア参加者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「ボランティア参加者割合」は「65-69歳」、「70-74歳」でやや高く、「75-79歳」、「80-84歳」で高くなっている。

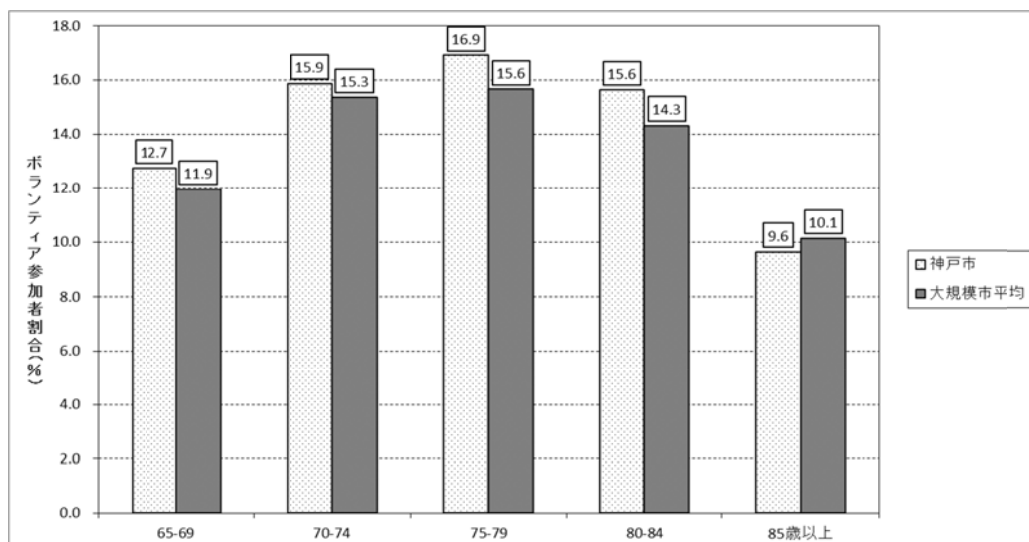


図 14 ボランティア参加者割合

介護予防ニーズ： ボランティア参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	417	466	469	293	78	1,723
	%	12.7	15.9	16.9	15.6	9.6	14.8
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	2,889	3,594	3,213	1,814	570	12,080
	%	11.9	15.3	15.6	14.3	10.1	14.0
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 14 ボランティア参加者割合

(15) 社会参加：学習・教養サークル参加者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「学習・教養サークル参加者割合」は「80-84歳」でやや高く、「65-69歳」、「70-74歳」で高く、「85歳以上」でとても高くなっている。

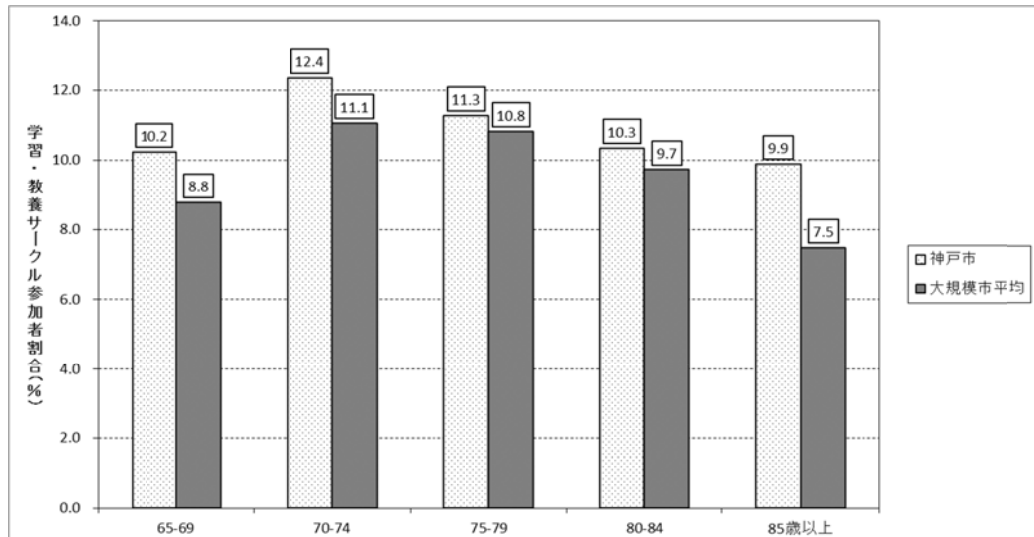


図 15 学習・教養サークル参加者割合

介護予防ニーズ： 学習・教養サークル参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	335	363	313	194	80	1,285
	%	10.2	12.4	11.3	10.3	9.9	11.0
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	2,122	2,592	2,224	1,232	420	8,590
	%	8.8	11.1	10.8	9.7	7.5	9.9
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 15 学習・教養サークル参加者割合

(16) 社会参加：特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「特技や経験を他者に伝える活動参加者割合」は「65-69歳」、「80-84歳」、「85歳以上」でやや高くなっている。

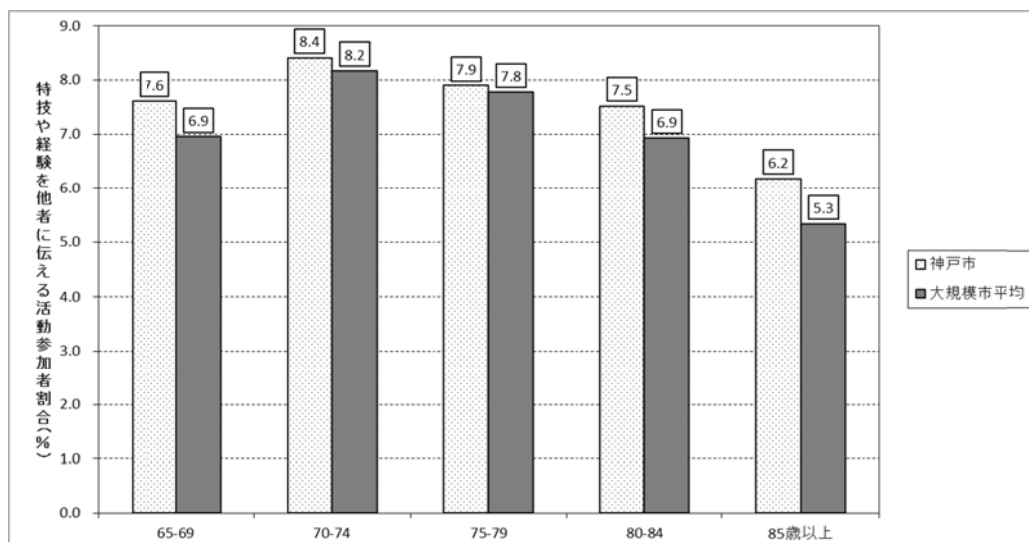


図 16 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

介護予防ニーズ： 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	249	247	219	141	50	906
	%	7.6	8.4	7.9	7.5	6.2	7.8
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	1,681	1,913	1,596	878	300	6,368
	%	6.9	8.2	7.8	6.9	5.3	7.4
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 16 特技や経験を他者に伝える活動参加者割合

(17) 社会的ネットワーク：友人知人と会う頻度が高い者の割合

神戸市と大規模市平均を比較してみると「友人知人と会う頻度が高い者の割合」は大きな差はみられない。

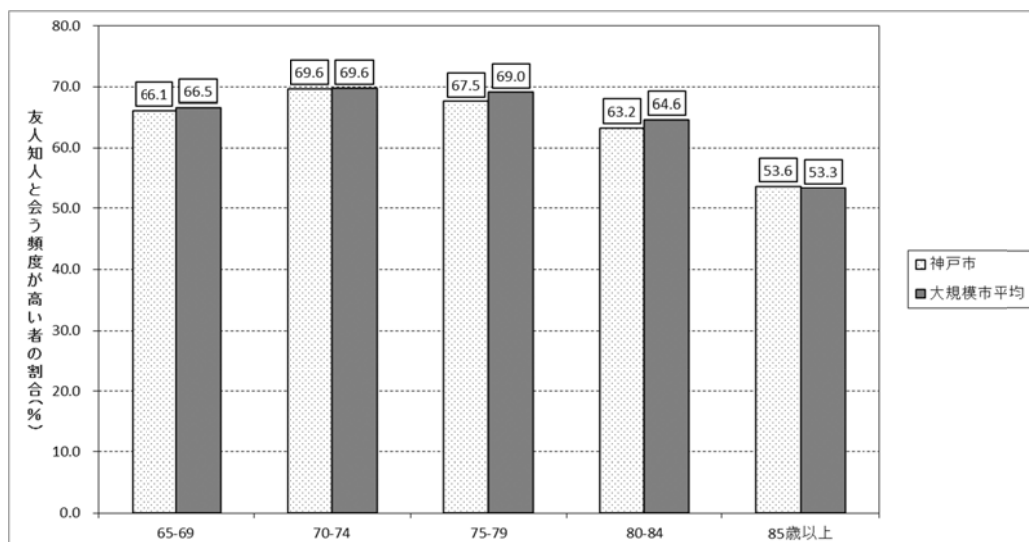


図 17 友人知人と会う頻度が高い者の割合

介護予防ニーズ： 友人知人と会う頻度が高い者の割合		65～69歳	70～74歳	75～79歳	80～84歳	85歳以上	全体
神戸市	人数	2,164	2,045	1,874	1,186	434	7,703
	%	66.1	69.6	67.5	63.2	53.6	66.0
	サンプル数	3,276	2,939	2,776	1,876	810	11,677
大規模市平均	人数	16,095	16,317	14,177	8,184	3,000	57,773
	%	66.5	69.6	69.0	64.6	53.3	66.8
	サンプル数	24,192	23,440	20,551	12,676	5,628	86,487

表 17 友人知人と会う頻度が高い者の割合

(参考)

① 各集計項目（17項目）の定義

「要介護リスク」

要介護リスク	設問番号	定義
①虚弱者割合	問 11-4 で「はい」／問 4-15 で「はい」 問 4-16 で「いいえ」／問 4-17 で「はい」 問 4-1 で「できない」／問 4-2 で「できない」 問 4-10 で「いいえ」／問 4-11 で「いいえ」 問 4-5 で「できない」 問 3-2 で「とても減っている」「減っている」 問 3-6 で「できない」／問 3-7 で「できない」 問 4-14 で「できない」 問 3-4 で「何度もある」「1度ある」 問 3-5 で「とても不安である」「やや不安である」 問 11-3 より、BMI=18.5 未満 問 2-1 で「はい」／問 2-2 で「はい」 問 2-3 で「はい」 問 3-1 で「月 1～3 回」「年に数回」「していない」	20 項目中 10 項目以上該当
②運動機能低下者割合	問 3-6 で「できない」／問 3-7 で「できない」 問 4-14 で「できない」 問 3-4 で「何度もある」「1度ある」 問 3-5 で「とても不安である」「やや不安である」	5 項目中 3 項目以上該当
③1 年間の転倒あり割合	問 3-4 で「何度もある」「1度ある」	1 項目中 1 項目該当
④物忘れが多い者の割合	問 4-18 で「はい」	1 項目中 1 項目該当
⑤閉じこもり者割合	問 3-1 で「月 1～3 回」「年に数回」「していない」	1 項目中 1 項目該当
⑥うつ割合	問 10-16 で「はい」／問 10-17 で「はい」 問 10-18 で「はい」／問 10-19 で「はい」 問 10-20 で「はい」	5 項目中 2 項目以上
⑦口腔機能低下者割合	問 2-1 で「はい」／問 2-2 で「はい」 問 2-3 で「はい」	3 項目中 2 項目以上該当
⑧BMI18.5 未満の者の割合	問 11-3 より、BMI=18.5 未満	1 項目中 1 項目該当
⑨要介護リスク者割合	問 11-1 で「女性」が 1 点 問 11-2 で「65-69 歳」が 0 点、「70-74 歳」が 8 点 「75-79 歳」が 15 点、「80-84 歳」が 21 点、「85 歳以上」が 25 点 問 4-1 で「できない」が 3 点 問 4-2 で「できない」が 1 点 問 4-5 で「できない」が 2 点 問 3-6 で「できない」が 5 点 問 3-7 で「できない」が 3 点 問 4-14 で「できない」が 3 点 問 3-4 で「何度もある」「1度ある」が 3 点 問 3-5 で「とても不安である」「やや不安である」が 3 点 問 11-3 より、BMI=18.5 未満が 3 点 問 3-2 で「とても減っている」「減っている」が 3 点	55 点中 22 点以上

⑩認知症リスク者割合	問 11-2 で「75 歳以上」が 3 点 問 6-1-9 で「していない」が 1 点 問 1-3 で「糖尿病」が 1 点 問 4-18 で「はい」が 1 点 以下の①～⑮の合計が【5 点】以上で 1 点 ①問 10-1 で「いいえ」／②問 10-2 で「はい」 ③問 10-3 で「はい」／④問 10-4 で「はい」 ⑤問 10-5 で「はい」／⑥問 10-6 で「いいえ」 ⑦問 10-7 で「はい」／⑧問 10-8 で「いいえ」 ⑨問 10-9 で「はい」／⑩問 10-10 で「はい」 ⑪問 10-11 で「はい」／⑫問 10-12 で「いいえ」 ⑬問 10-13 で「いいえ」／⑭問 10-14 で「はい」 ⑮問 10-15 で「はい」がそれぞれ【1 点】 問 8-1 で「そのような人はいない」が 1 点 問 6-1-2 で「参加していない」が 1 点 問 4-1 で「できない」が 1 点 問 4-3 で「できない」が 1 点 問 4-4 で「できない」が 1 点 問 4-6 で「いいえ」が 1 点 問 4-7 で「いいえ」が 1 点 問 4-12 で「いいえ」が 1 点	15 点中 7 点以上
------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-------------

「就労」

就労	設問番号	定義
⑪就労していない者の割合	問 14-1 で「退職して現在就職していない」「職についたことがない」	1 項目中 1 項目該当

「社会参加」

社会参加	設問番号	定義
⑫スポーツの会参加者割合	問 6-1-2 で「週に 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月に 1～3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑬趣味の会参加者割合	問 6-1-3 で「週に 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月に 1～3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑭ボランティア参加者割合	問 6-1-1 で「週に 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月に 1～3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑮学習・教養サークル参加者割合	問 6-1-6 で「週に 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月に 1～3 回」	1 項目中 1 項目該当
⑯特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	問 6-1-8 で「週に 4 回以上」「週 2～3 回」「週 1 回」「月に 1～3 回」	1 項目中 1 項目該当

「社会的ネットワーク」

社会的ネットワーク	設問番号	定義
⑰友人知人と会う頻度が高い者の割合	問 7-1 で「週に 4 回以上」「週に 2～3 回」「週 1 回」「月 1～3 回」	1 項目中 1 項目該当

② 回答内容の修正について

集計では出来る限り対象者の回答を有効となるよう集計した。但し、集計を行うにあたり、修正等が必要な場合は修正処理を行った。主な修正内容は以下のとおりである。

設問番号・設問内容	修正処理内容
問 11-3 身長	1メートル未満や2メートル以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。
問 11-3 体重	○20kg 未満や 120kg 以上の回答は異常値と判断し、集計から除外した。 ○「45.5kg」など、小数点以下まで記入をされたものは、小数点以下を四捨五入し、整数の体重に修正した。 ※45.5kg→46kg
問 11-6 自治体居住年数	「6カ月以上」の回答の場合は「1年」とした。また、「6か月未満」の回答の場合は「0(ゼロ)年」とした。
問 13-3 世帯人数	○「0(ゼロ)人」と回答があった場合には、「1人」とした。 ○「1人」と回答し、かつ、問 13-3)同居人で「2 配偶者(夫・妻)」を選択した場合は、「2人」とした。
※記入漏れを補正 問 13-3 同居人	問 13-2 家族構成で「2 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」、「3 夫婦二人暮らし(配偶者 65 歳以上)」と回答し、問 13-3 同居人が無回答の場合は「2 配偶者(夫・妻)」の回答を補正した。
※記入漏れを補正 「主設問」が「無回答」で、付問が「回答有り」の場合は、「主設問」にある選択肢の中から1つに判断できる場合は、記入が漏れたとみなして回答コードを補正した。	(例)問 5-1 が「無回答」で問 5-2 に回答があった場合は、問 5-1 を「1 はい」として集計した。

③ 分析記述の基本的考え方

「大規模市」全体での割合との比較を中心に分析記述を行っており、その回答差が比較的大きい項目を分析記述の対象としている。記述の目安は下表のとおりである。

	記述なし	やや高い／低い	高い／低い	とても高い／低い
①虚弱者割合	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
②運動機能低下者割合	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
③1年間の転倒あり割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
④物忘れが多い者の割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑤閉じこもり者割合	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑥うつ割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑦口腔機能低下者割合	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑧BMI18.5未満の者の割合	±1.0未満	±1.0以上	±2.0以上	±4.0以上
⑨要介護リスク者割合	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑩認知症リスク者割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑪就労していない者の割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑫スポーツの会参加者割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑬趣味の会参加者割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上
⑭ボランティア参加者割合	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑮学習・教養サークル参加者割合	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑯特技や経験を他者に伝える活動参加者割合	±0.5未満	±0.5以上	±1.0以上	±2.0以上
⑰友人知人と会う頻度が高い者の割合	±2.0未満	±2.0以上	±4.0以上	±6.0以上

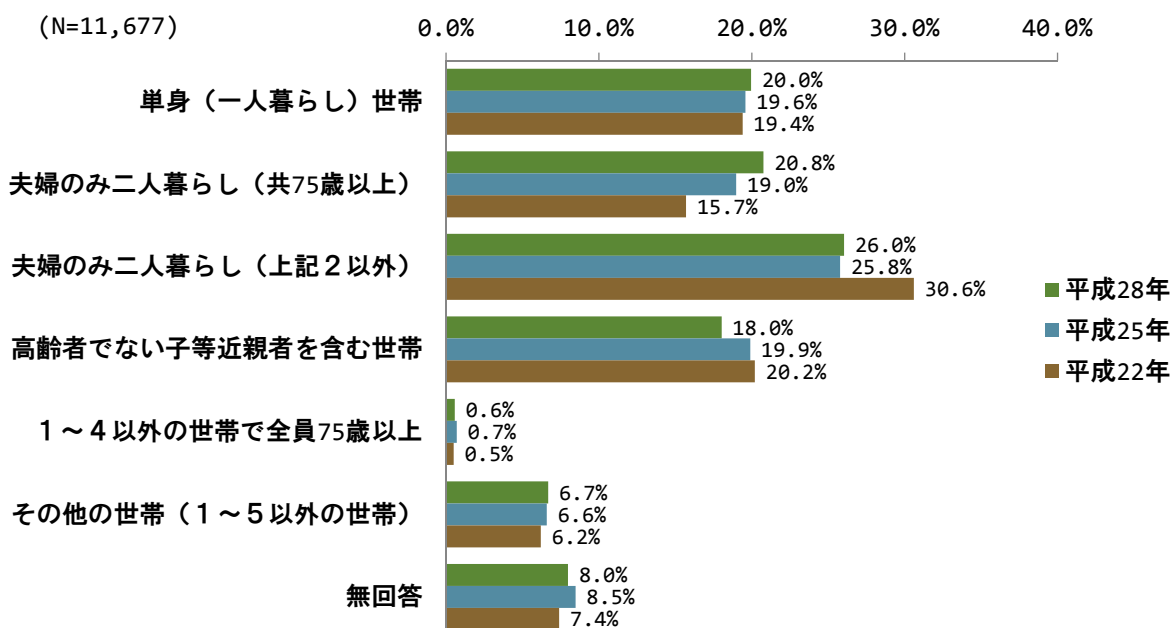
第7期神戸市介護保険事業計画策定に 向けての実態調査結果

(最終報告)

健康とくらしの調査 (高齢者一般調査)

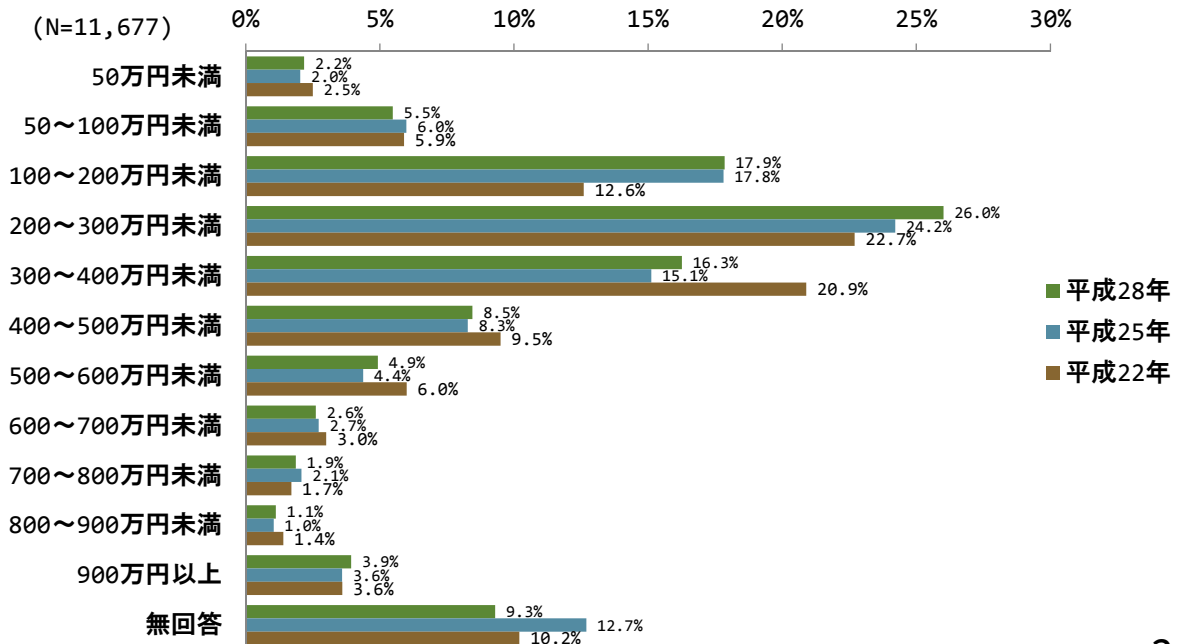
家族構成

単身(一人暮らし)世帯が20.0%(19.6%)、ともに75歳以上の夫婦のみ二人暮らし世帯が20.8%(19.0%)となっており、前回調査と比較して、両世帯とも増加してきている。



世帯の収入

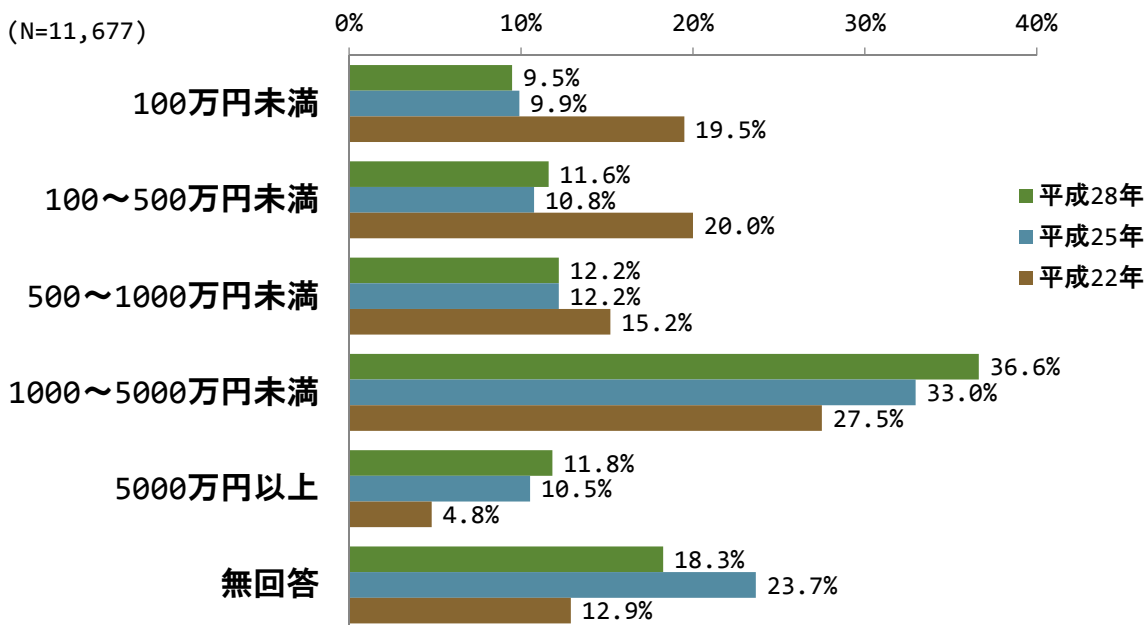
世帯の収入は、「200～300万円未満」の世帯が26.0%と最も多く、次いで「100～200万円未満」17.9%、「300～400万円未満」16.3%が多くなっている。前回調査との比較では、「200～300万円未満」が1.8ポイント、「300～400万円未満」が1.2ポイント増加している。



2

世帯の資産

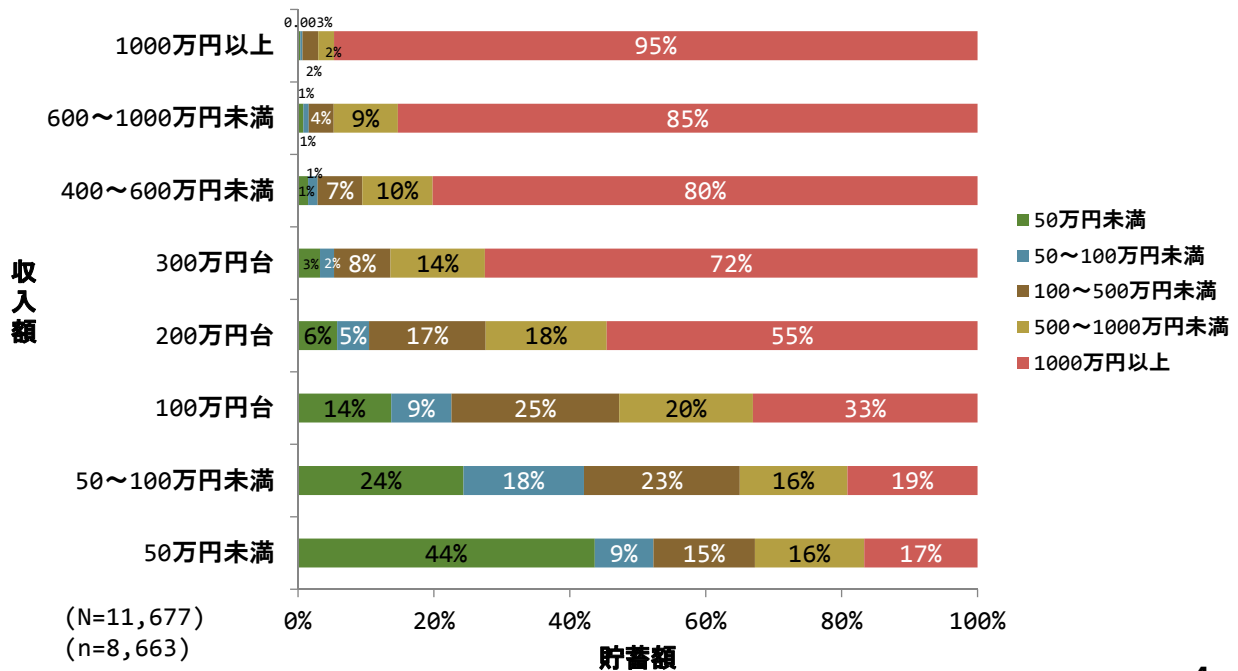
前回調査との比較では、1000万円以上の世帯が増加している。



3

収入／貯蓄額

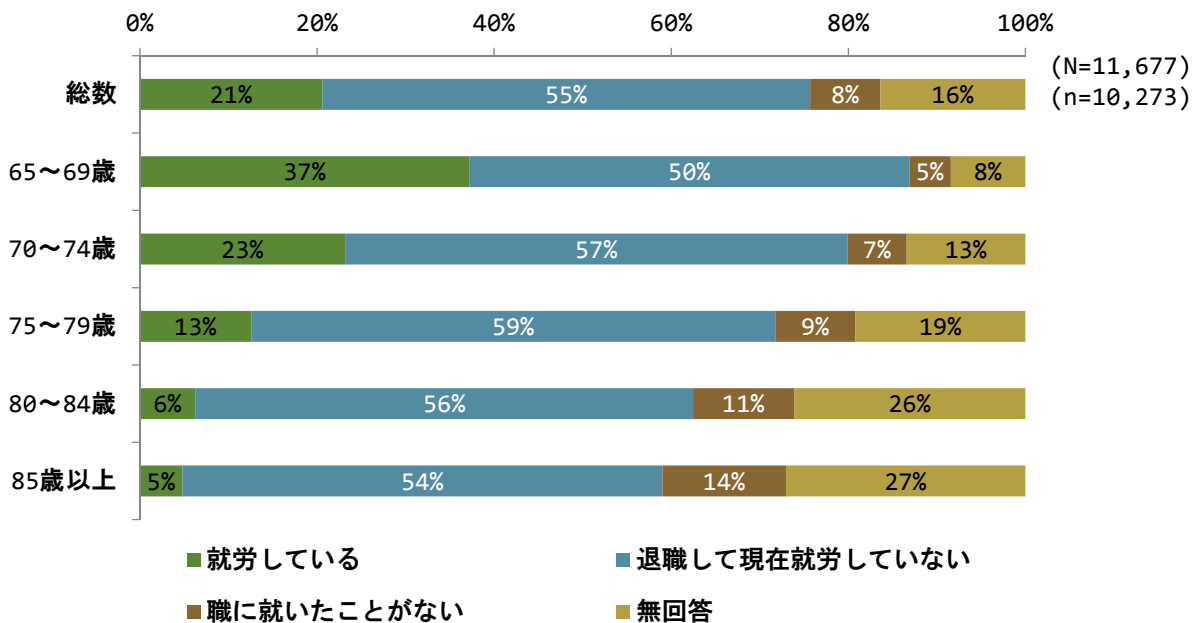
貯蓄額1,000万円以上の世帯の割合は、世帯収入100万円未満では19%、200万円以上では半数以上となっている。



4

就労状況

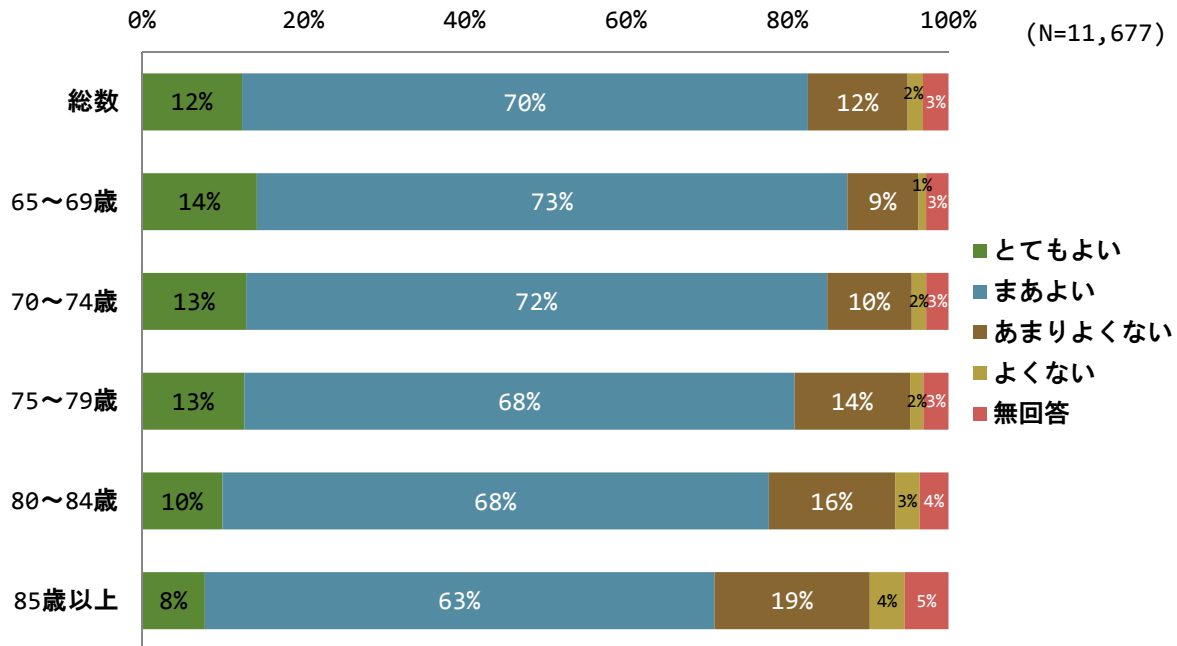
65～69歳では37%、70～74歳では23%の方が就労している。



5

健康状況

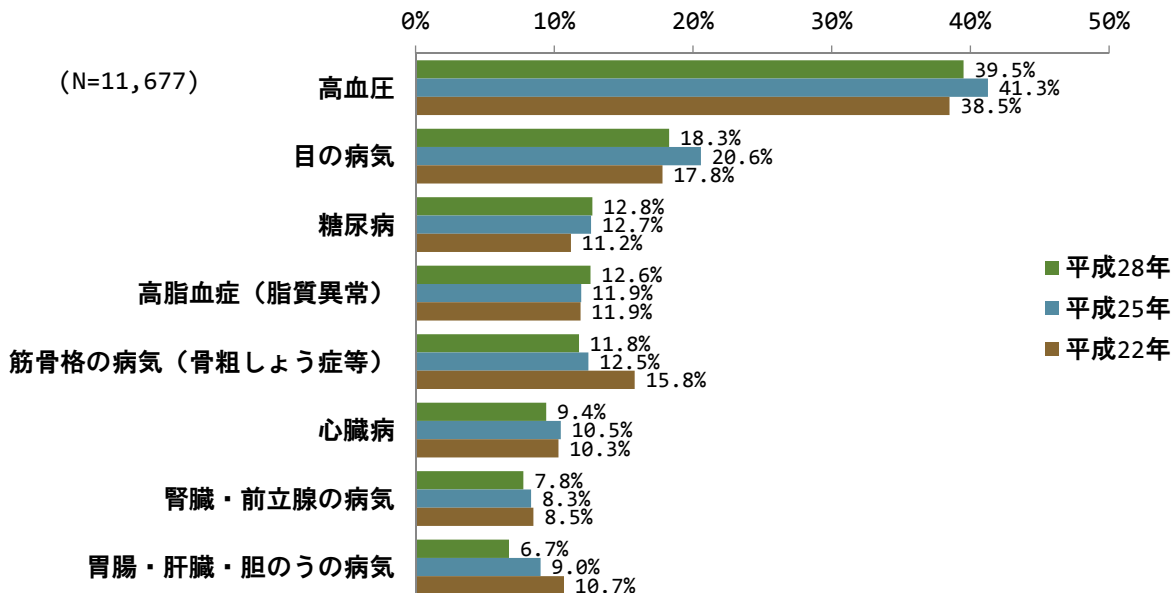
健康状態が「とてもよい」「まあよい」と回答した方は合わせて約8割となっている。
 年齢別にみると、「85歳以上」では、「とてもよい」「まあよい」と回答した方は合わせて約71%、「あまりよくない」「よくない」と回答した方は合わせて23%となっている。



6

罹患の状況

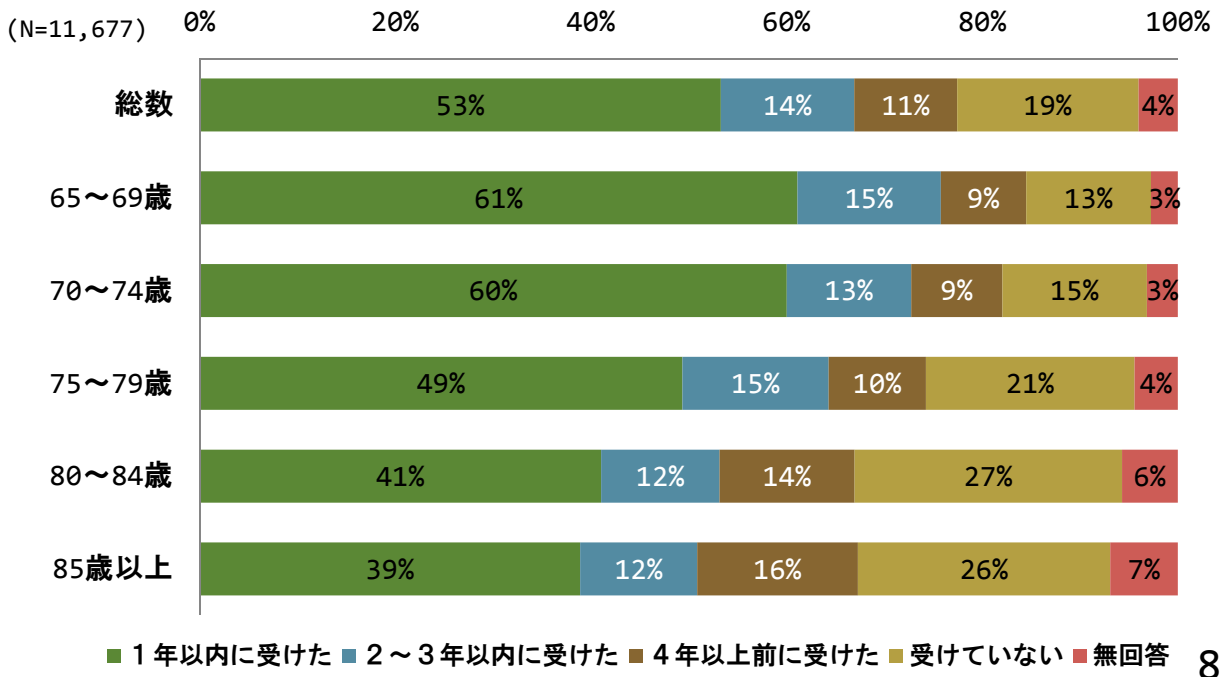
「高血圧」が39.5%と最も多く、次いで「目の病気」18.3%、「糖尿病」12.8%、「高脂血症」12.6%、「筋骨格系の病気」11.8%の順に多くなっている



7

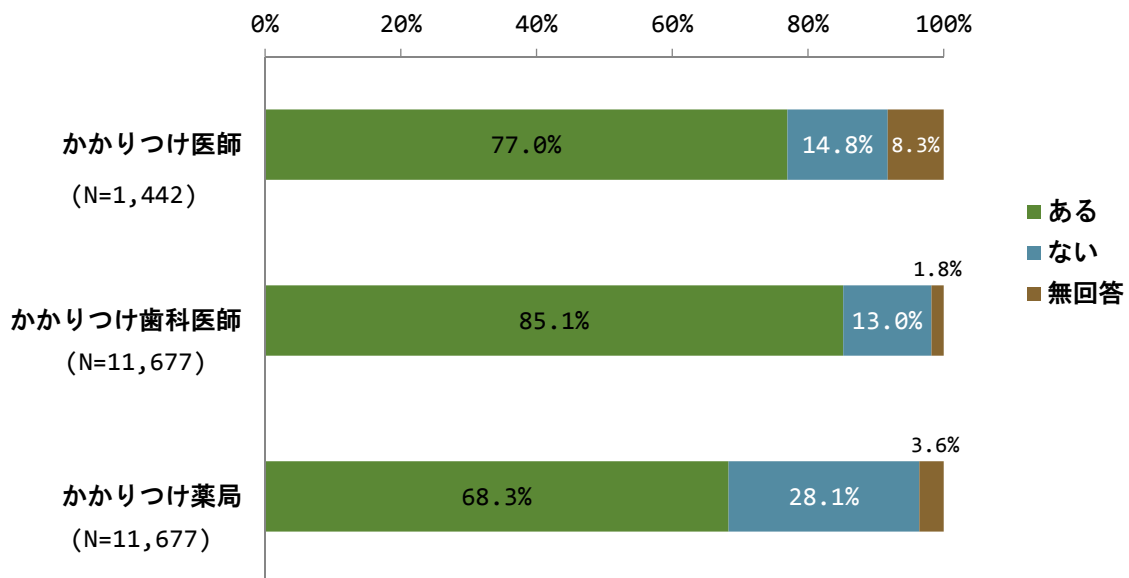
健診・人間ドッグの受診状況

65～74歳では約6割の方が1年以内に受診しているが、80歳以上では約4割となっている。また、80歳以上では約3割の方が「受けていない」と回答している。



かかりつけ医師・歯科医師・薬局

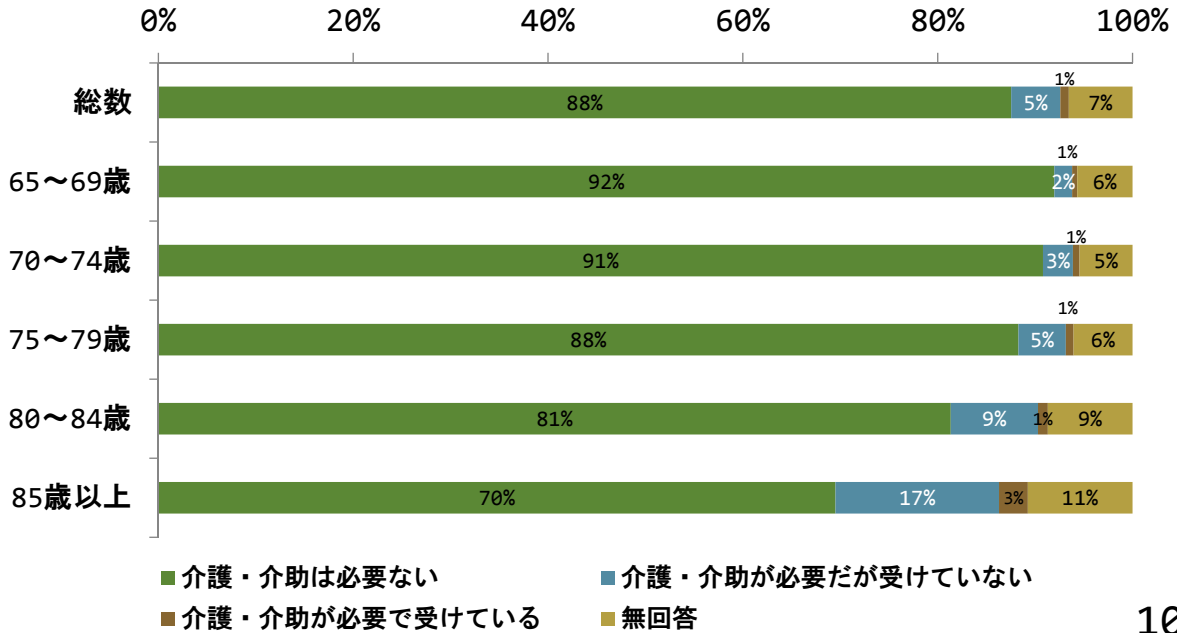
かかりつけ医師は77.0%、かかりつけ歯科医師は85.1%、かかりつけ薬局は68.3%の方が「ある」と回答している。



身体状況

約9割の方が「介護・介助は必要ない」と回答している。年齢別にみると、85歳以上の方の約2割が、介護・介助が必要と回答している。

(N=11,677)

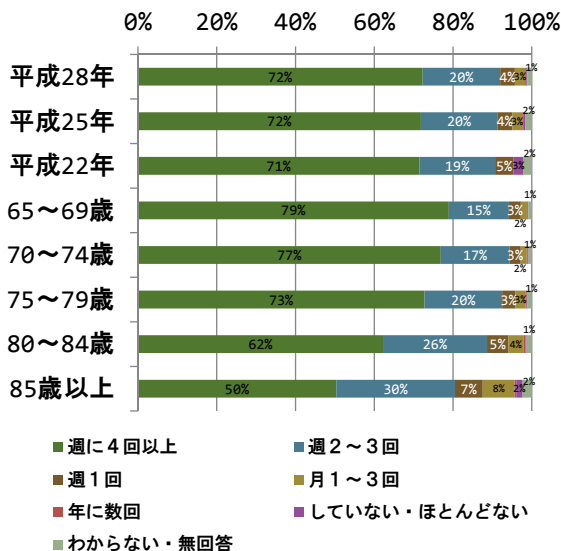


10

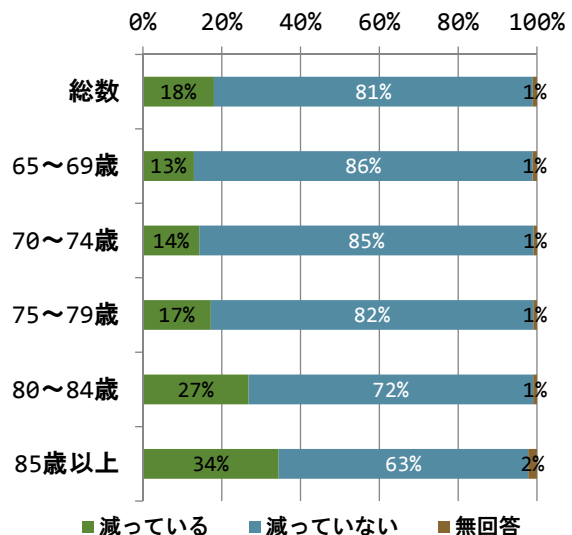
外出の頻度

「週4回以上」外出する方は、79歳までは7割を超えているが、80~84歳では約6割、85歳以上では約5割となっている。
 昨年に比べて外出の頻度が減っているかどうかたずねたところ、「減っている」が18%、「減っていない」が81%となっている。

■ あなたが外出する頻度はどのくらいですか (N=11,677)



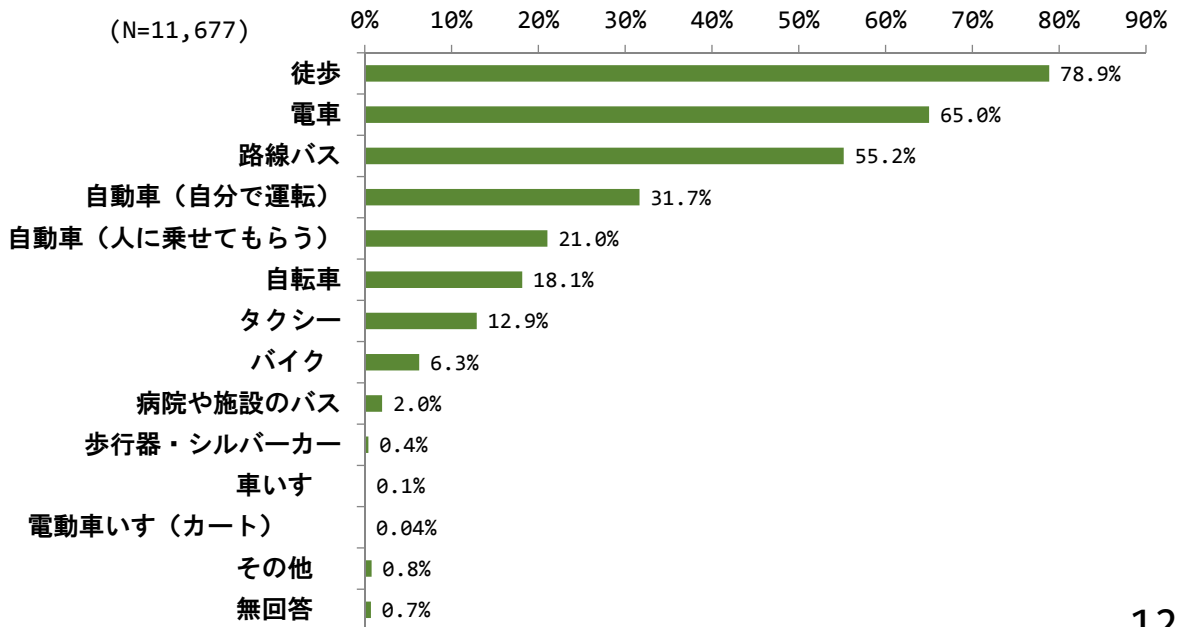
■ 昨年と比べて外出の回数は減っていますか。 (N=11,677)



11

外出時の交通手段

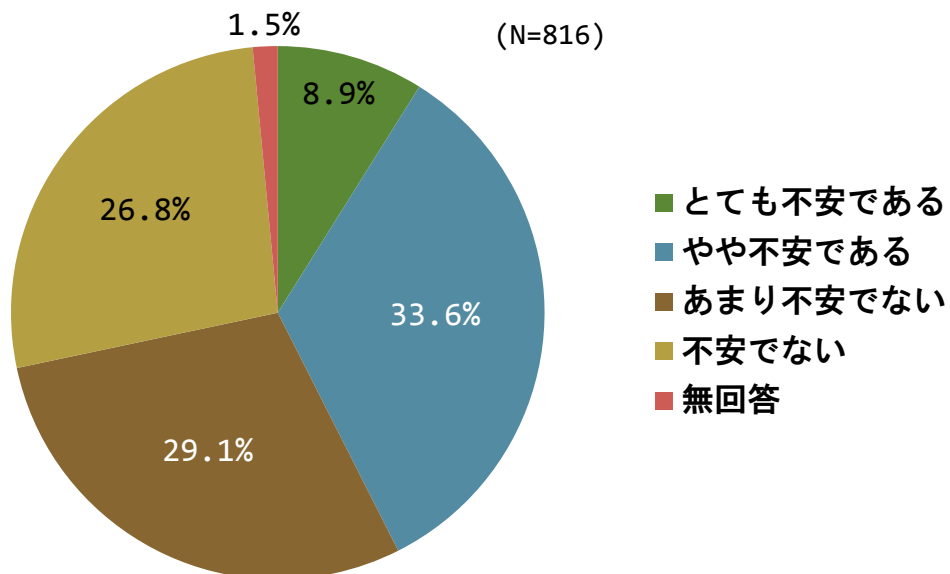
外出時の交通手段は、「徒歩」78.9%、「電車」65.0%、「路線バス」55.2%の順で多くっており、公共交通機関の利用が多い。次いで「自動車(自分で運転)」31.7%となっている。



12

転倒に対する不安

「とても不安である」「やや不安である」を合わせた約4割の方が転倒に対して不安を持っている。

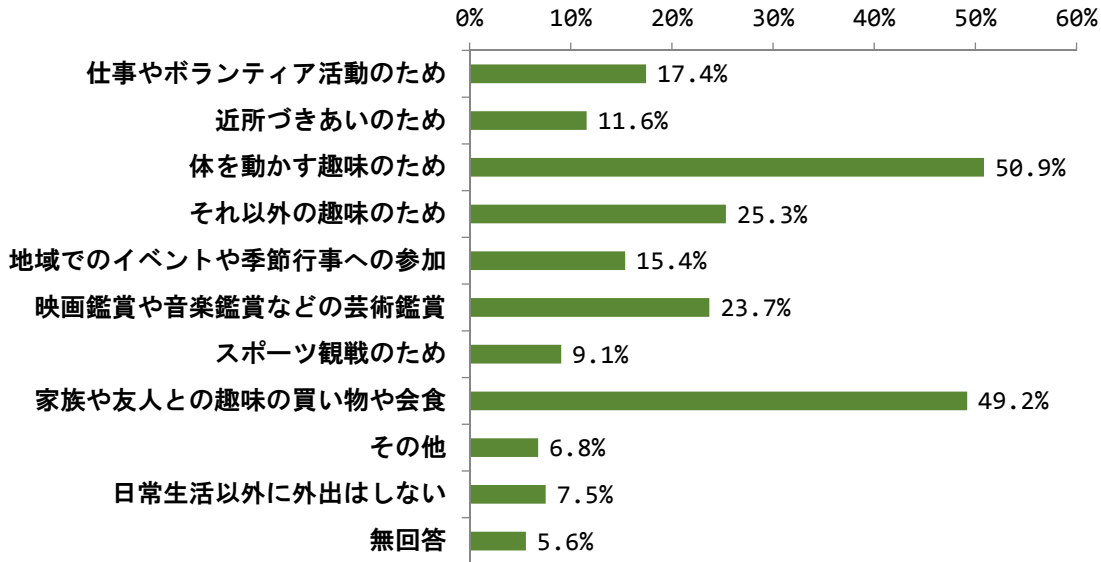


13

外出の主な目的

日常生活(買い物、通院など)を除く外出目的をたずねたところ、「体を動かす趣味のため」50.9%、「家族や友人との買い物や会食」49.2%、「それ(体を動かす)以外の趣味のため」25.3%、「映画鑑賞や音楽鑑賞などの芸術鑑賞」23.7%の順に多くなっている。

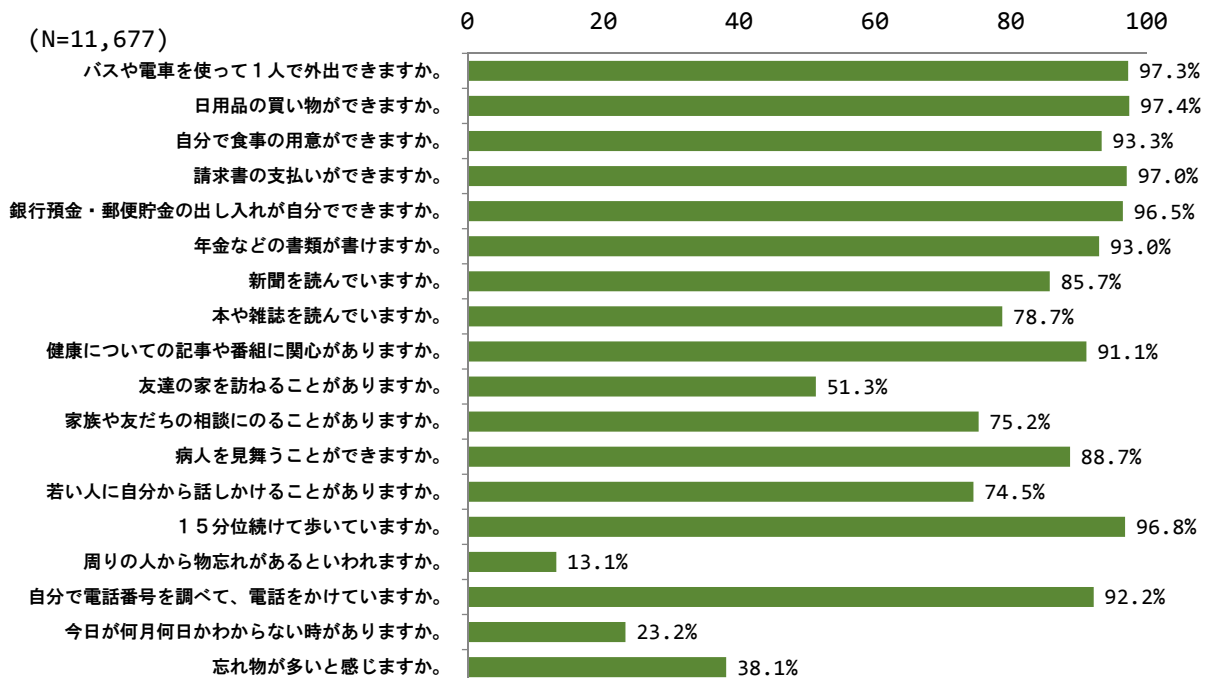
(N=11,677)



日常生活について

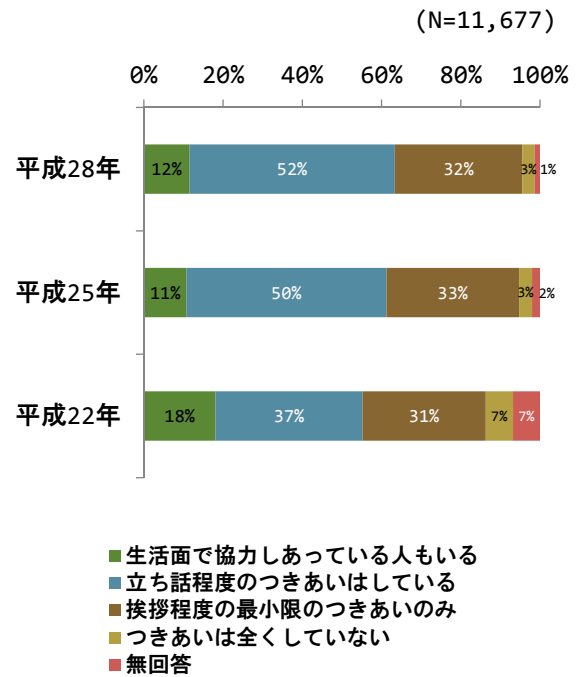
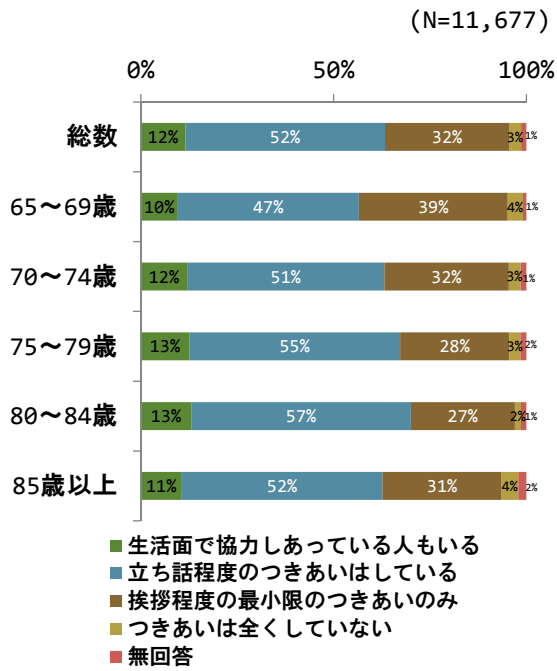
「友達の家を訪ねることがありますか。」について、「ある」と回答した方は51.3%となっている。

(N=11,677)



近所づきあい

65～69歳では「挨拶程度の最小限のつきあいのみ」と回答した方の割合(39%)が、他の年代よりも高くなっている。前回調査との比較では、概ね同じ結果となっている。

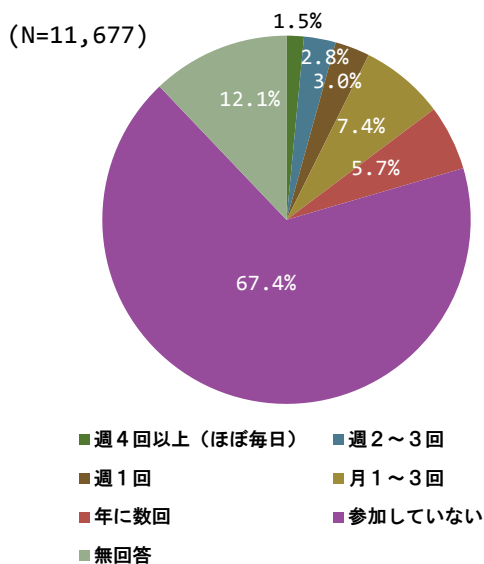


16

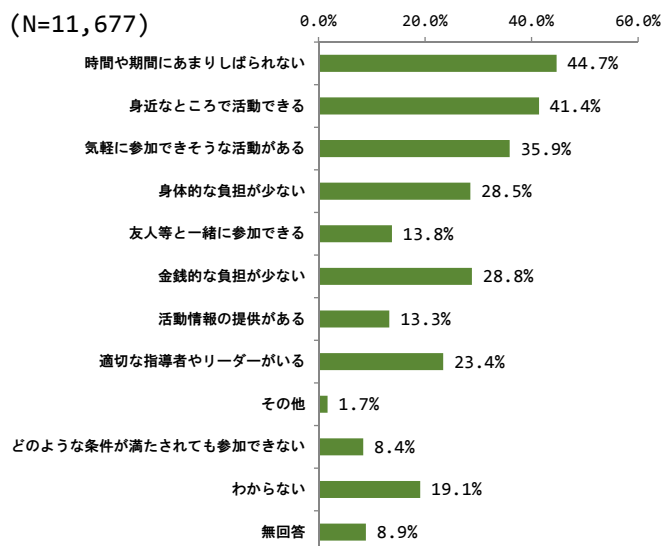
ボランティア参加頻度・条件

約2割の方が、ボランティアグループに参加しているが、約7割の方は「参加していない」と回答している。ボランティアに参加したり今以上に参加するための条件をたずねたところ、「時間や期間にあまりしぼられないこと」が44.7%と最も多く、次いで「身近なところで活動できる」41.4%、「気軽に参加できそうな活動がある」35.9%が多くなっている。

ボランティアグループへの参加頻度



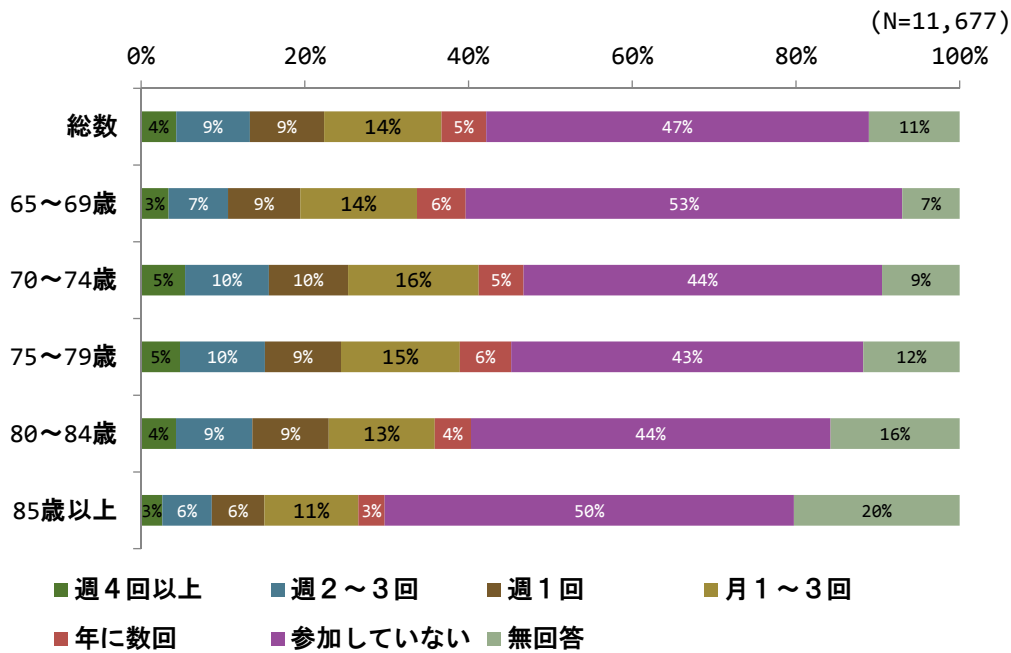
ボランティア活動への参加条件



17

趣味関係のグループの参加

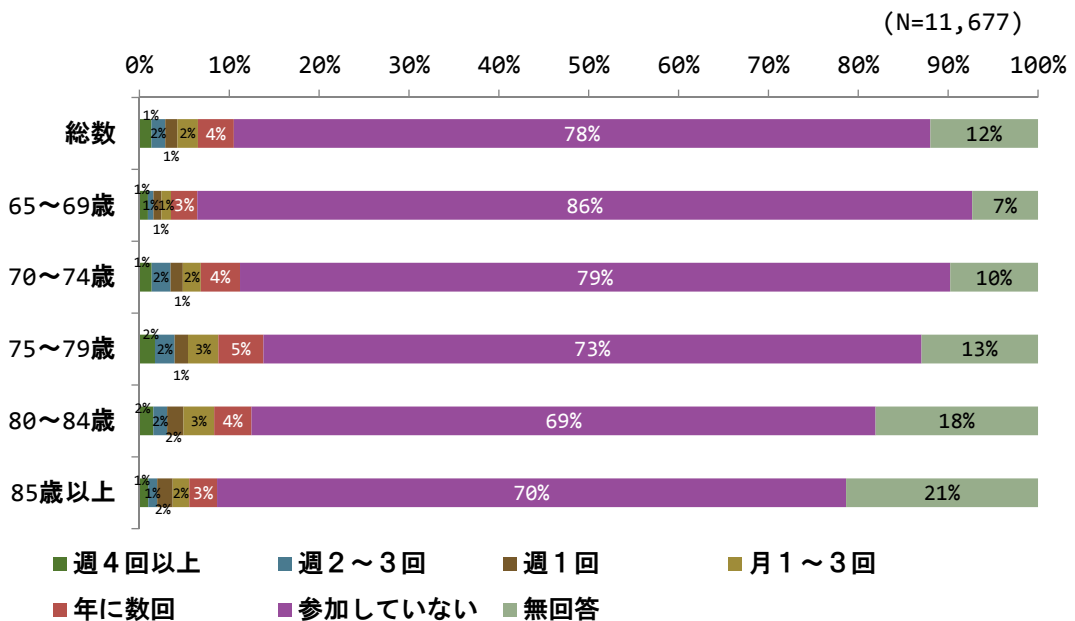
約4割の方が趣味関係のグループに参加している。



18

新規 介護予防・健康づくり活動への参加

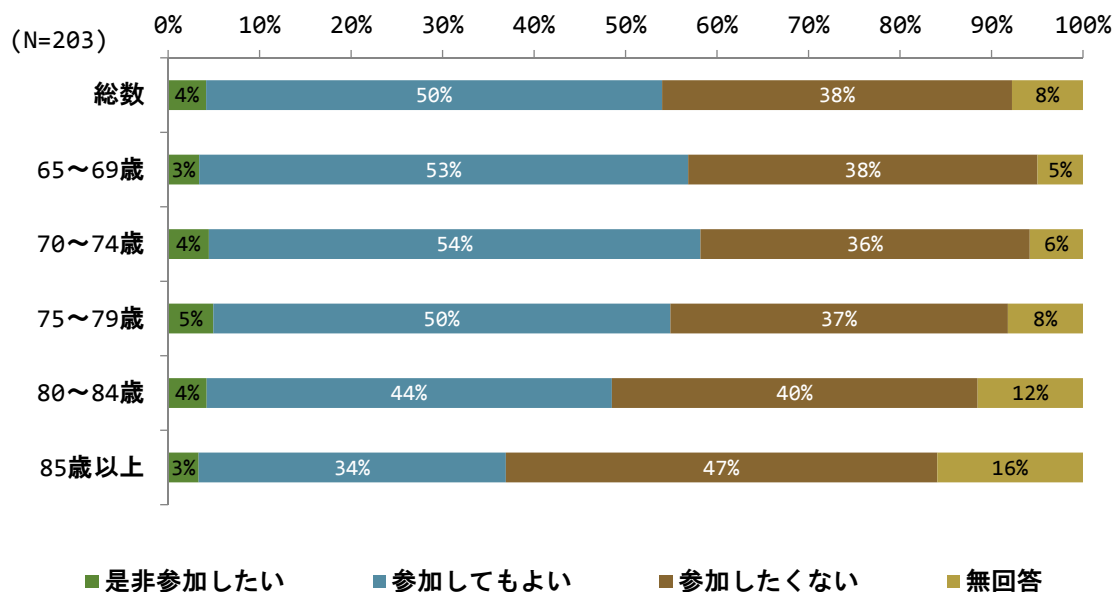
介護予防・健康づくり活動へ「参加していない」が約8割となっている。



19

新規 地域住民によるグループ活動への参加希望

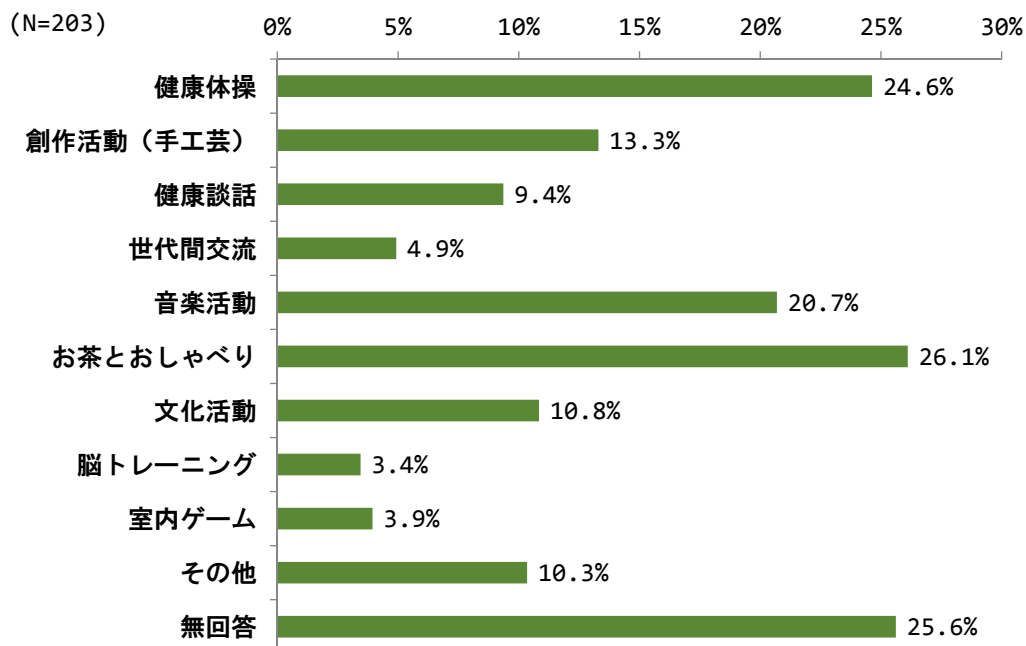
地域住民の有志による健康づくりや趣味等の活動等のグループ活動へ参加したいと思うかたずねたところ、「是非参加したい」「参加してもよい」を合わせて54%となっている。



20

新規 サロン活動の参加プログラム

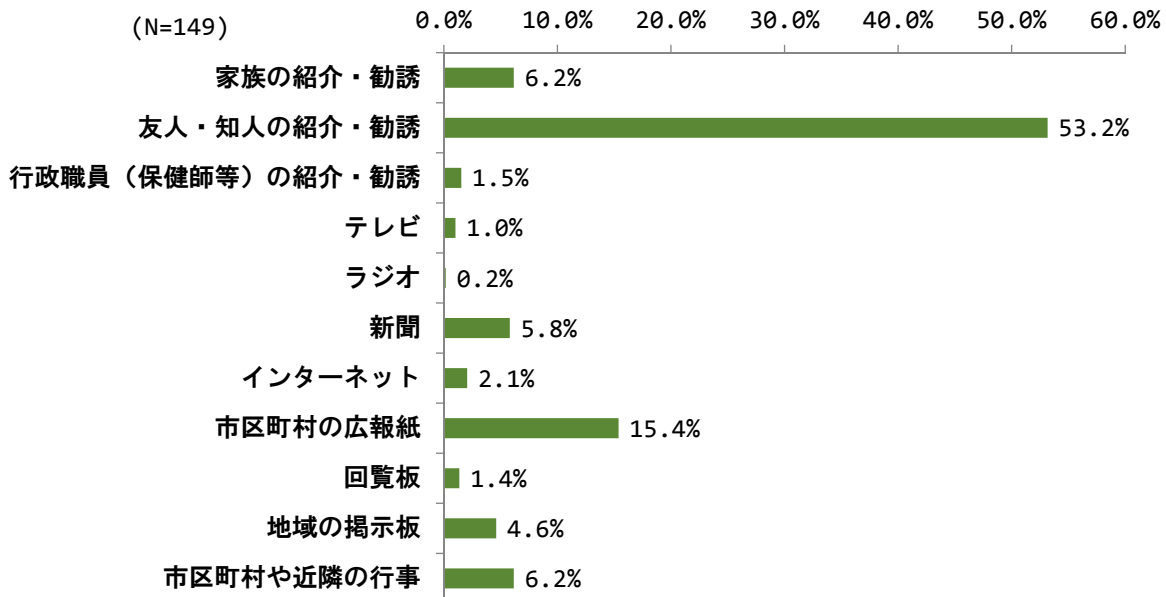
サロン活動で参加頻度が高いプログラムをたずねたところ、「お茶とおしゃべり」が最も多く26.1%、次いで「健康体操」24.6%、音楽活動20.7%となっている。（※3つまで回答可）



21

趣味グループに入ったきっかけ

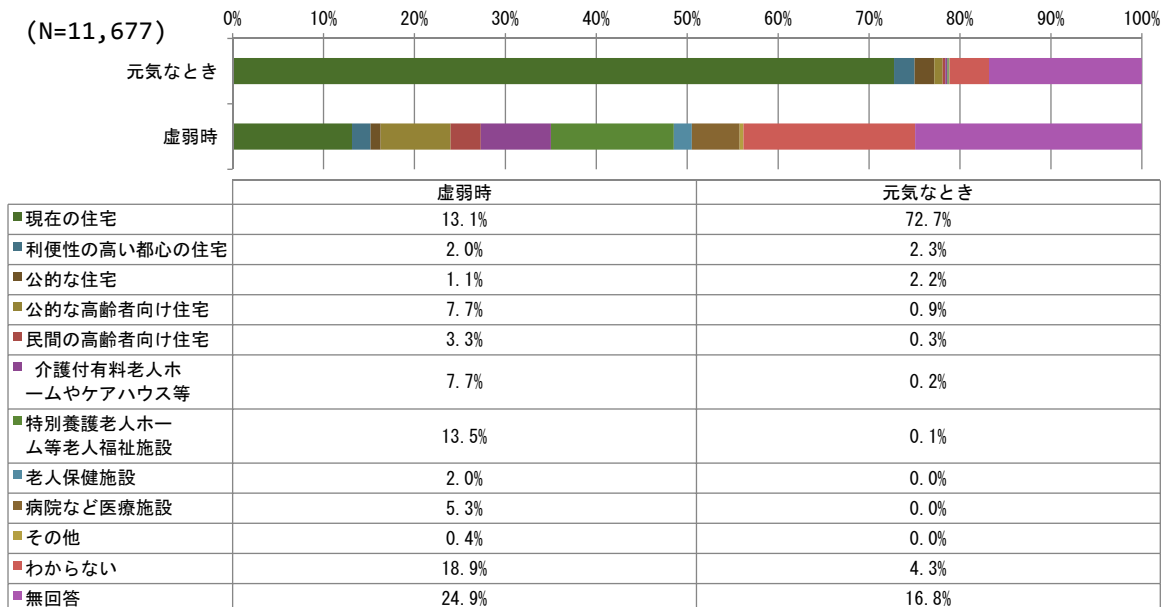
趣味関係のグループに入ったきっかけは、「友人・知人の紹介・勧誘」が53.2%と最も多くなっており、次いで「市区町村の広報紙」15.4%、「家族の紹介・勧誘」・「市区町村や近隣の行事」6.2%が多くなっている。



22

住まいの希望

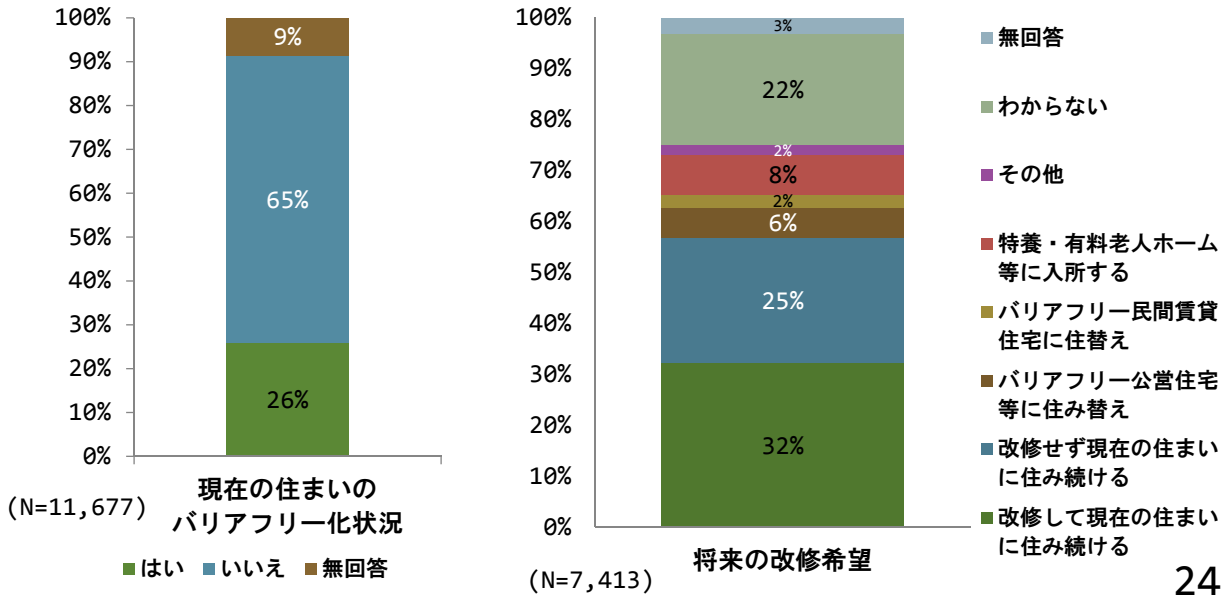
「お元気なとき」は「現在の住宅」が72.7%と特に高い割合となっている。「身体が虚弱化したときなど介護が必要となった場合」は、「現在の自宅」は13.1%まで減少し、「特別養護老人ホーム等老人福祉施設」が13.4ポイント、「公的な高齢者向け住宅」・「介護付き有料老人ホームやケアハウス等」が7.5ポイント増加している。



23

住まいのバリアフリー化

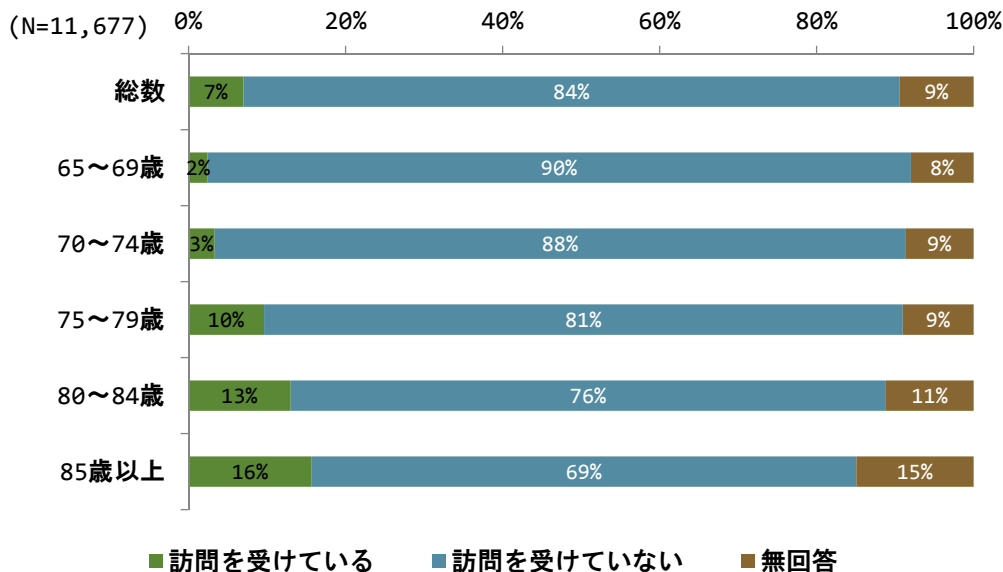
現在の住まいのバリアフリー化は十分かどうかについて、「はい」が26%、「いいえ」が65%となっている。「いいえ」と回答した方に、今後、体の機能が落ちてくるなどしてきた場合、どのようにしたいかたずねたところ、「改修して現在の住宅に住み続ける」が最も多く32%、次いで「改修せず現在の住まいに住み続ける」が25%となっており、合わせて約6割の方が現在の住まいに住み続けるとしている。



新規

民生委員の訪問

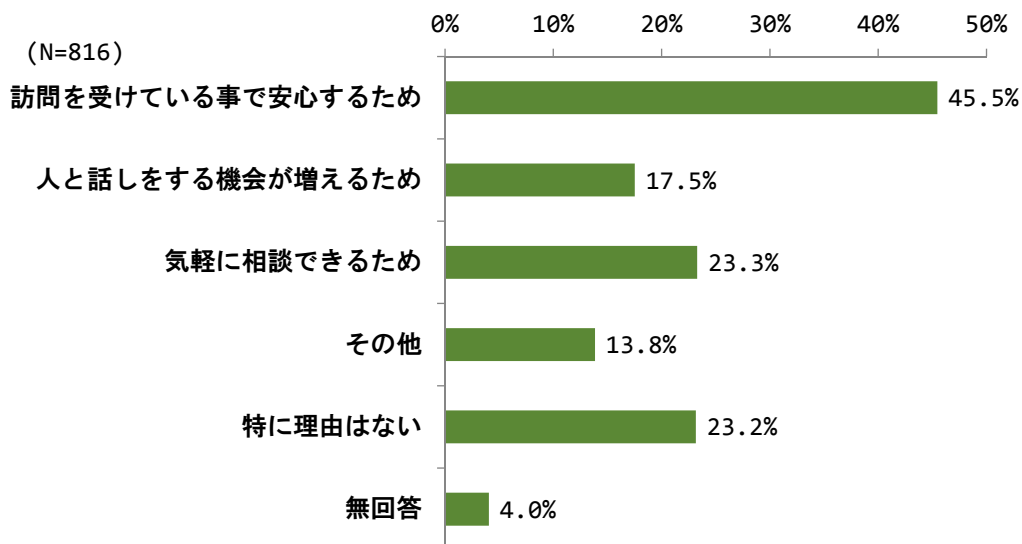
民生委員の訪問について、7%の方が訪問を受けていると回答している。年齢別にみると、「75～79歳」は10%、「80～84歳」は13%、「85歳以上」は16%が訪問を受けていると回答している。



新規

民生委員の訪問を受けている理由

民生委員の訪問を受けていると回答した方にその理由をたずねたところ、「訪問を受けていることで安心するため」が45.5%と最も多く、次いで「気軽に相談できるため」・「特に理由はない」23.3%、「人と話をする機会が増えるため」17.5%の順となっている。

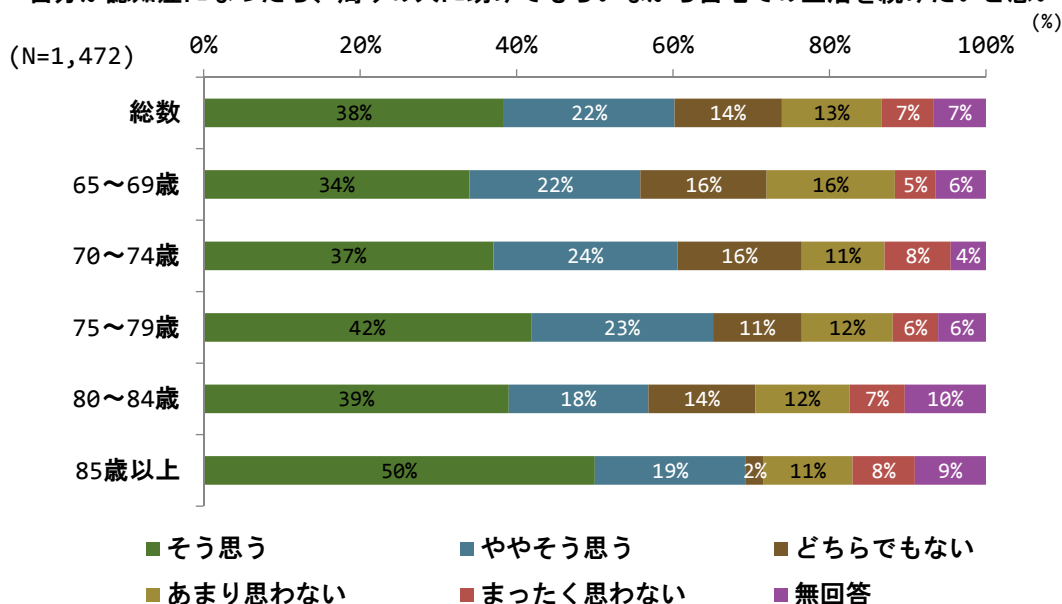


新規

認知症と在宅介護の希望

自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思うかどうかたずねたところ、「そう思う」「ややそう思う」が合わせて約6割となっている。一方、「あまり思わない」「まったく思わない」は合わせて約2割となっている。

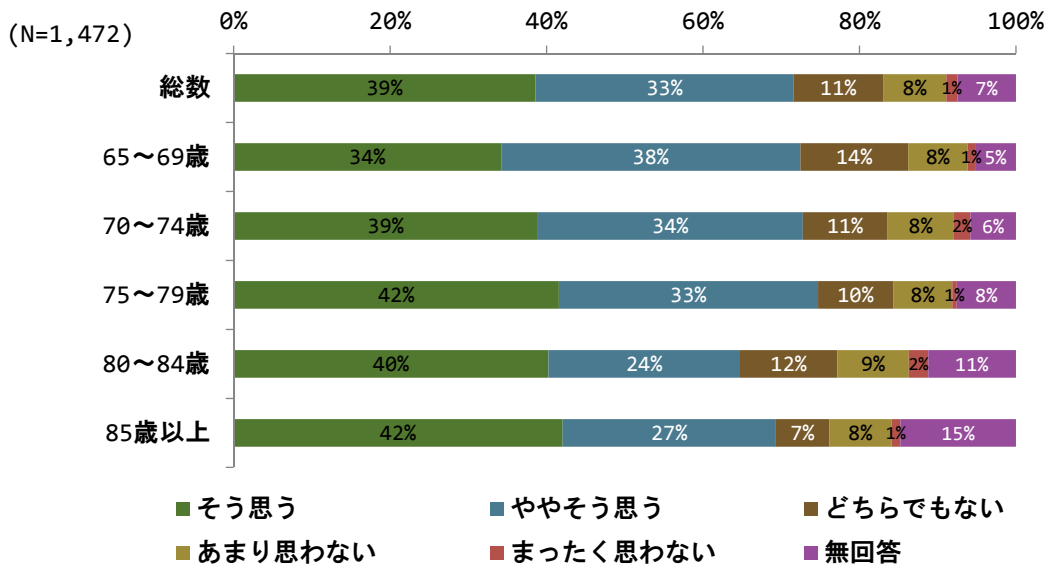
- 自分が認知症になったら、周りの人に助けをもらいながら自宅での生活を続けたいと思いますか。



認知症と周囲の協力

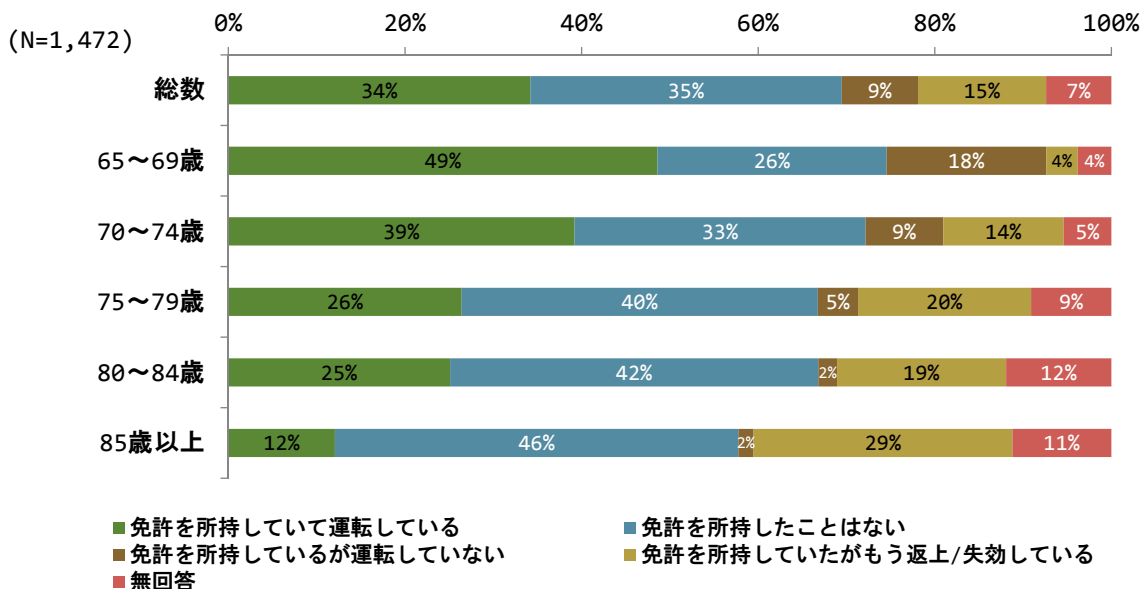
家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいかどうかたずねたところ、「そう思う」「ややそう思う」は合わせて約7割となっている。一方、「あまり思わない」「全く思わない」は合わせて約1割となっている。

- 家族が認知症になったら、協力を得るために近所の人や知人などにも知っておいてほしいと思いますか。



運転免許の所持と自家用車の運転

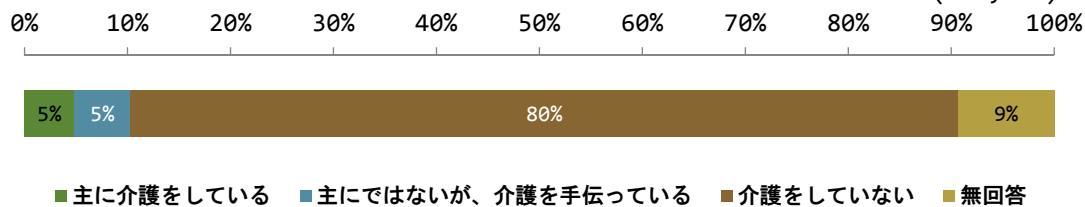
「免許を所持していて運転している」方は、65～69歳では49%、70～74歳では39%、75～79歳では26%、80～84歳では25%、85歳以上では12%となっている。
 「免許を所持しているが運転していない」「免許を返上/失効した」を合わせた割合は、65歳～84歳では21%～25%となっているが、85歳以上になると31%（うち「返上/失効」が29%）となっている。



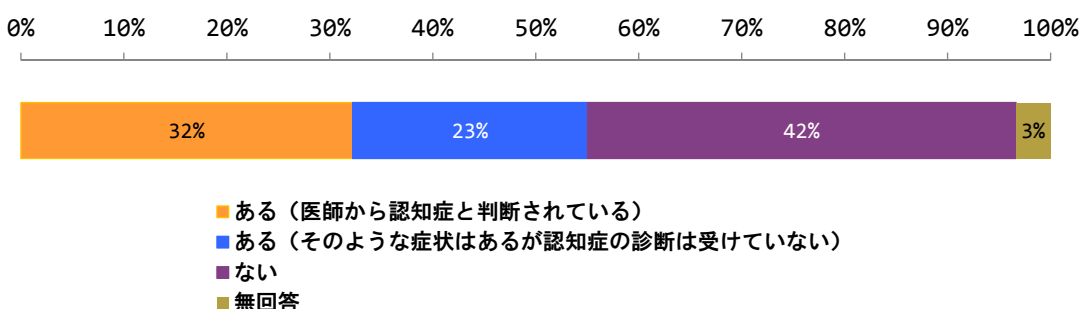
家族の介護

「主に介護をしている」「主にはではないが、介護を手伝っている」を合わせた約1割の方が家族の介護をしていると回答しており、介護を受けている方に認知症と思われる症状があるかどうかをたずねたところ、「ある」と回答した方が55%となっている。

- 現在あなたはご家族の介護をしていますか。 (N=1,448)



- あなたが介護している方には認知症と思われる症状がありますか。 (N=149)

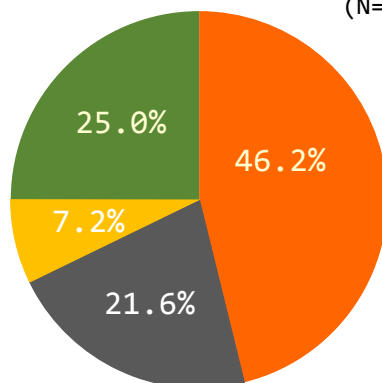


30

介護保険料とサービスの考え方

今後の介護保険料について最も近い考えをたずねたところ、「介護保険サービスの内容の見直しやサービスを利用した人の負担を増やすことなどにより、介護保険料を抑制するべき」が46.2%と最も多く、次いで「介護保険サービスの現状を維持する」21.6%、「介護保険サービスをさらに充実させる。それにより、介護保険料がより高くなっても仕方がない。」7.2%の順となっている。なお、無回答は25%となっている。

(N=11,677)



- 介護保険サービスの見直しやサービス利用者の負担を増やすなどにより、介護保険料を抑制するべき
- 介護保険サービスの現状を維持する（高齢化が進む分だけ介護保険料は高くなる）
- 介護保険サービスをさらに充実させる。そのために、介護保険料が高くなっても仕方がない
- 無回答

31

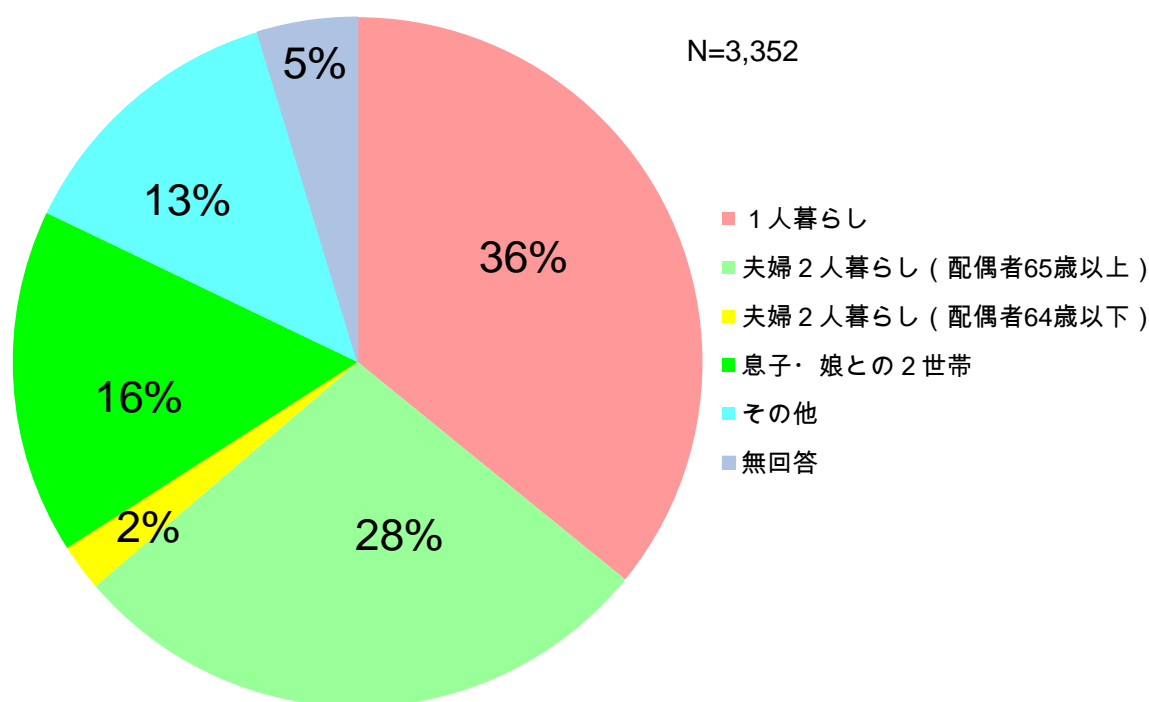
第7期神戸市介護保険事業計画策定に向けての実態調査結果

(最終報告)

在宅高齢者実態調査

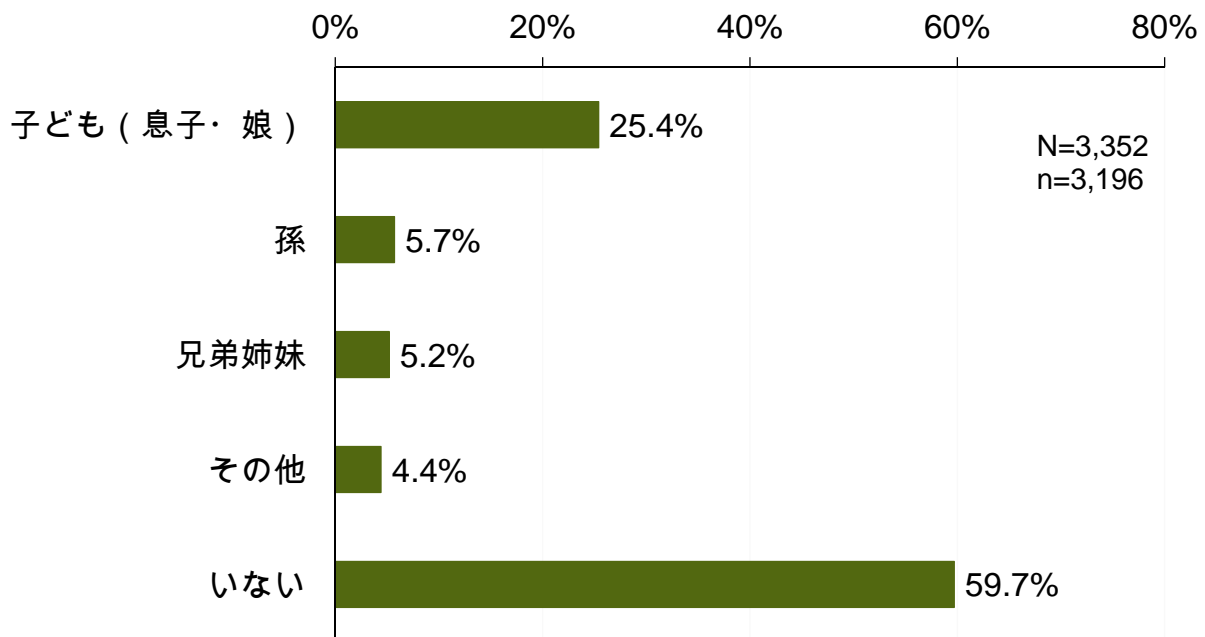
世帯構成

単身世帯が36%、ともに65歳以上の夫婦のみ二世帯が28%となっている。



近隣に居住する親族

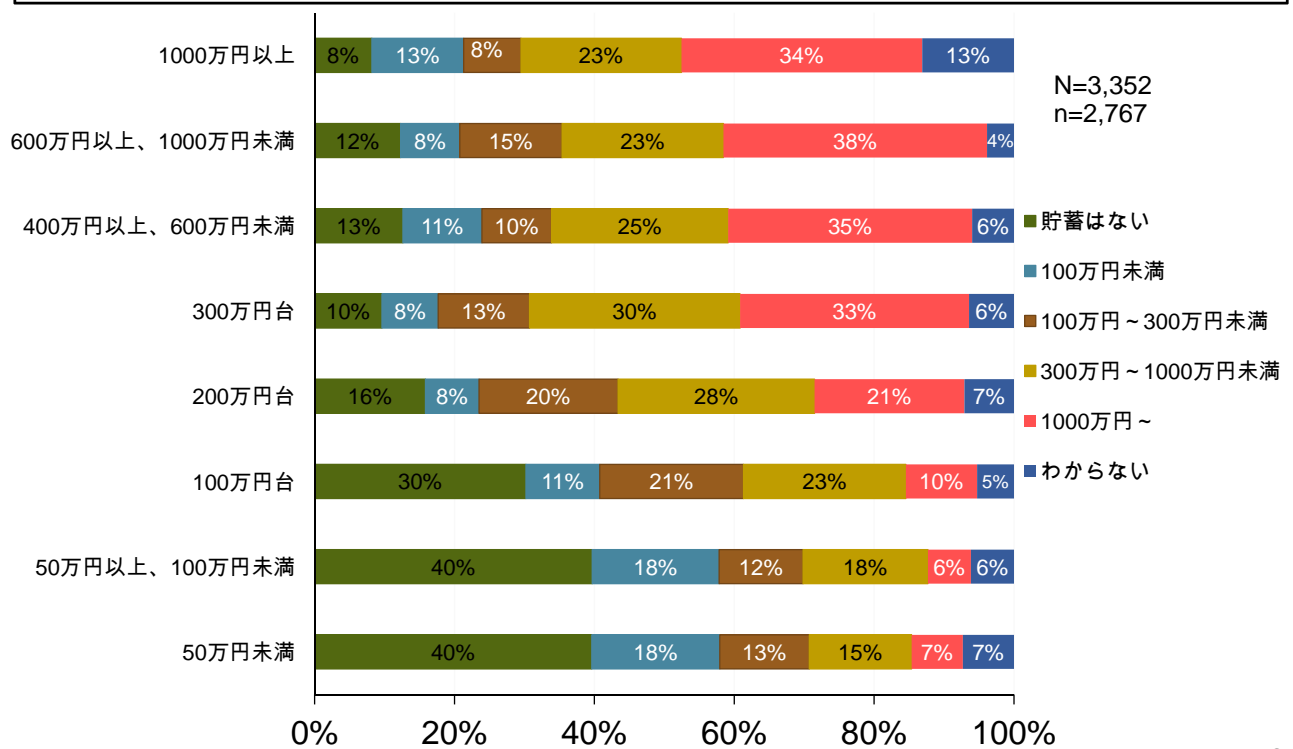
歩いて15分以内ぐらいの距離に住んでいる親族はいるかたずねたところ、「いない」と回答した割合は約6割となっている。



2

収入／貯蓄額

世帯収入200万円未満では「貯蓄額はない」が30～40%となっている。世帯収入300万円以上では貯蓄額「1000万円以上」が約30～40%となっている。

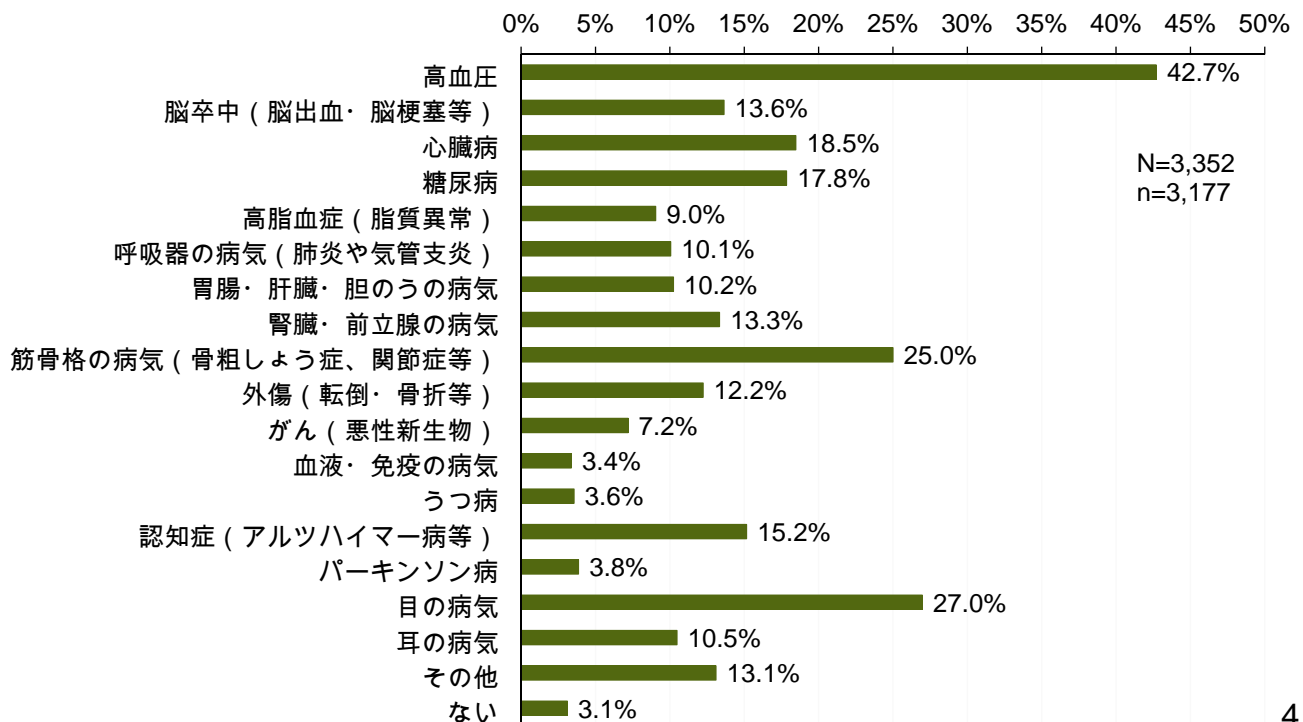


40

3

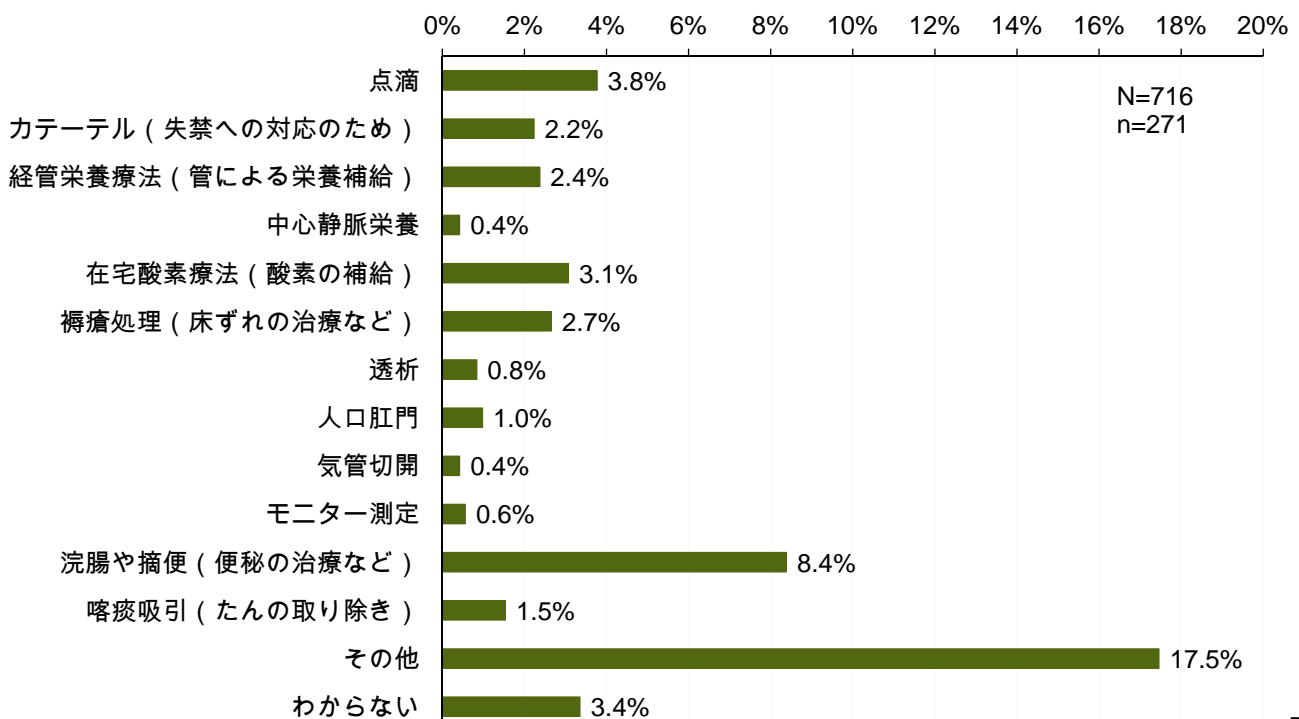
罹患状況

病気で最も多いものは、「高血圧」で42.7%、次いで「目の病気」27.0%、「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）」25.0%、「心臓病」18.5%、「糖尿病」17.8%、「認知症（アルツハイマー病等）」15.2%が多くなっている。



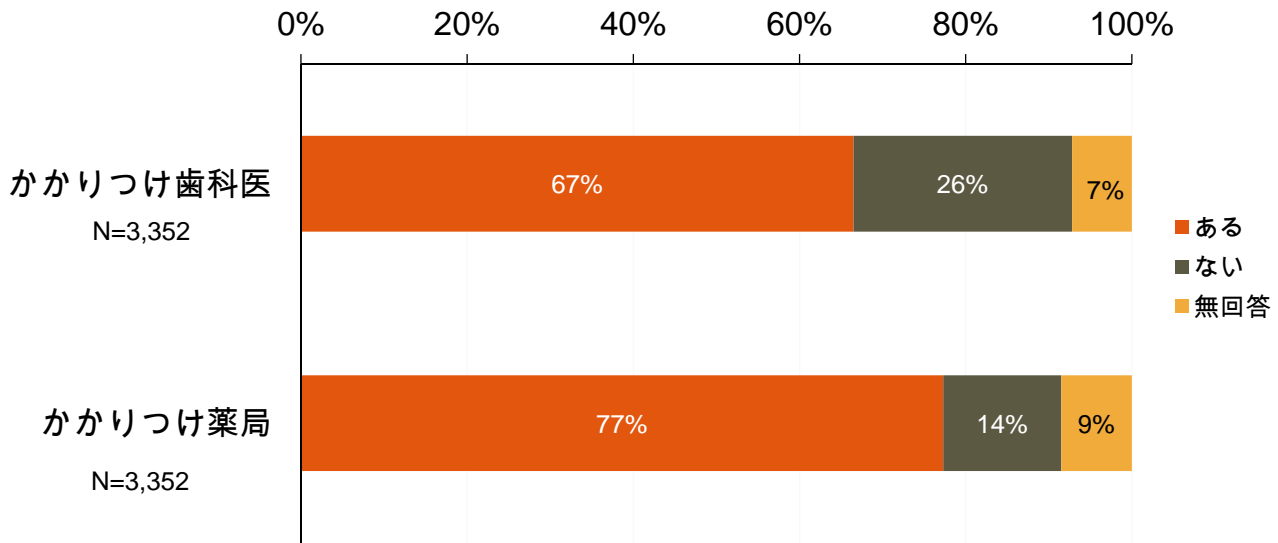
自宅での治療等

自宅で医師等による治療や指導を受けている方は21.4%。自宅で受けている医療の種類として最も多いのは、「浣腸や摘便」8.4%、次いで「点滴」3.8%、「在宅酸素療法（酸素の補給）」3.1%、「褥瘡処理」2.7%が多くなっている。



かかりつけ歯科医・薬局

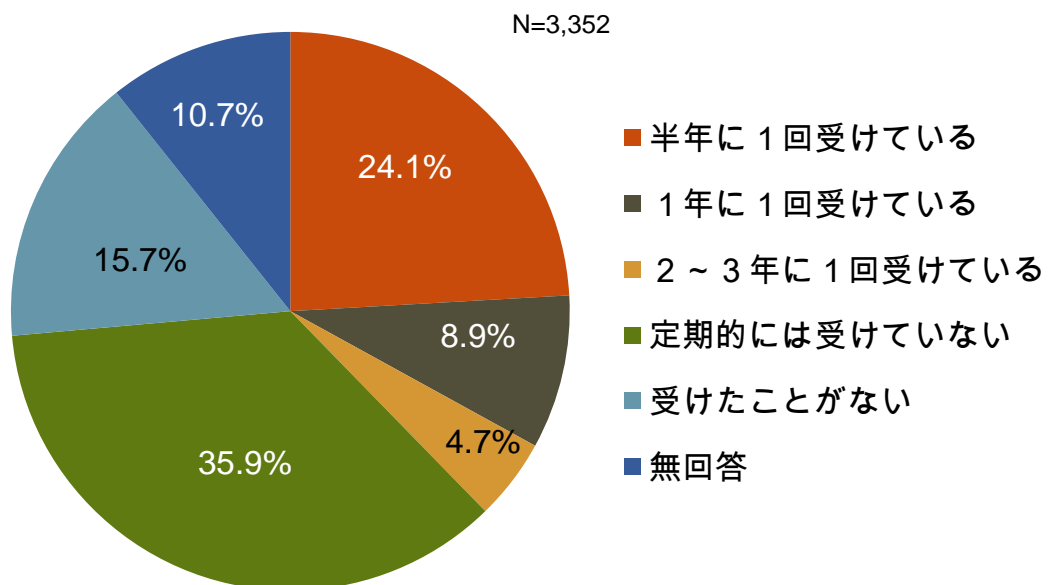
約7割の方が、かかりつけ歯科医師が「いる」と回答している。
約8割の方が、かかりつけ薬局が「ある」と回答している。



6

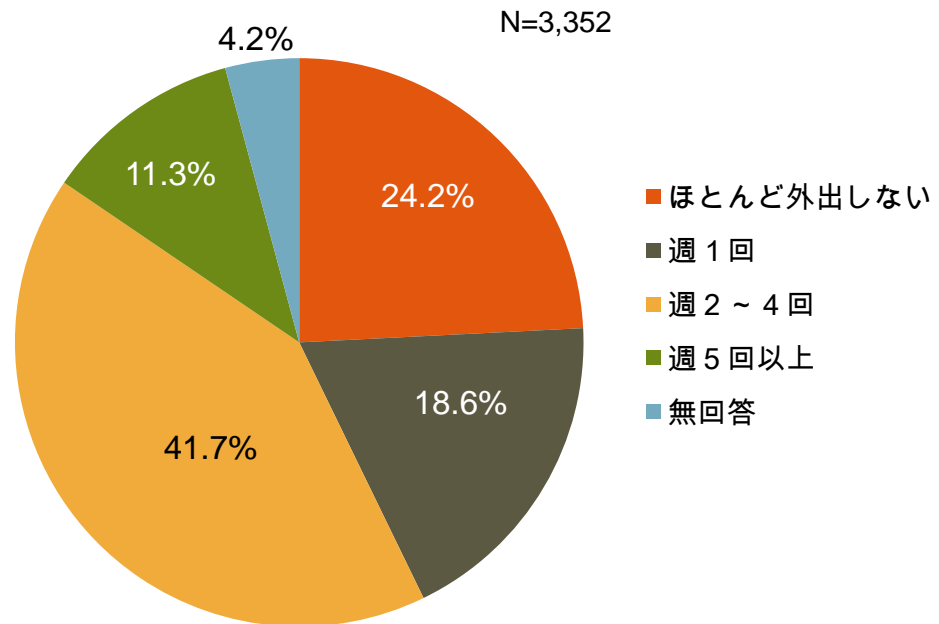
歯科検診の受診率

約33%の方が1年に1回以上歯科検診を受診している一方、「定期的には受けていない」「受けたことがない」が合わせて約5割となっている。



外出頻度

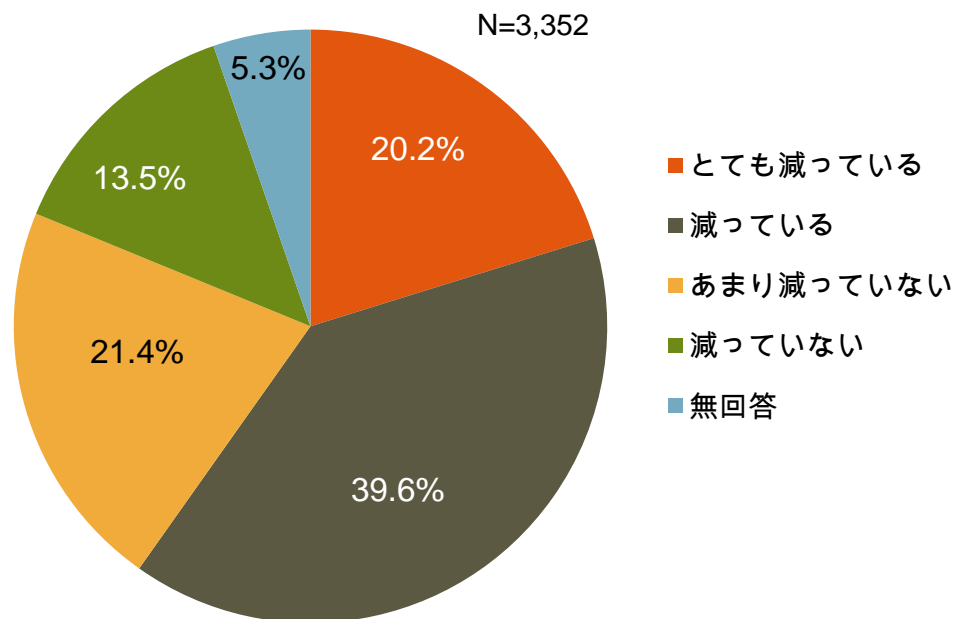
「週に2~4日」が41.7%と最も多い。「ほとんど外出しない」と「週1回」を合わせると42.8%となっている。



8

外出の増減

昨年と比べて外出の回数が減っているかどうかをたずねたところ、「とても減っている」「減っている」が合わせて59.8%となっている。「あまり減っていない」「減っていない」は合わせて34.9%となっている。

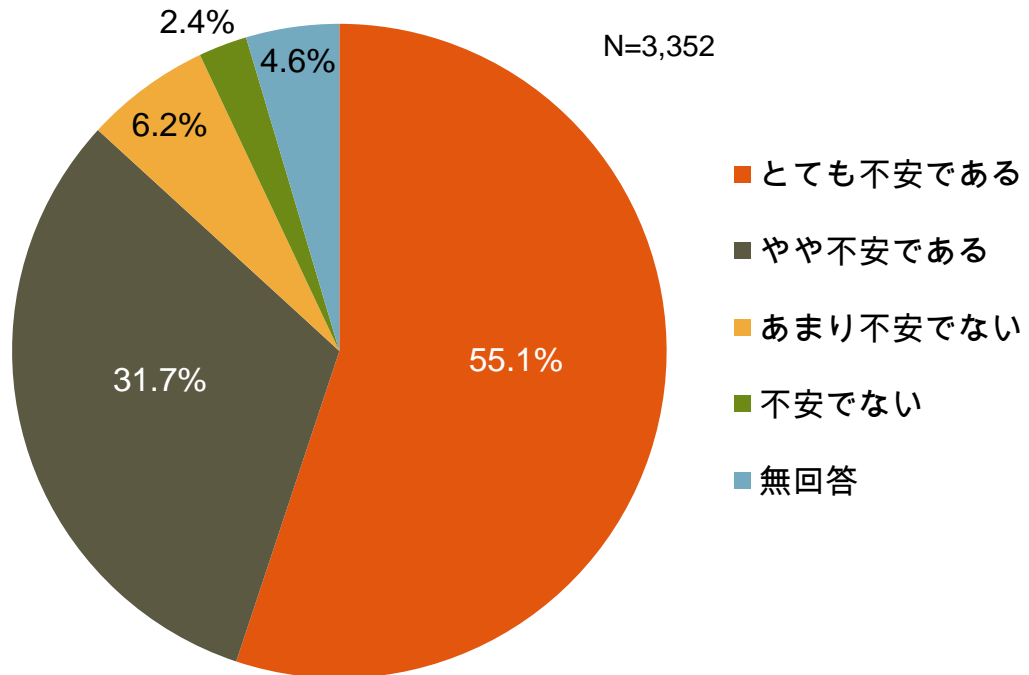


43

9

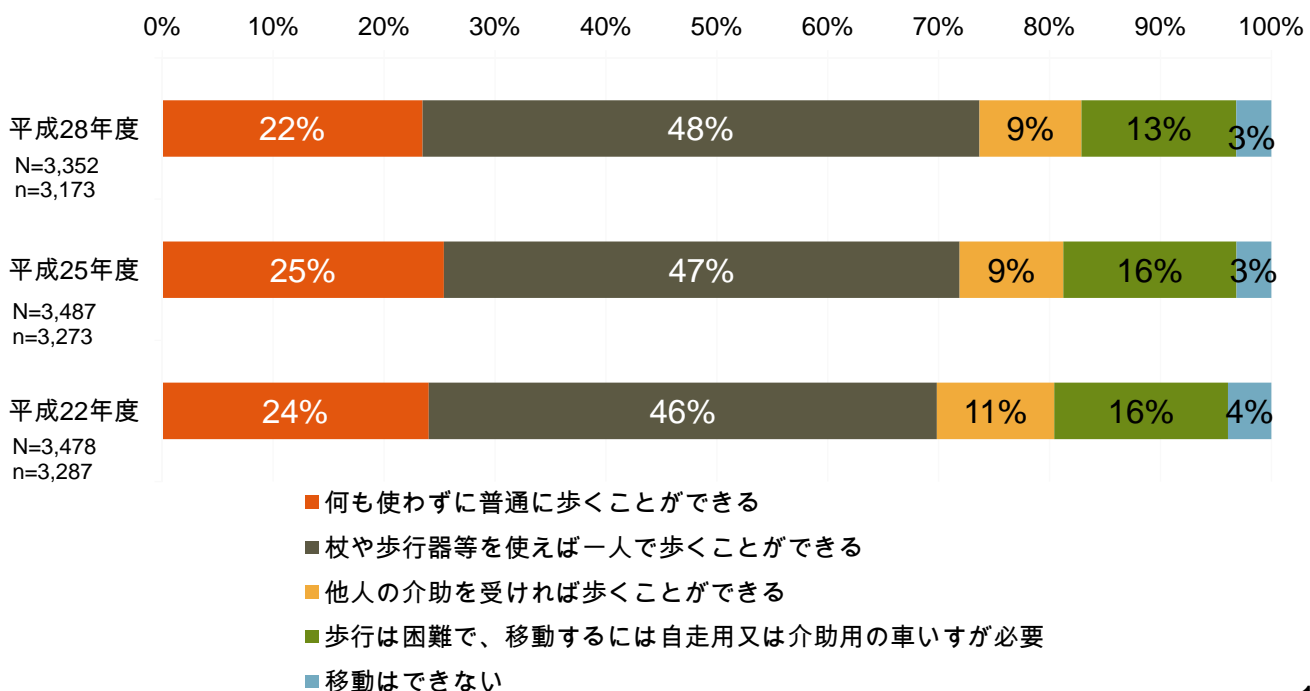
転倒に対する不安

「とても不安である」と回答した方が55.1%となっている。これに「やや不安である」を合わせた86.8%の方が転倒に対する不安を持っている。



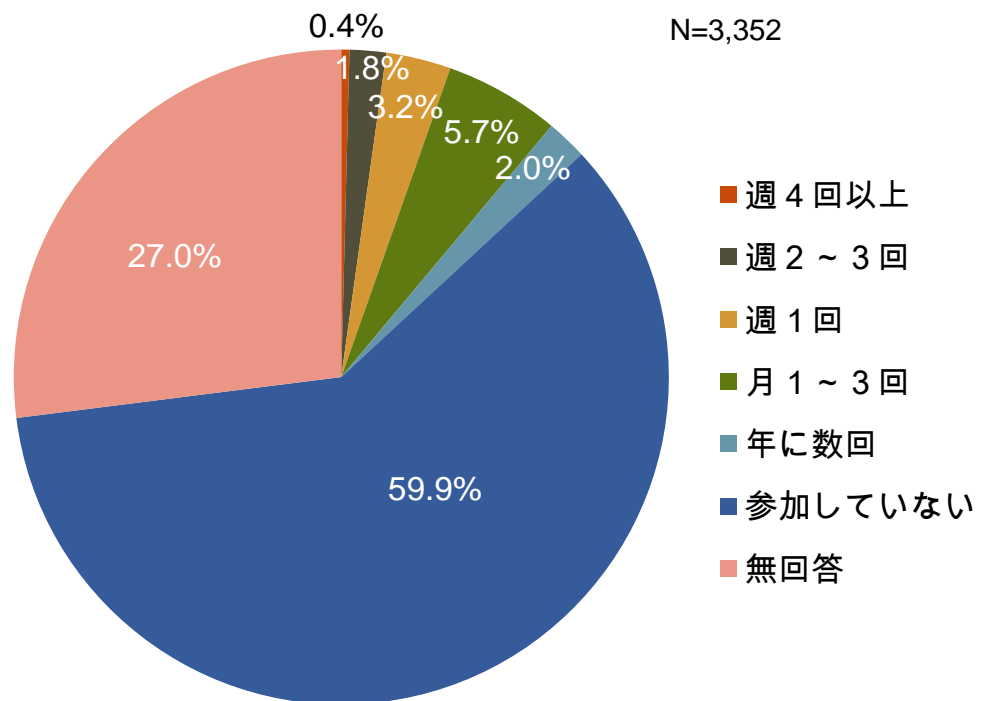
身体状況

前回調査と比較して、(A)「杖や歩行器等を使えば一人で歩くことができる」が1ポイント増加し、(B)「何も使わずに普通に歩くことができる」が3ポイント減少している。(A)(B)を合わせた約7割の方が一人で歩くことができると回答している。



趣味のグループへの参加頻度

趣味のグループには、13.1%の方が参加しているが、約6割の方は「参加していない」と回答している。

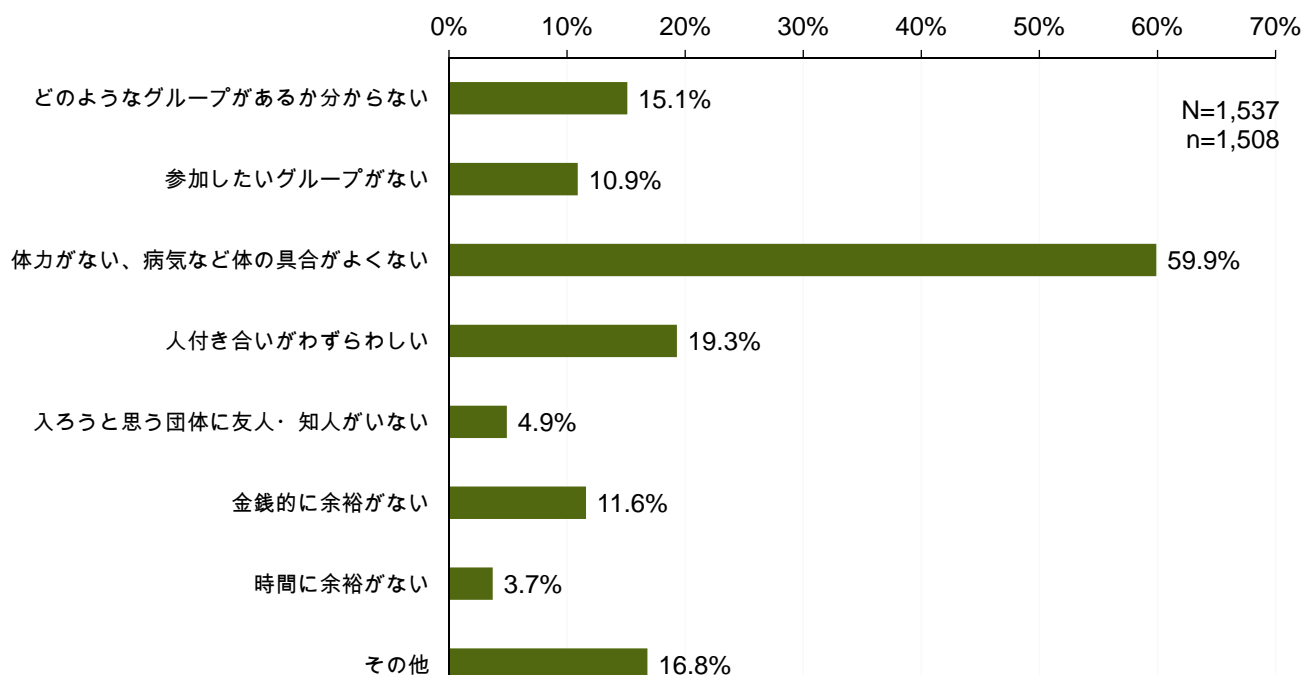


12

新規

会・グループに参加していない理由

いずれの会・グループにも参加していない方に参加していない理由をたずねたところ、「体力がない、病気など体の具合がよくない」が最も多く59.9%となっている。「どのようなグループがあるか分からない」と答えた方は15.1%となっている。



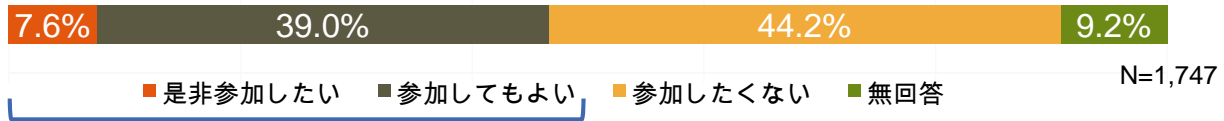
45

13

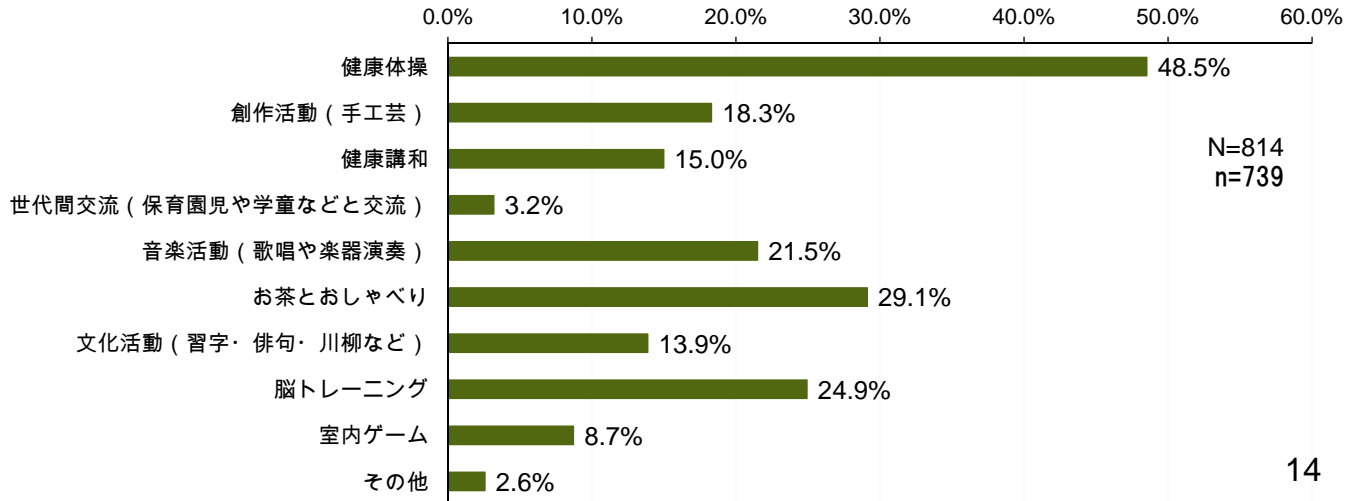
地域住民によるグループ活動への参加希望

約5割の方が、「参加したい」又は「参加してもよい」と回答している。参加したい又は参加してみたい活動は、「健康体操」が48.5%と最も多く、次いで「お茶とおしゃべり」29.1%、「脳トレーニング」24.9%、「音楽活動」21.5%が多くなっている。

○地域住民の有志による健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加したいか。(要支援者のみ)



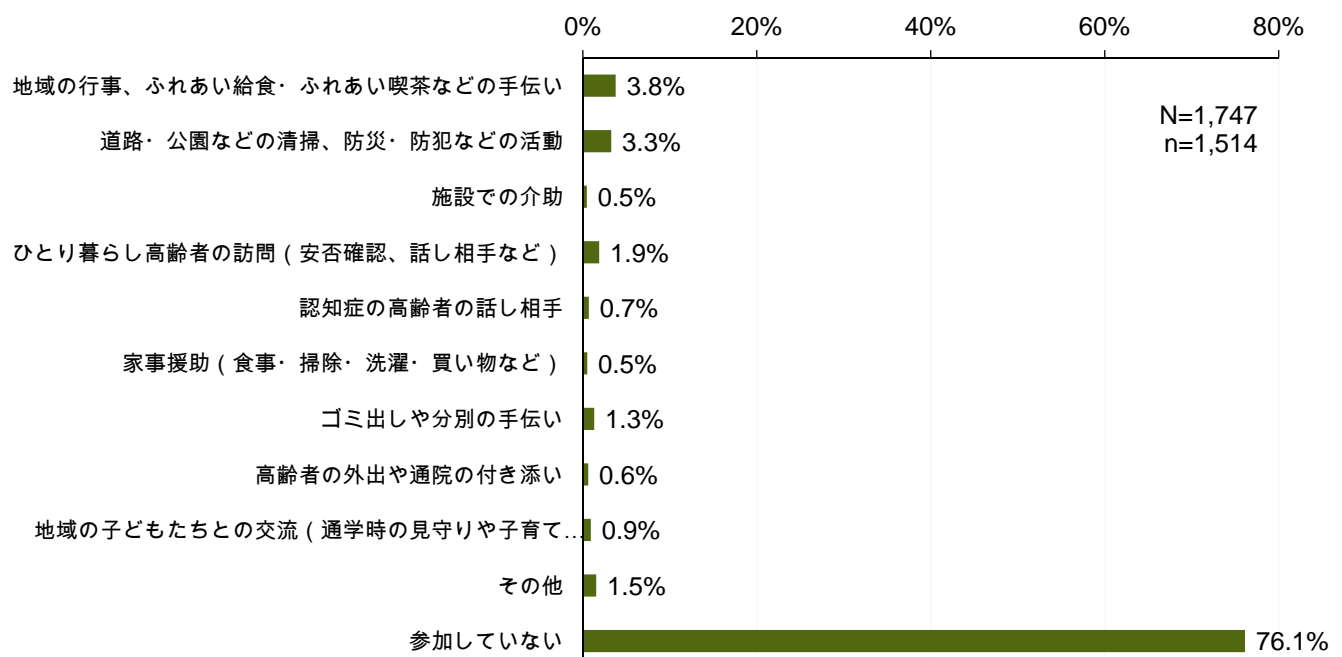
○参加したい又は参加してもよいと思うグループ活動



地域で参加しているボランティア活動

<要支援者>

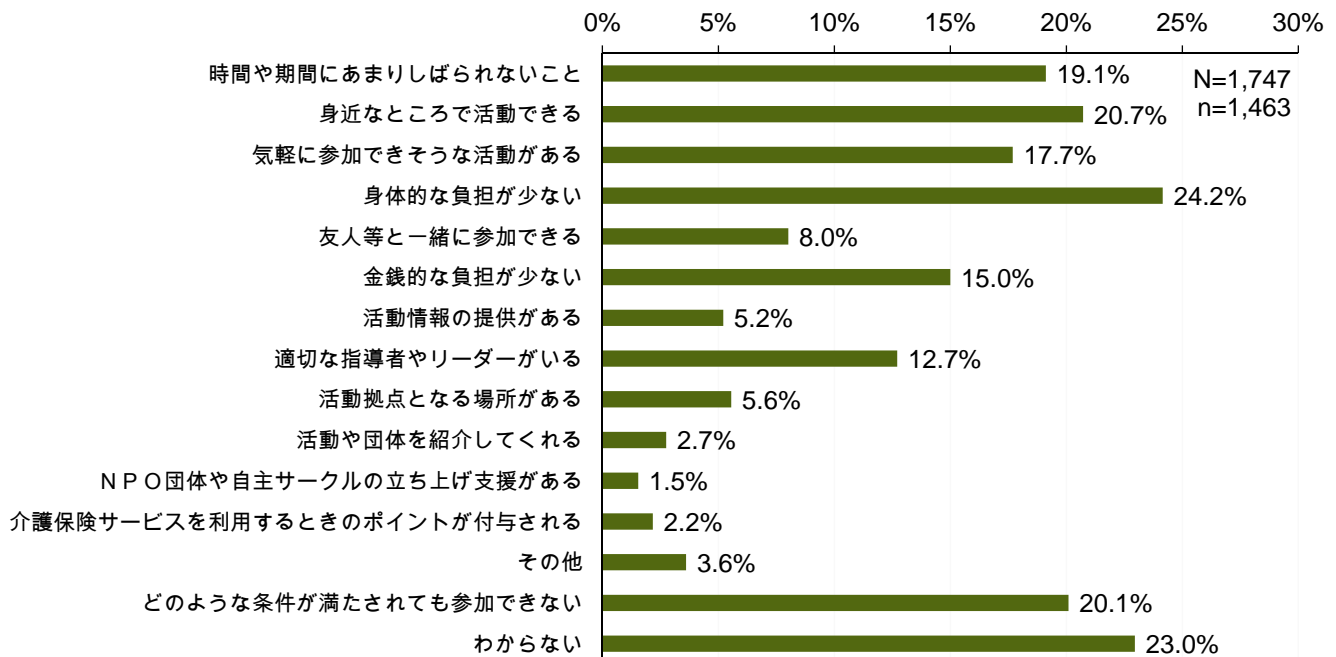
地域のボランティア活動には、76.1%の方が「参加していない」と回答している。参加している活動では、「地域の行事、ふれあい給食・喫茶などの手伝い」3.8%、「道路・公園などの清掃、防災・防犯などの活動」3.3%、「一人暮らしの高齢者の訪問」1.9%の順に多くなっている。



ボランティアへの参加条件

<要支援者>

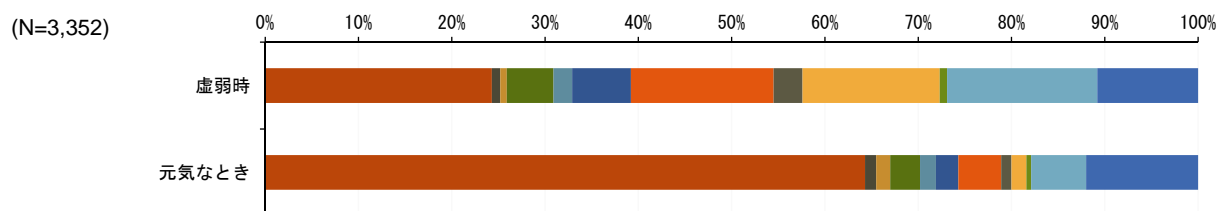
ボランティアに参加したり今以上に参加するための条件をたずねたところ、最も多いのが「身体的な負担が少ない」で24.2%、次いで「身近なところで活動できる」20.7%、「時間や期間にあまりしばられないこと」19.1%、「気軽に参加できそうな活動がある」17.7%が多くなっている。一方、「どのような条件が満たされても参加できない」との回答が20.1%ある。



16

住まいの希望

「お元気なとき」は「現在の住宅」が64.3%となっている。「身体が虚弱化したときなど介護が必要となった場合」については、「現在の自宅」は24.3%に減少し、「特別養護老人ホーム等老人福祉施設」が10.7ポイント、「病院などの医療施設」が13.1ポイント増加している。



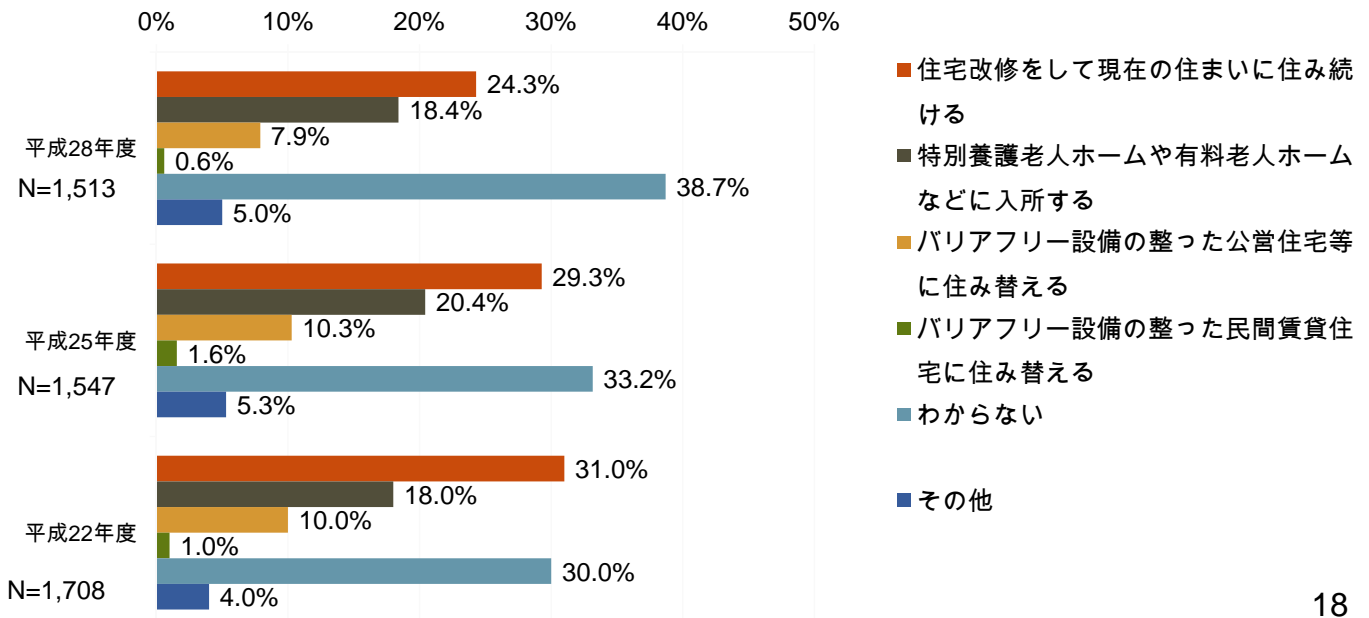
	元気なとき	虚弱時
■現在の住宅	64.3%	24.3%
■利便性の高い都心の住宅	1.2%	0.9%
■公的な住宅	1.5%	0.7%
■公的な高齢者向け住宅	3.2%	5.0%
■民間の高齢者向け住宅	1.7%	2.0%
■介護付有料老人ホーム等以外の世帯	2.4%	6.3%
■特別養護老人ホーム等老人福祉施設	4.6%	15.3%
■老人保健施設	1.1%	3.1%
■病院など医療施設	1.6%	14.7%
■その他	0.5%	0.8%
■わからない	5.9%	16.1%
■無回答	12.0%	10.8%

47

17

住まいのバリアフリー化の意向

住まいのバリアフリー化が「十分だと思わない」と回答した方に、今後の意向をたずねたところ、「住宅改修をして現在の住まいに住み続ける」が24.3%、「特別養護老人ホームや有料老人ホームなどに入所する」が18.4%となっている。
 前回調査との比較では、「住宅改修をして現在の住まいに住み続ける」が5.0ポイント減少している。

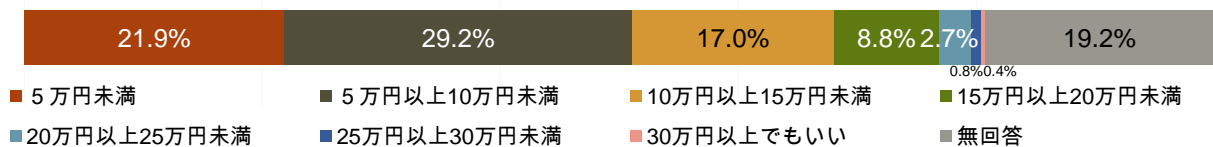


新規

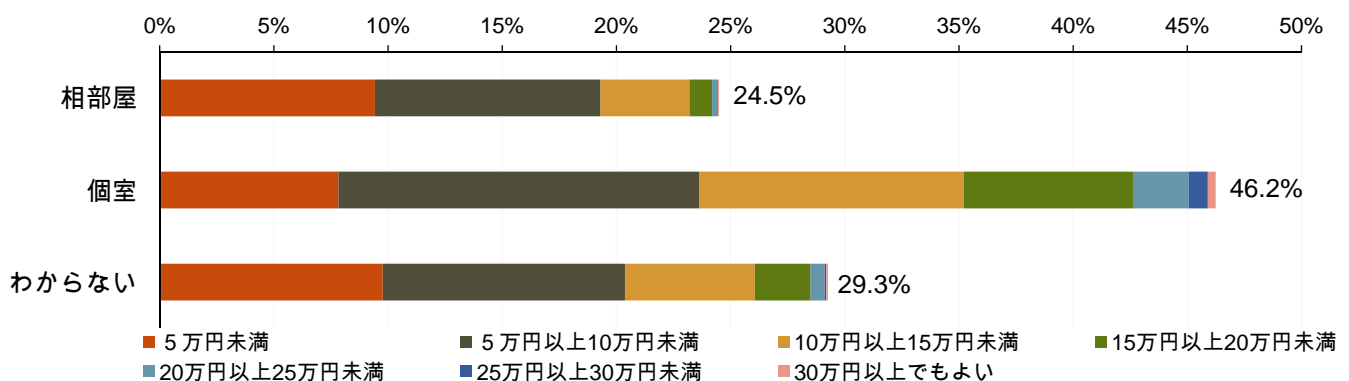
特別養護老人ホームの毎月の負担可能額

毎月の支払い可能額は、「5～10万円」が29.2%と最も多く、次いで「5万円未満」21.9%、「10～15万円」17.0%、「20～25万円」8.8%の順に多くなっている。
 個室と相部屋の概ねの負担額を紹介したうえで、個室・相部屋のどちらを選択するかたずねたところ、46.2%の方が「個室」、24.5%の方が「相部屋」と回答している。

○特別養護老人ホームに住替えたり、入所する場合、毎月の支払いはいくらまで負担できるか。 N=3,352

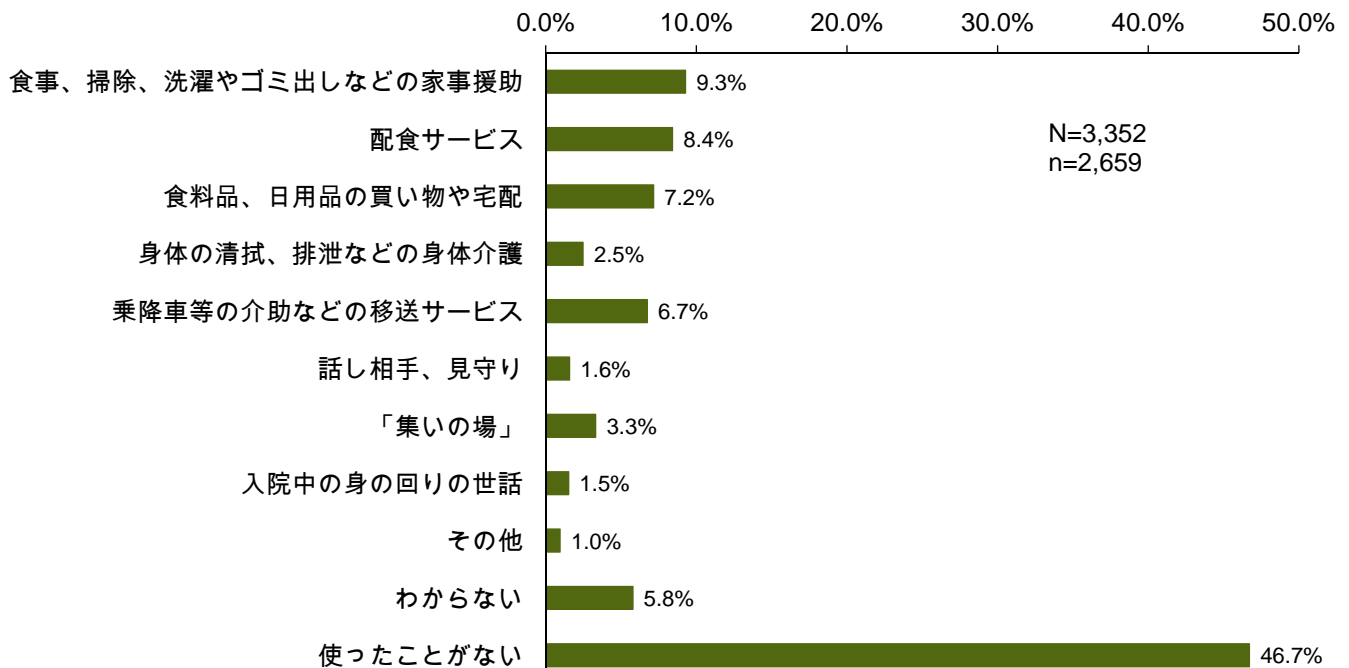


○特別養護老人ホームに入所することになった場合に個室・相部屋のどちらを希望するか。 N=3,352 n=2,621



インフォーマルサービスの利用

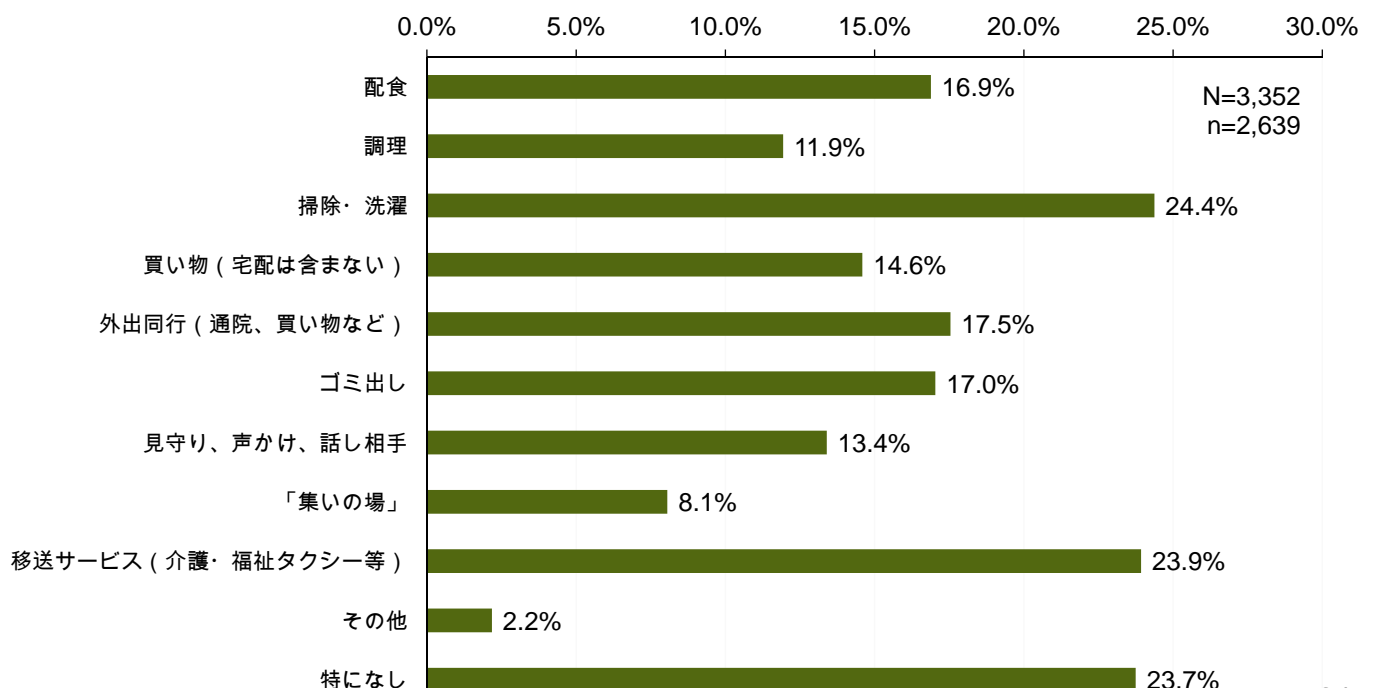
「食事、掃除、洗濯やゴミ出しなどの家事援助」9.3%、「配食サービス」8.4%、「食料品、日用品の買い物や宅配」7.2%、「乗降車等の介助などの移送サービス」6.7%の順になっている。一方、「使ったことがない」方が46.7%となっている。



20

在宅生活の継続に必要な支援・サービス

在宅生活の継続に必要な又はさらなる充実が必要と感じるサービスをたずねたところ、「掃除・洗濯」が24.4%と最も多く、次いで「移送サービス」23.9%、「外出同行」17.5%、「ゴミ出し」17.0%、「配食」16.9%が多くなっている。



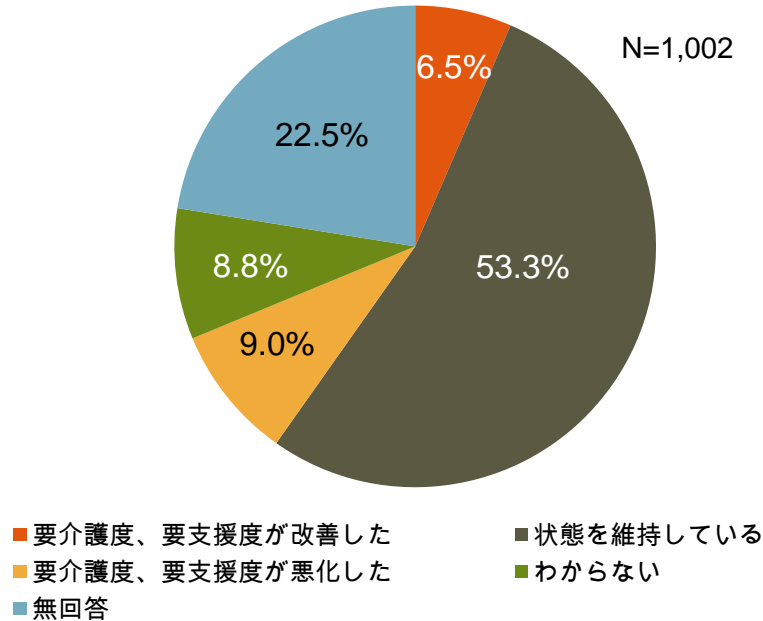
49

21

通所介護利用者の改善状況

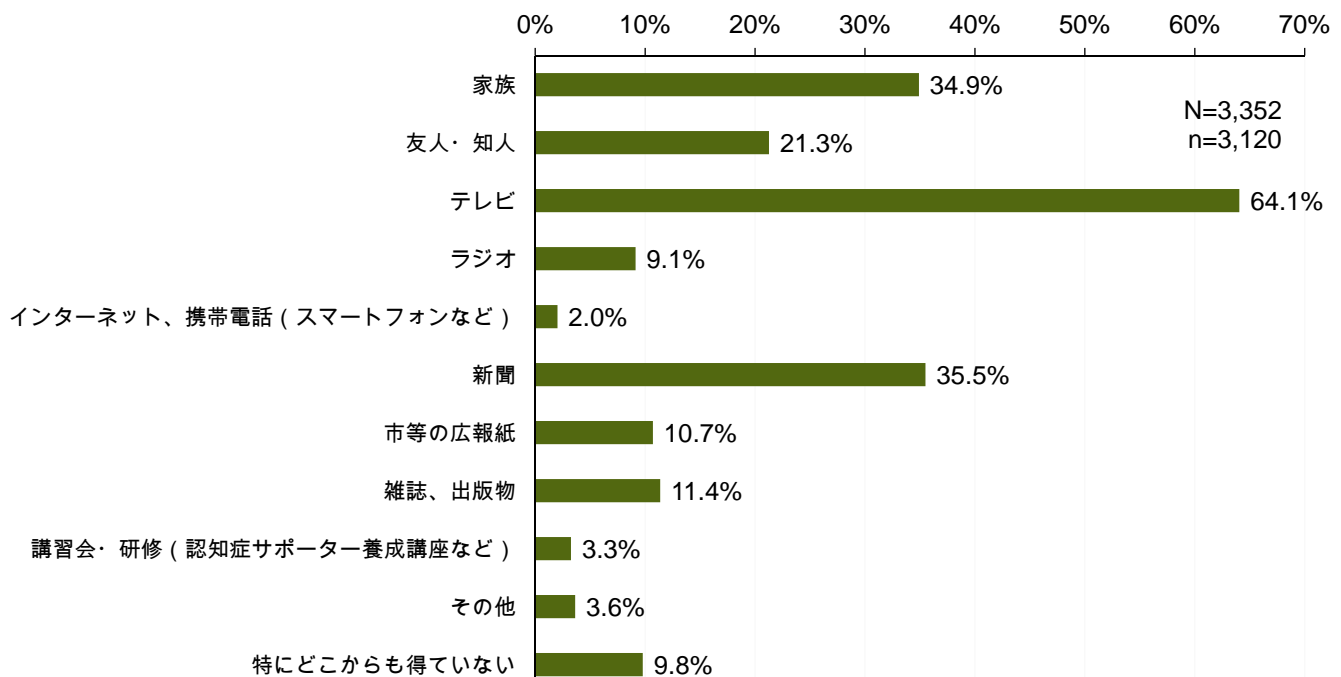
通所介護、認知症対応型通所介護を1年以上利用されている方に、この1年間で状態は改善したかどうかをたずねたところ、「要介護度、要支援度が改善した」と回答した方は6.5%、「状態を維持している」が53.3%、「要介護度、要支援度が悪化した」が9.0%となっている。

- この1年間で、あなたの状態は改善しましたか。(通所介護、認知症対応型通所介護を1年以上利用されている方)



認知症に関する情報の入手先

認知症に関する情報の入手先として、「テレビ」64.1%、「新聞」35.5%、「家族」34.9%、「友人・知人」21.3%の順に多くなっている。



認知症に関する心配ごと・相談相手

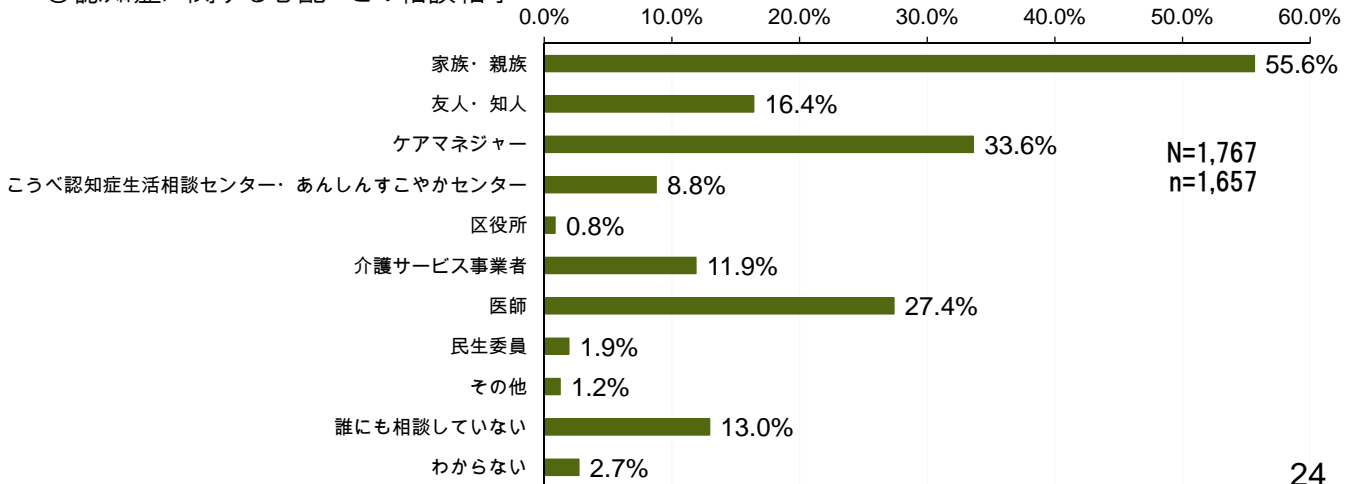
認知症に関する心配ごとが「ある」と回答した方が約5割おられる。それらの方の認知症に関する相談相手は、「家族・親族」が55.6%と最も多く、次いで「ケアマネジャー」33.6%、「医師」27.4%が多くなっている。一方、「誰にも相談していない」方が13.0%おられる。

○認知症に関する心配ごとの有無

N=3,352

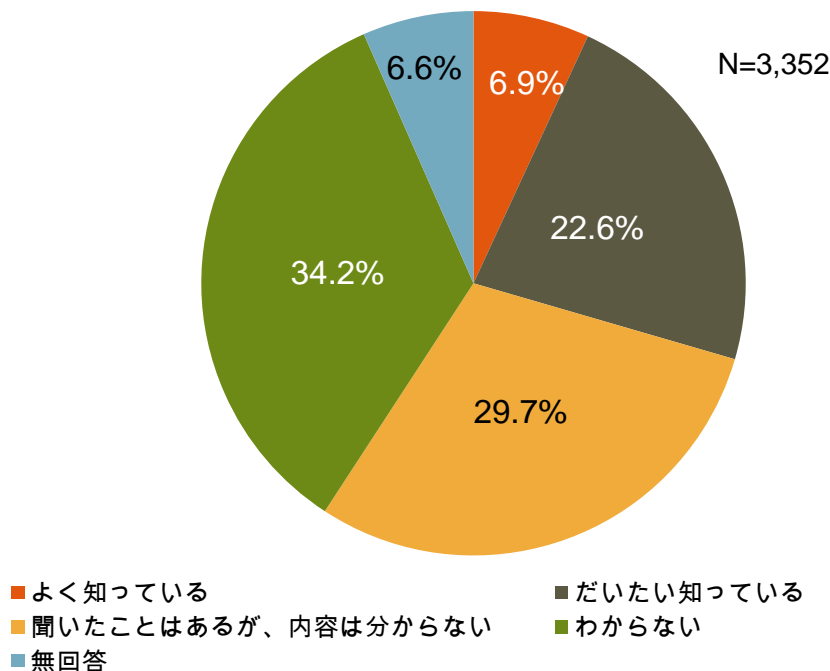


○認知症に関する心配ごとの相談相手



成年後見人制度の認知度

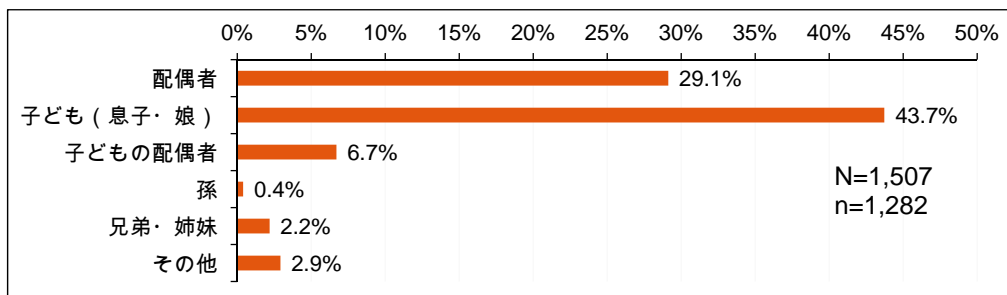
成年後見人制度を「よく知っている」「だいたい知っている」と回答した方は合わせて29.5%となっている。一方、「聞いたことはあるが、内容は分からない」「わからない」と回答した方は合わせて63.9%となっている。



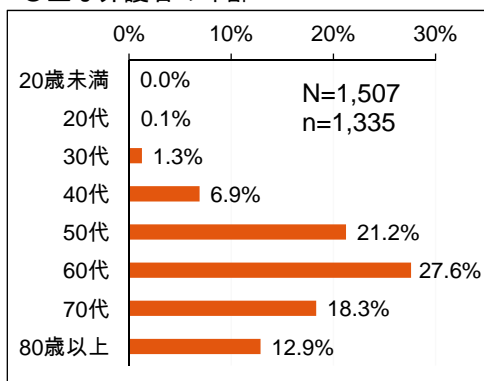
介護者の状況

主な介護者の続柄は、「子ども」が43.7%、「配偶者」が29.1%となっており、性別でみると、「男性」32%、「女性」68%となっている。年齢は、「60代」が最も多く27.6%、次いで「50代」21.2%、「70代」18.3%が多くなっており、「80歳以上」も12.9%となっている。

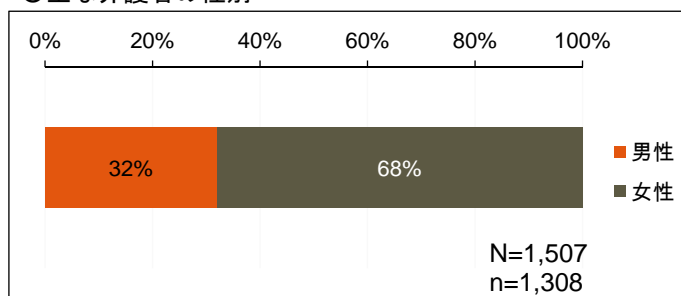
○主な介護者の続柄



○主な介護者の年齢



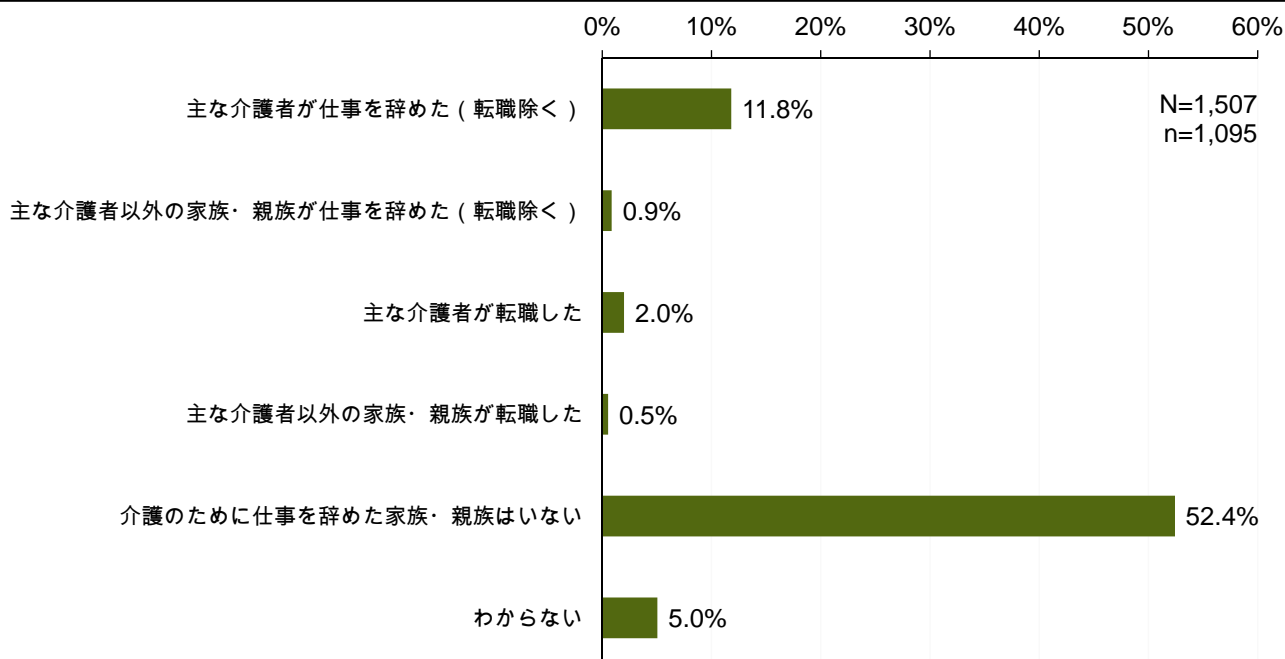
○主な介護者の性別



新規

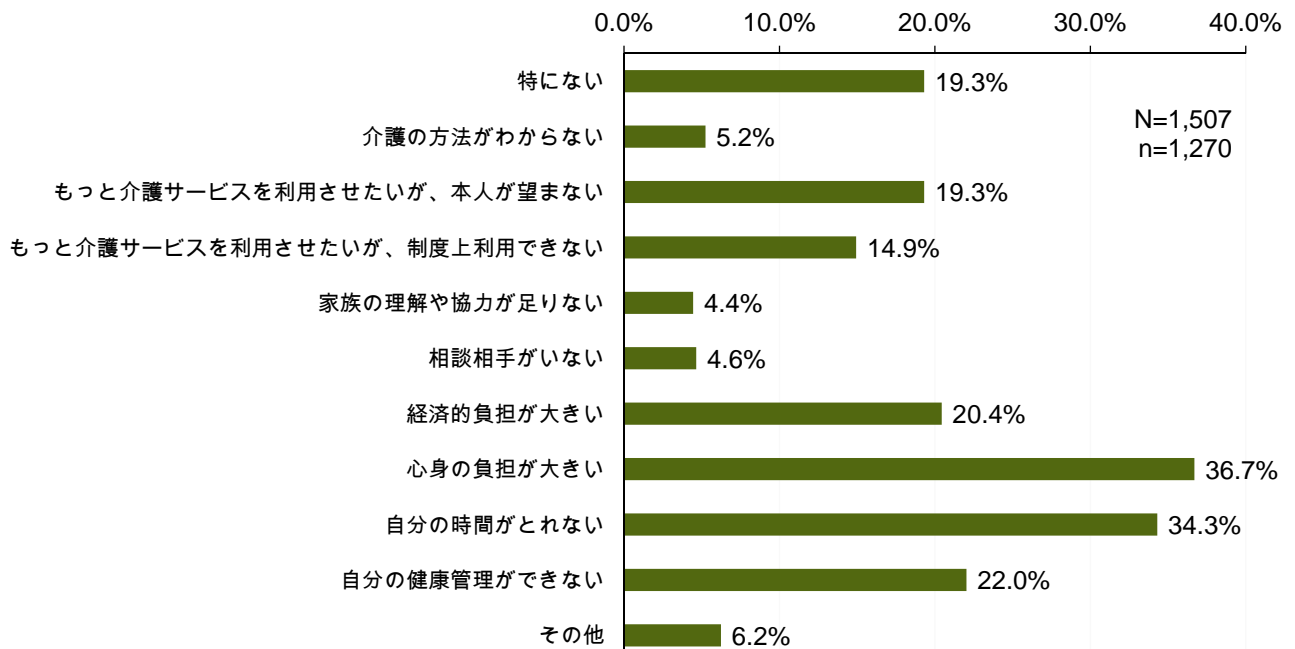
家族・親族の介護離職の状況

介護のために過去に仕事を辞めた方がいるかたずねたところ、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が52.4%となっている。一方、「主な介護者が仕事を辞めた」「主な介護者以外の家族が仕事を辞めた」と回答した方が合わせて12.7%となっている。



介護者の困りごと

介護者が介護を行ううえで困っていることをたずねたところ、「心身の負担が大きい」が最も多く36.7%、次いで「自分の時間がとれない」34.3%、「自分の健康管理ができない」22.0%、「経済的負担が大きい」20.4%が多くなっている。一方、「特にない」と回答した方は19.3%となっている。

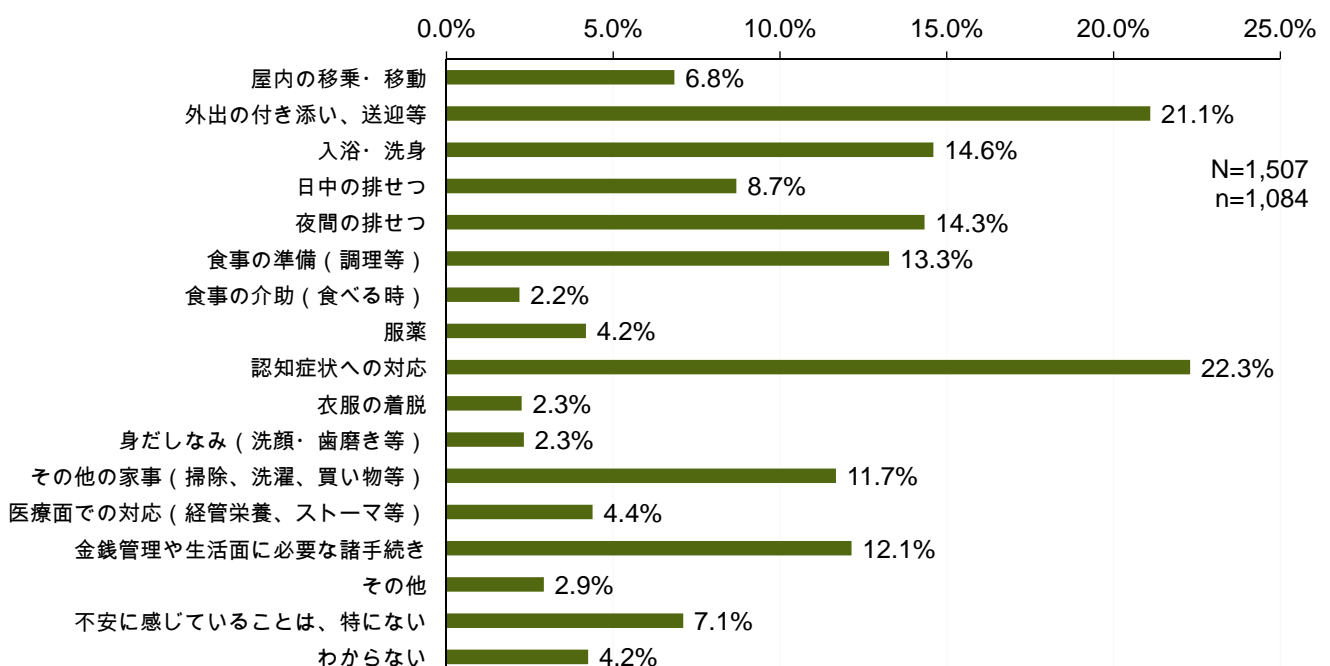


28

新規

介護者が不安に感じる介護等

現在の在宅生活を継続していくにあたって、主な介護者が不安に感じる介護等についてたずねたところ、「認知症状への対応」が22.3%と最も多く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が21.1%、「入浴・洗身」が14.6%、「夜間の排せつ」14.3%が多くなっている。

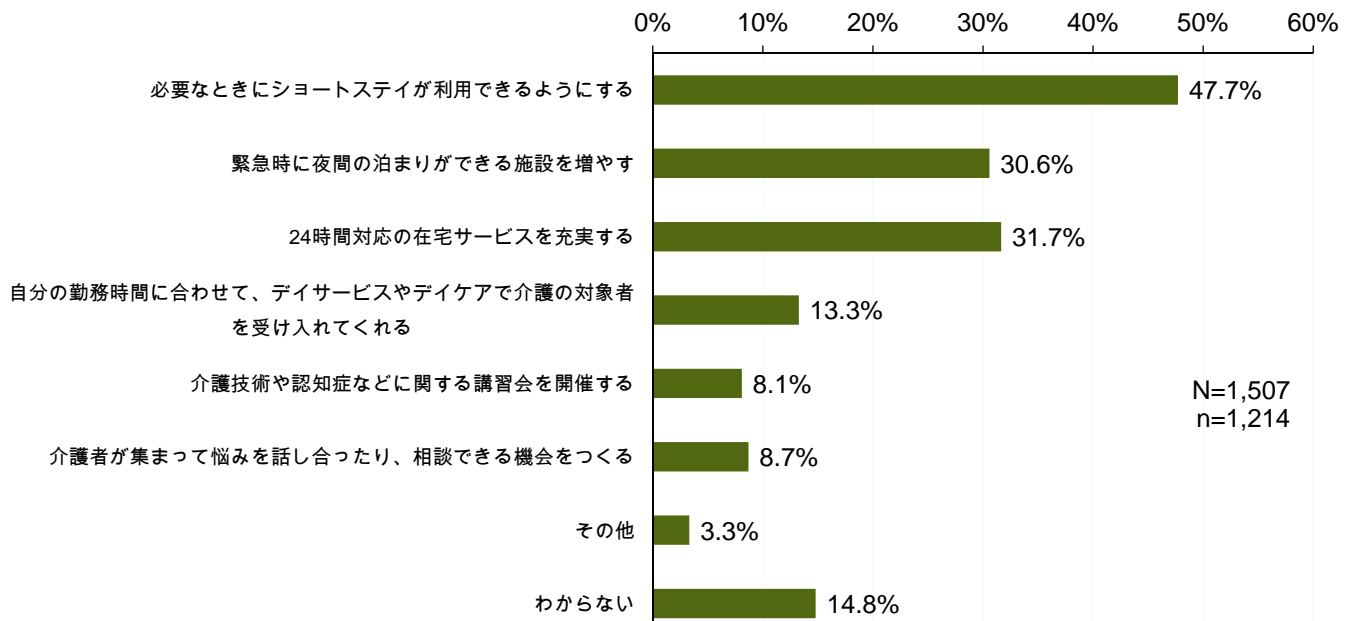


53

29

介護負担減のために必要な施策

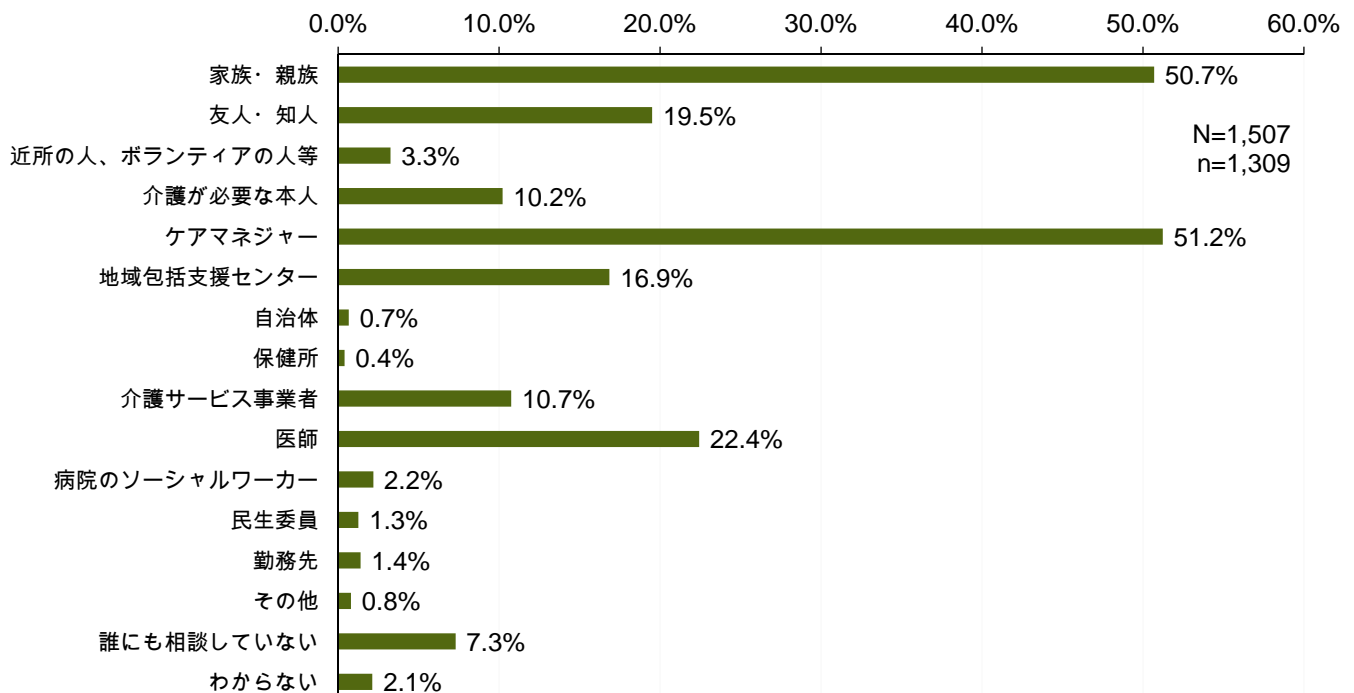
主な介護者の介護負担を減らすためにどのような施策が必要かたずねたところ、「必要なときにショートステイが利用できるようにする」が最も多く47.7%、次いで「24時間対応の在宅サービスを充実する」31.7%、「緊急時に夜間の泊りができる施設を増やす」30.6%が多くなっている。



新規

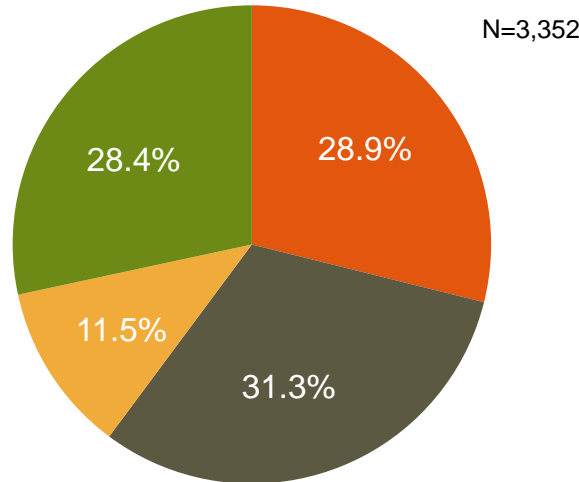
介護者の相談相手

介護者の相談相手は、「ケアマネジャー」が51.2%、「家族・親族」が50.7%、「医師」が22.4%、「友人・知人」が19.5%、「地域包括支援センター」が16.9%の順に多くなっている。



介護保険料と介護サービスの考え方

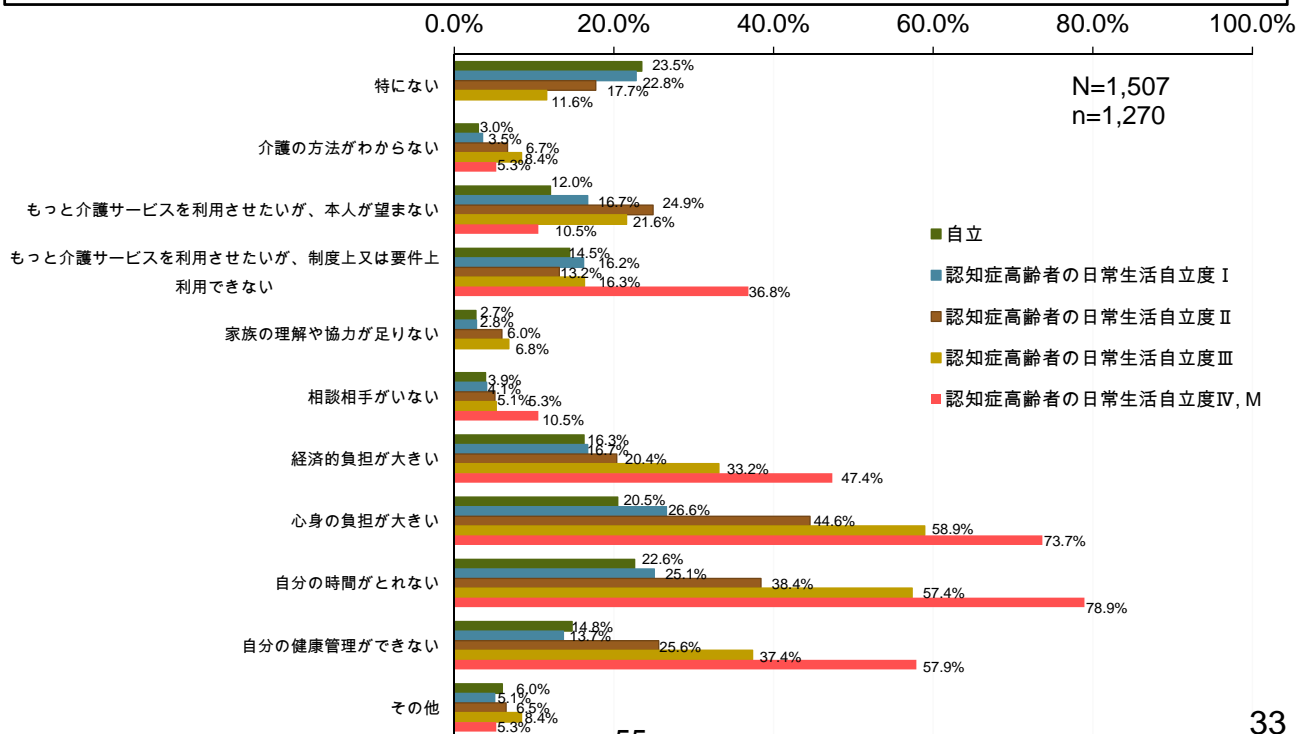
今後の介護保険料について最も近い考えをたずねたところ、「介護保険サービスの現状を維持する」が31.3%と最も多く、次いで「介護保険サービスの見直しやサービス利用者の負担を増やすなどにより、介護保険料を抑制するべき」28.9%、「介護保険サービスをさらに充実させる。そのために、介護保険料が高くなっても仕方がない」11.5%の順となっている。なお、無回答も28.4%となっている。



- 介護保険サービスの見直しやサービス利用者の負担を増やすなどにより、介護保険料を抑制するべき
- 介護保険サービスの現状を維持する (高齢化が進む分だけ介護保険料は高くなる)
- 介護保険サービスをさらに充実させる。そのために、介護保険料が高くなっても仕方がない
- 無回答

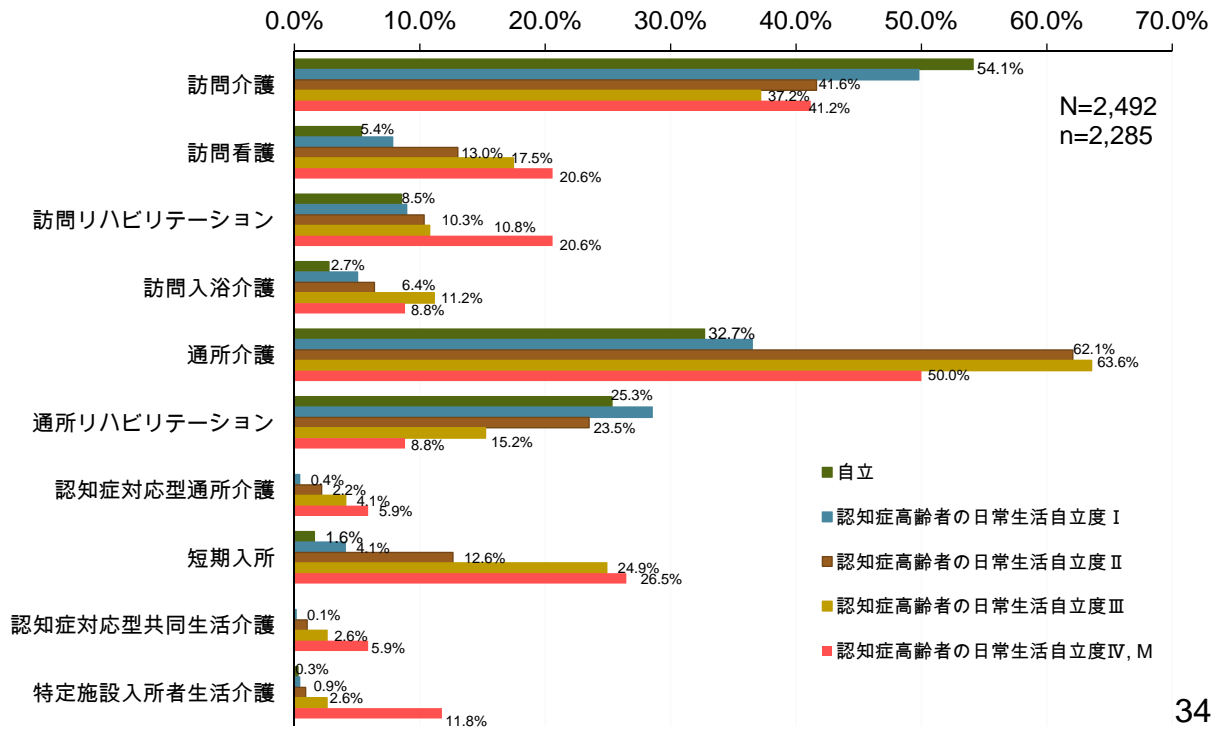
介護者が困っていること／認知症自立度

介護者が困っていることについて、認知症高齢者の日常生活自立度別に見てみると、自立及び自立度Ⅰの方と比べて、自立度Ⅱ以上の方は、「経済的負担が大きい」「心身の負担が大きい」「自分の時間がとれない」「自分の健康管理ができない」が特に高くなっている。



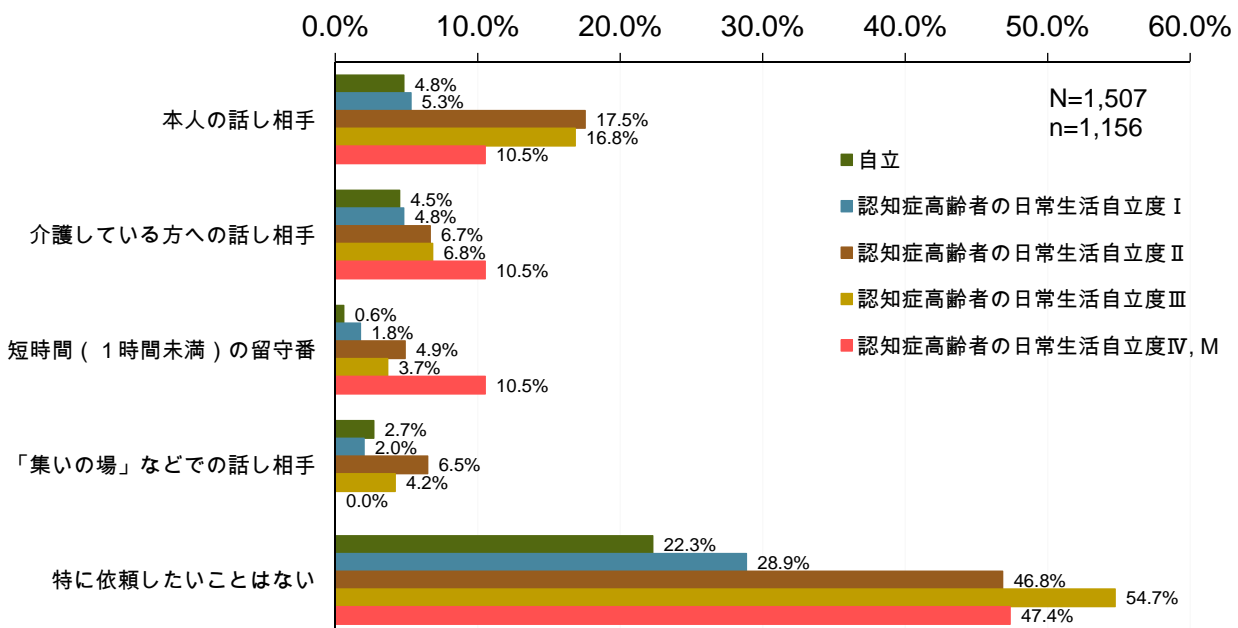
利用しているサービス／認知症自立度

認知症高齢者の日常生活自立度別に利用している介護サービスを見たところ、自立及び自立度Ⅰの方と比べて、自立度Ⅱ以上の方は、「通所介護」と「短期入所」の利用が大幅に増加している。



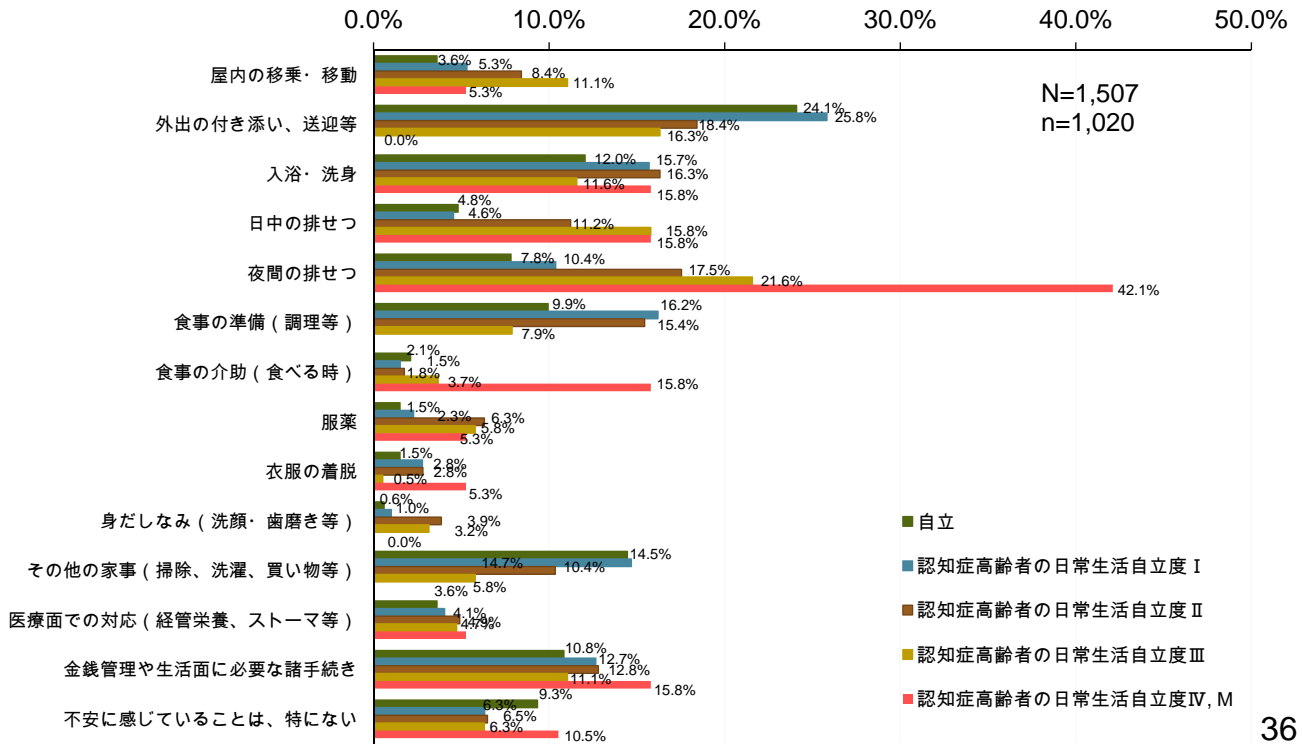
認知症サポーターに依頼したいこと／認知症自立度

介護者が認知症サポーターに依頼したいことについて、介護を受けている方の認知症高齢者の日常生活自立度別に見てみると、自立及び自立度Ⅰの方を介護している介護者と比べて、自立度Ⅱ以上の方を介護している介護者は、「本人の話し相手」が特に多くなっている。



介護者が不安に感じること／認知症自立度

介護者が不安に感じることについて、認知症高齢者の日常生活自立度別に見てみると、自立及び自立度Ⅰの方と比べて、自立度Ⅱ以上の方は、「日中の排せつ」「夜間の排せつ」「服薬」に対する不安が特に多くなっている。



第7期神戸市介護保険事業計画策定に 向けての実態調査結果

(最終報告)

施設入所者調査

定員数

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設	特定施設	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム
施設数 (回答数)	80施設	43施設	5施設	74施設	48施設	86施設
定員数	4,807人	一般棟 3,028人 専門棟 1,217人 計 4,245人	270人	5,811人	1,440人	1,624人
1施設あたり 平均※	60.9人	97.0人	54.0人	78.5人	33.5人	18.9人

※「1施設あたり平均」は、定員数の設問に回答があった施設の平均。

2

申込者数

	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設	特定施設	サービス付き高齢者向け住宅	グループホーム
施設数 (回答数)	80施設	43施設	5施設	74施設	48施設	86施設
申込者数 ^(※1) (うち神戸市 在住者)	7,895人 (6,221人)	73人 (59人)	16人 (10人)	228人 (185人)	125人 (98人)	246人 (239人)
1施設あたり 平均 ^(※2) (うち神戸市 在住者)	129.4人 (103.7人)	2.1人 (1.7人)	4.0人 (3.3人)	3.5人 (2.8人)	3.0人 (2.5人)	3.5人 (3.4人)

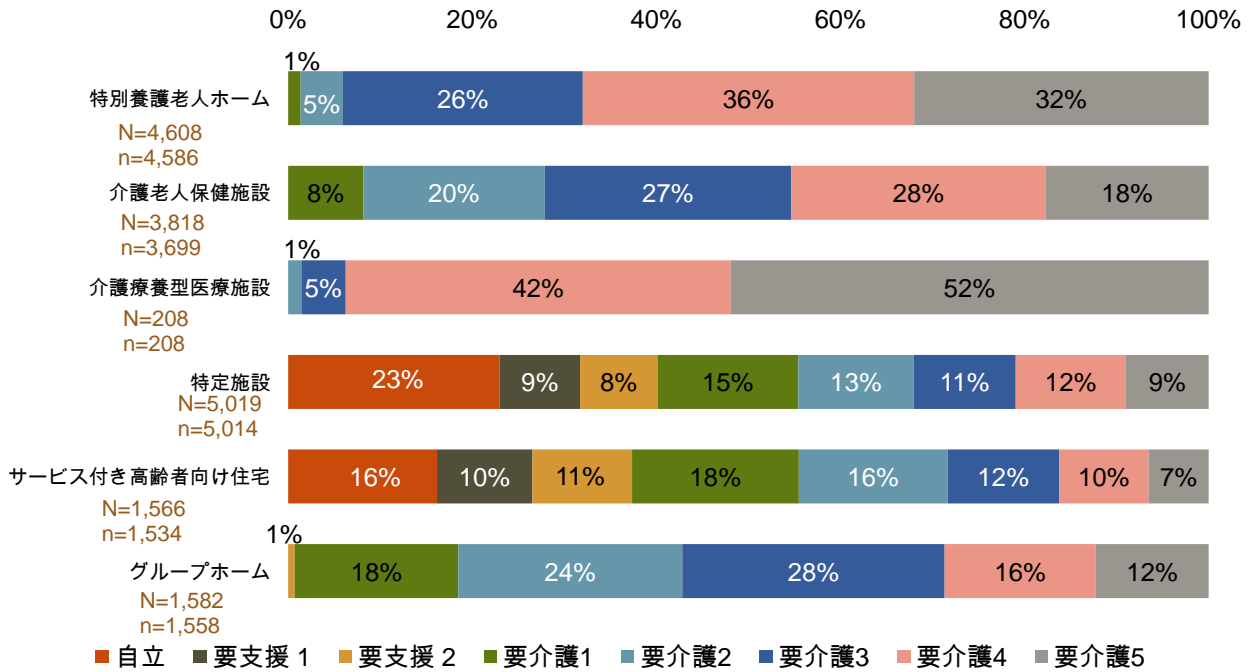
※1：回答施設の申込者数の合計。複数施設への申込者は重複してカウント。

※2：「1施設あたり平均」は、申込者数の設問に回答があった施設の平均。

3

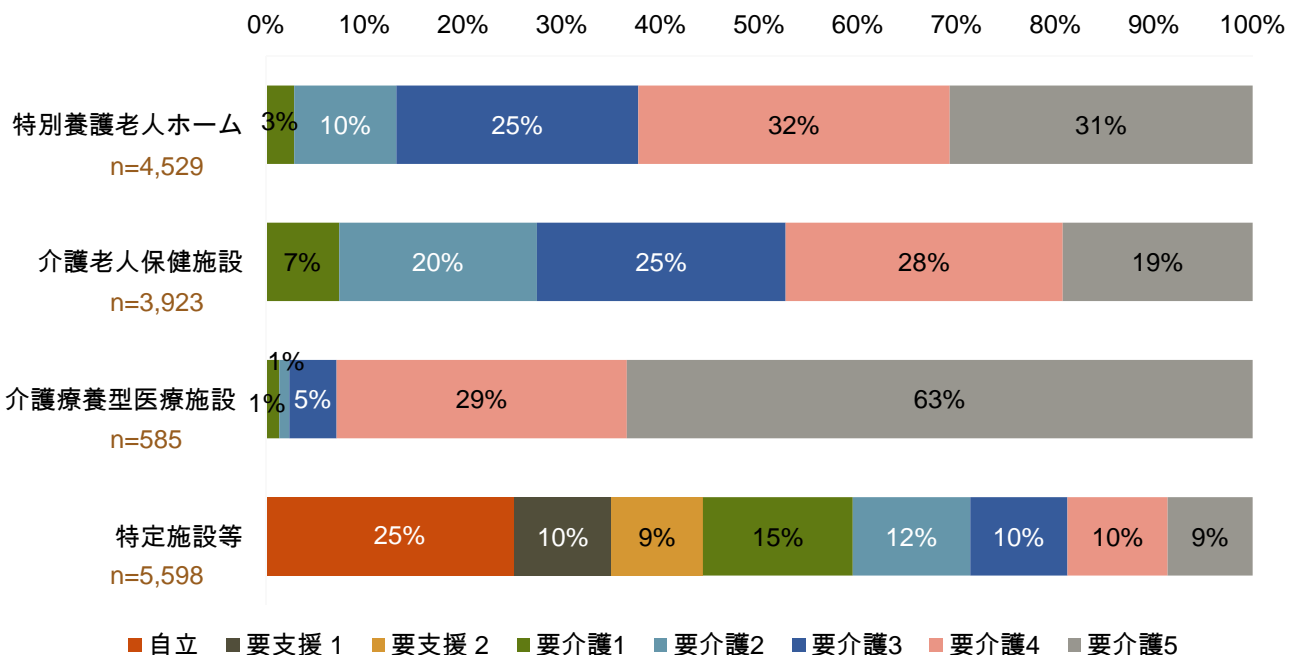
入所者の要介護度

前回調査と比較すると、特別養護老人ホーム(以下「特養」)では、要介護4が4ポイント増加している。要介護1・2は、入所基準の変更に伴い減少している。介護老人保健施設(以下「老健」)は概ね前回調査と同じ状況。特定施設、サービス付き高齢者向け住宅(以下「サ高住」)には、自立の方が約2割おられる。



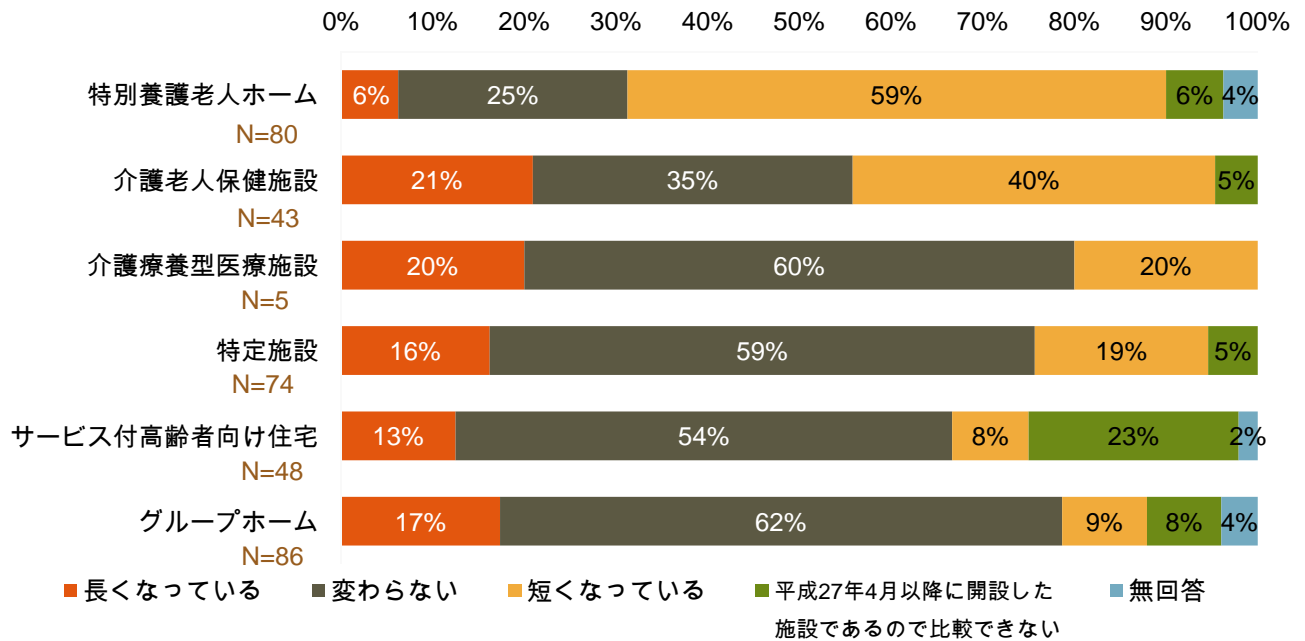
入所者の要介護度

参考：平成25年度調査



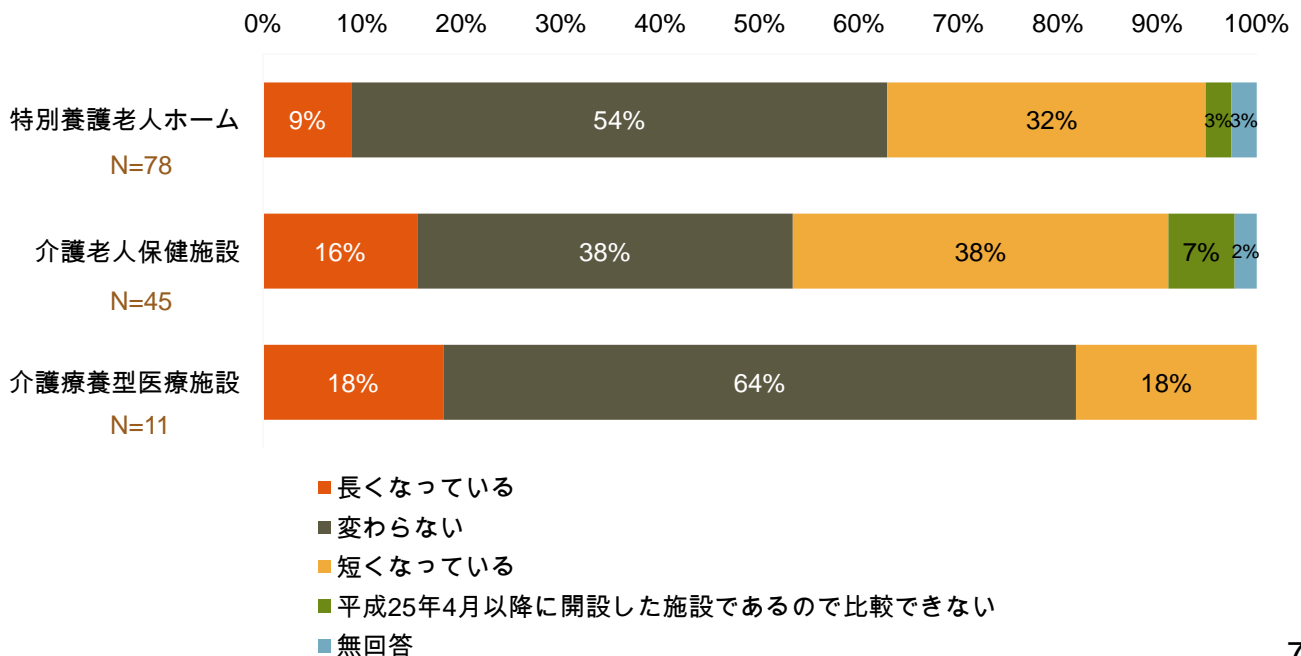
退所・退院者の入所・入院期間の変化

2～3年前と比較した退所・退院者の平均入所・入院期間をたずねたところ、前回調査と比較して、特養では、「長くなっている」が3ポイント減少し、「短くなっている」が27ポイント増加している。老健では、「長くなっている」が5ポイント増加している。



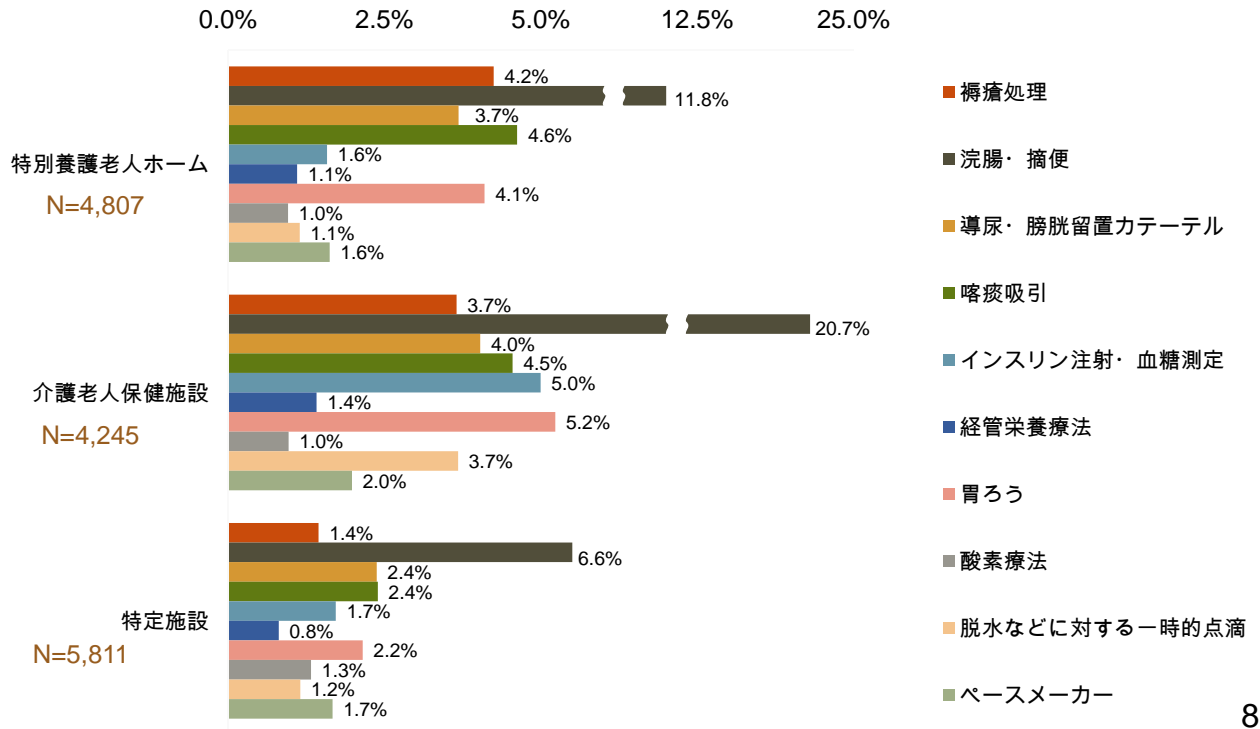
退所・退院者の入所・入院期間の変化

参考：平成25年度調査

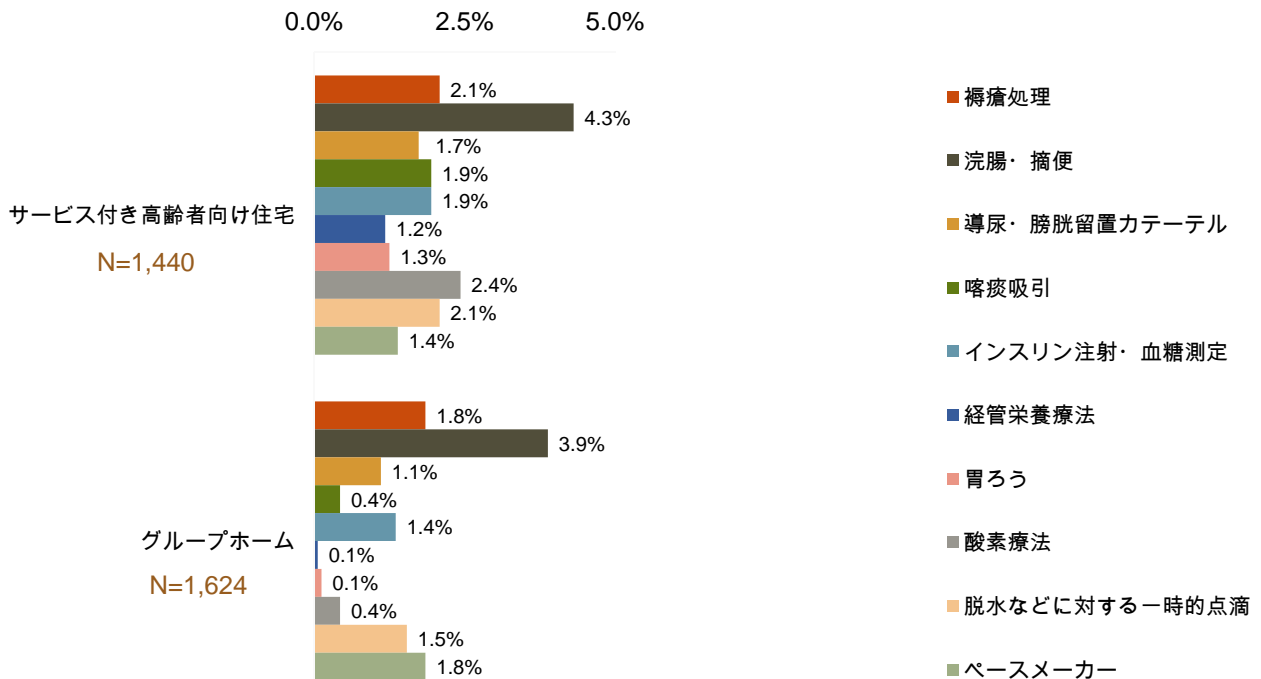


医療ケアの状況 (医療を必要とする入所者の比率)

i) 特養では、「浣腸・摘便」11.8%、「喀痰吸引」4.6%、「褥瘡処理」4.2%の順に多くなっている。
 ii) 老健では、「浣腸・摘便」20.1%、「胃ろう」5.0%、「インスリン注射・血糖測定」5.2%の順に多くなっている。
 iii) 特定施設では、「浣腸・摘便」6.0%、「喀痰吸引」・「導尿・カテーテル」2.4%の順に多くなっている。

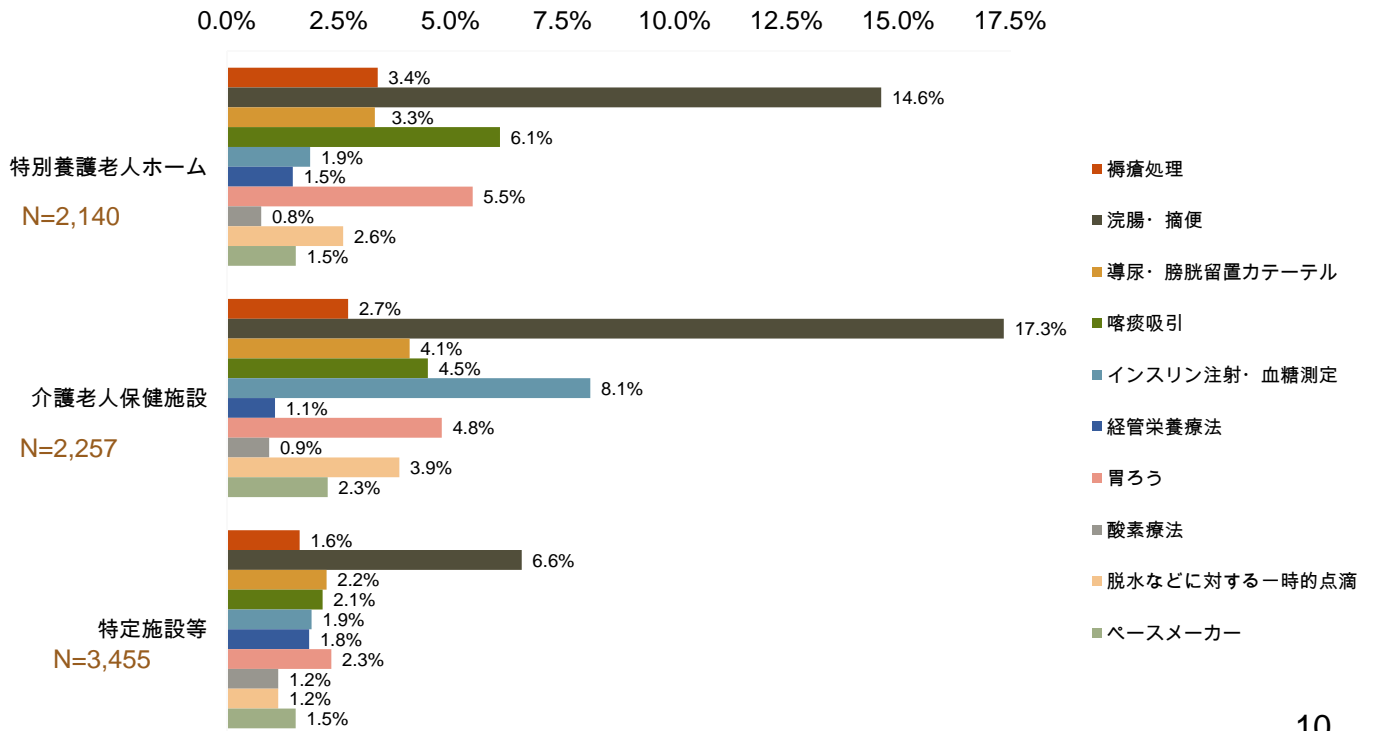


医療ケアの状況 (医療を必要とする入所者の比率)



医療ケアの状況 (医療を必要とする入所者の比率)

参考：平成25年度調査

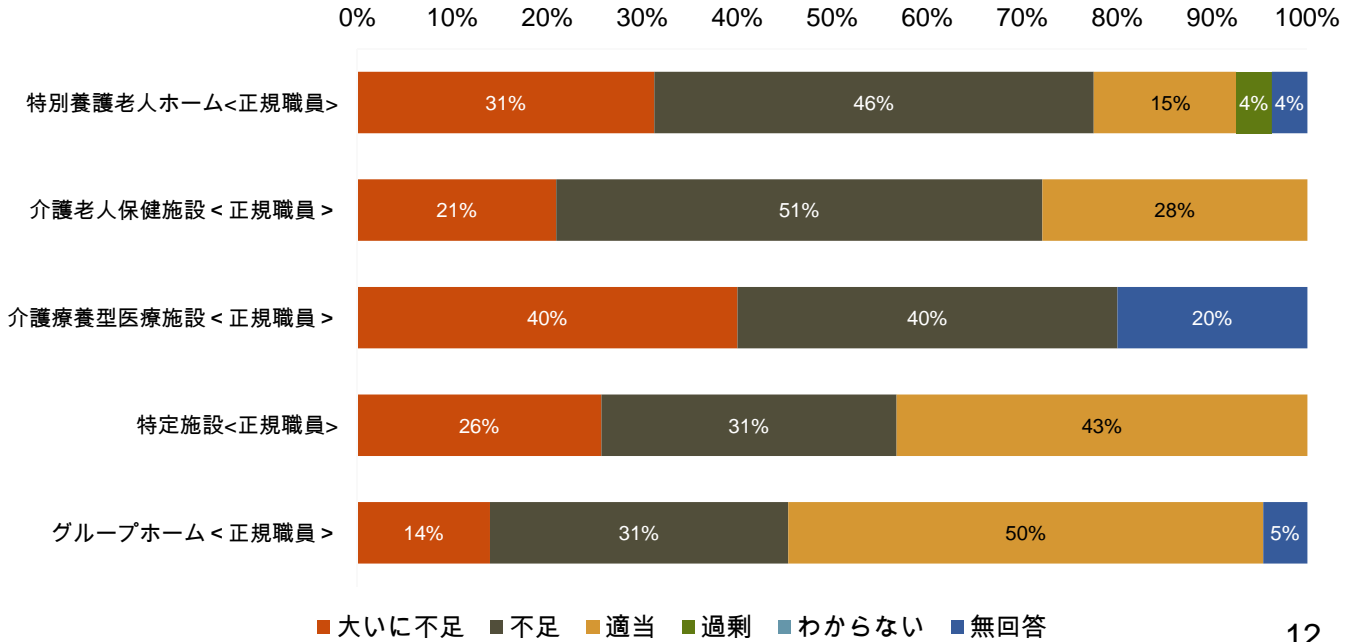


10

職員の充足状況（正規職員）

「大いに不足」「不足」を合わせた割合は、特養77% (61%)、老健72% (40%)、特定施設57%、グループホーム45%となっている。
 特に特養においては、前回調査では「大いに不足」は3%であったが、今回は31%となる一方、「適当」が前回調査と比べて17%減少している。

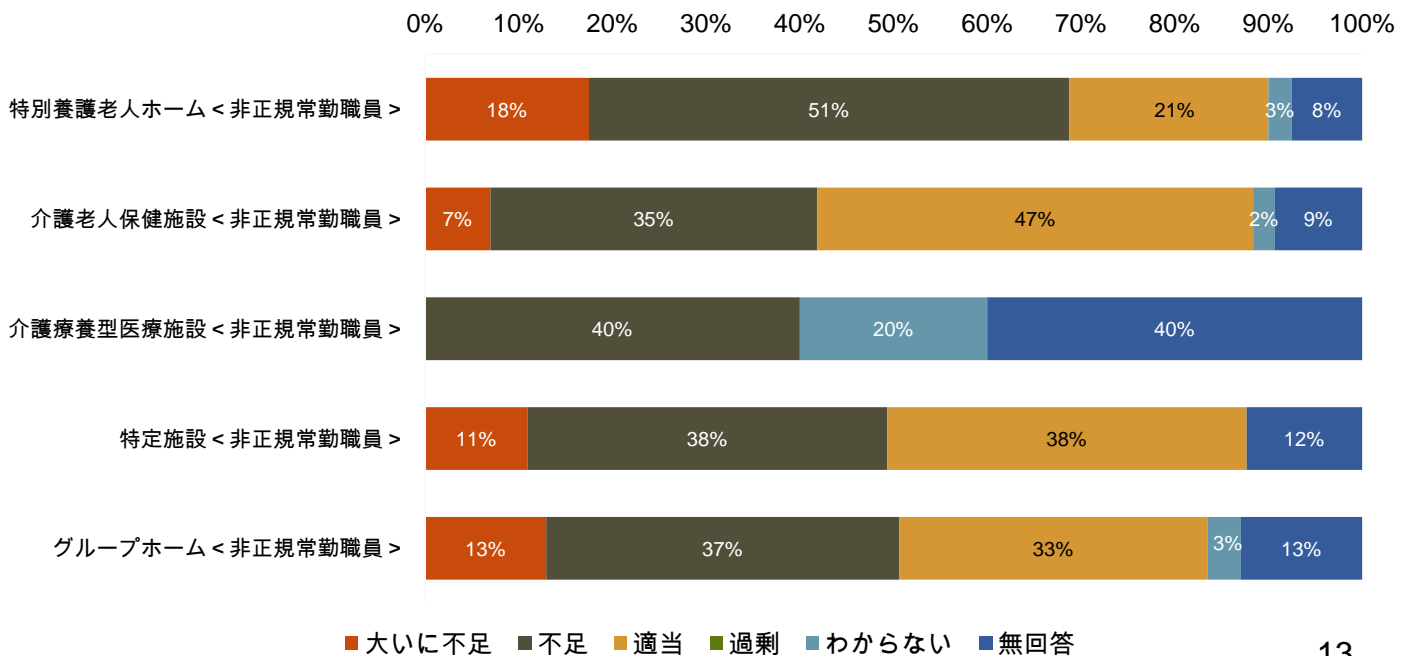
特別養護老人ホーム：N=80、介護老人保健施設：N=43、介護療養型医療施設：N=5、特定施設等：N=74
 グループホーム：N=86



職員の充足状況（非正規職員）

「大いに不足」「不足」を合わせた割合は、特養69% (48%)、老健42% (33%)、特定施設等49% (29%)、グループホーム50%となっている。

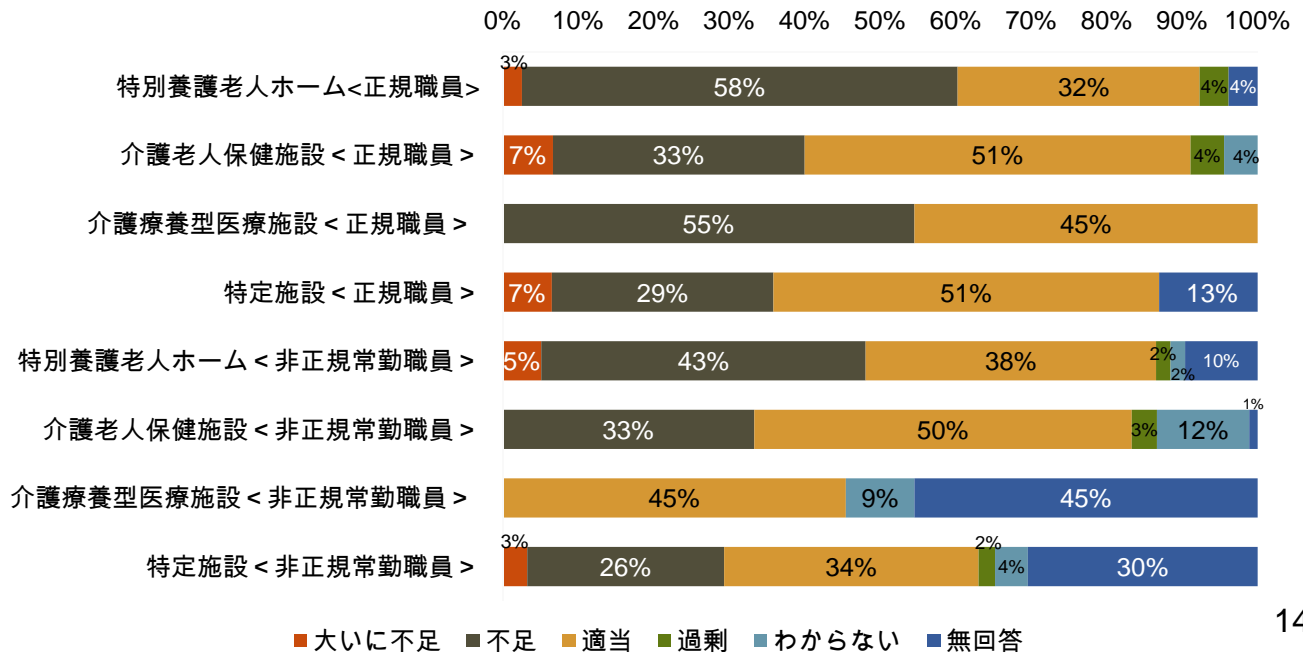
特別養護老人ホーム：N=80、介護老人保健施設：N=43、介護療養型医療施設：N=5、特定施設等：N=74
 グループホーム：N=86



職員の充足状況

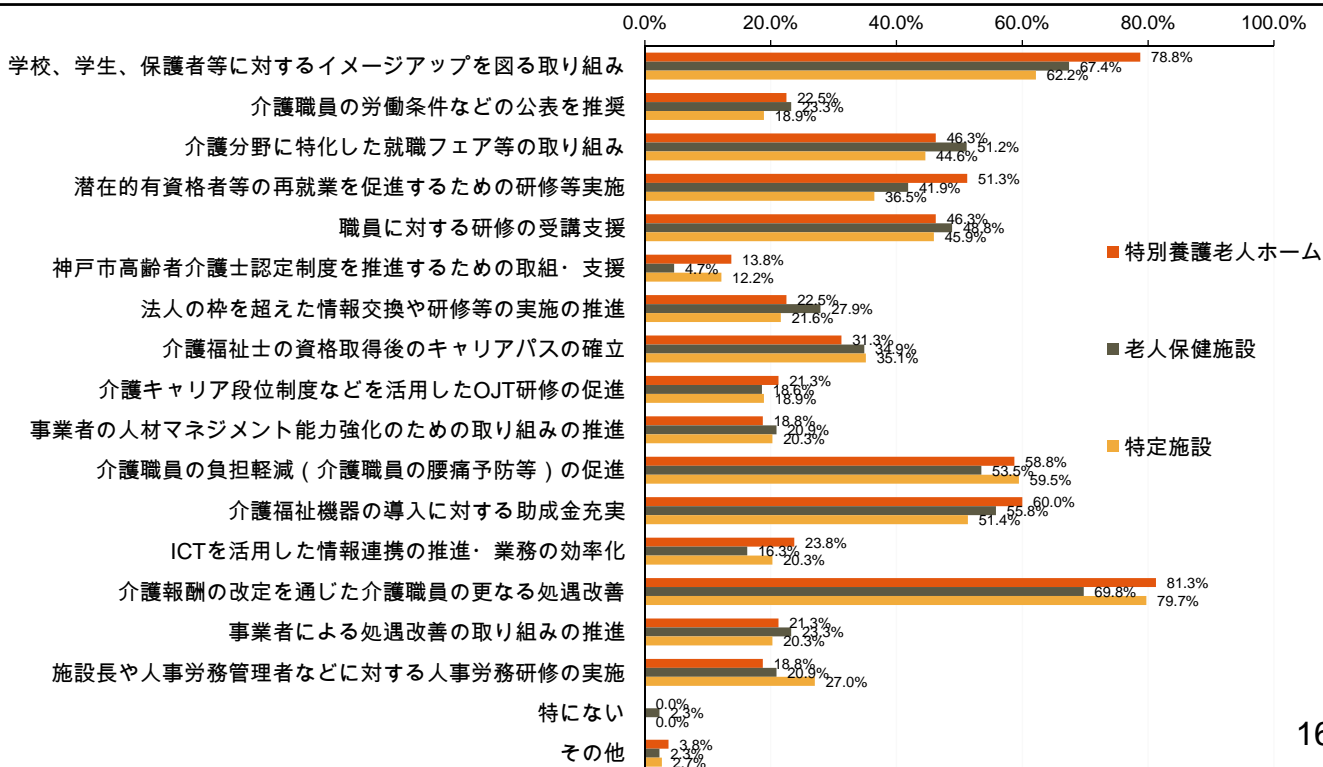
参考：平成25年度調査

特別養護老人ホーム：N=78、介護老人保健施設：N=45、介護療養型医療施設：N=11、特定施設等：N=92

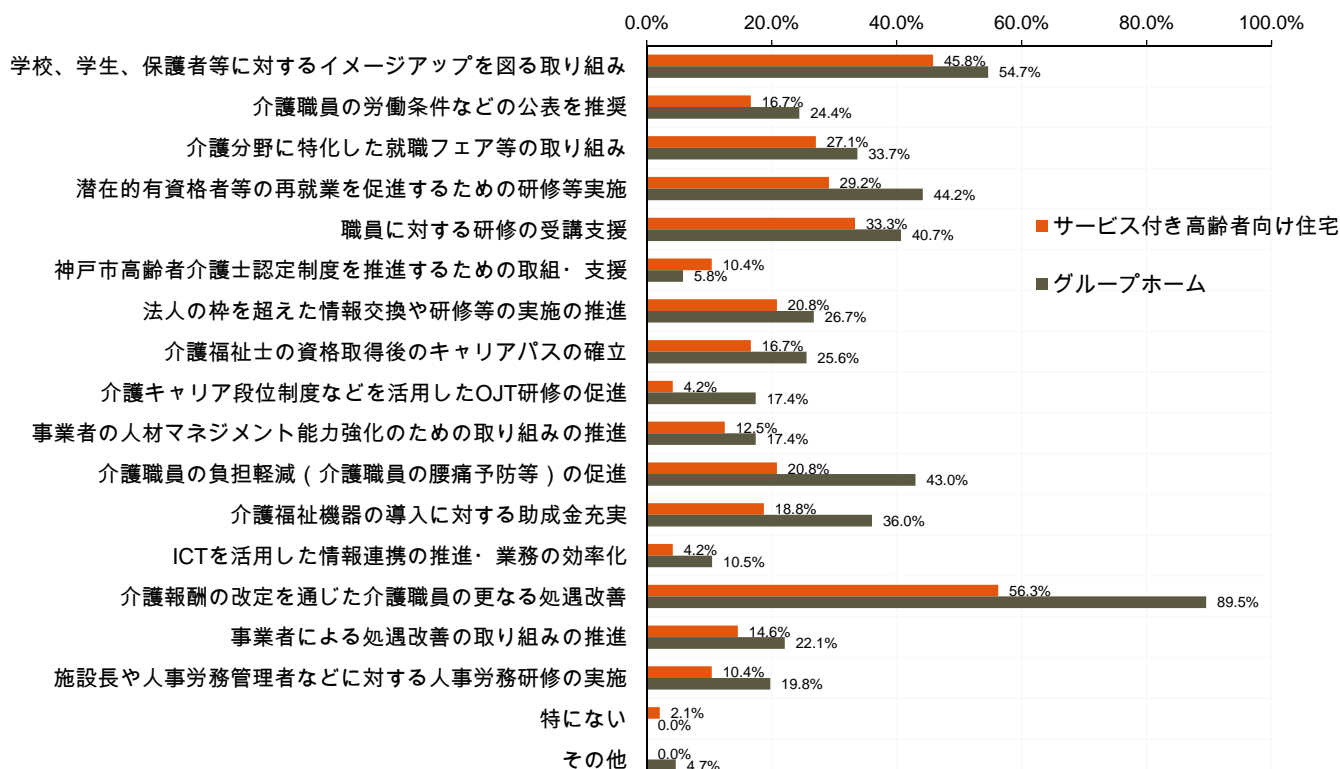


介護人材確保・育成に対する行政への期待（1）

介護人材の確保・育成について、行政・事業者団体に期待することは何かをたずねたところ、「学校、学生、保護者等に対する介護職のイメージアップを図る取り組み」、「就職フェア等の取り組み」、「介護職員の負担軽減（腰痛予防等）の促進」、「介護福祉機器の導入などに対する助成金充実」、「介護報酬の改定を通じた更なる処遇改善」の回答が多くなっている。

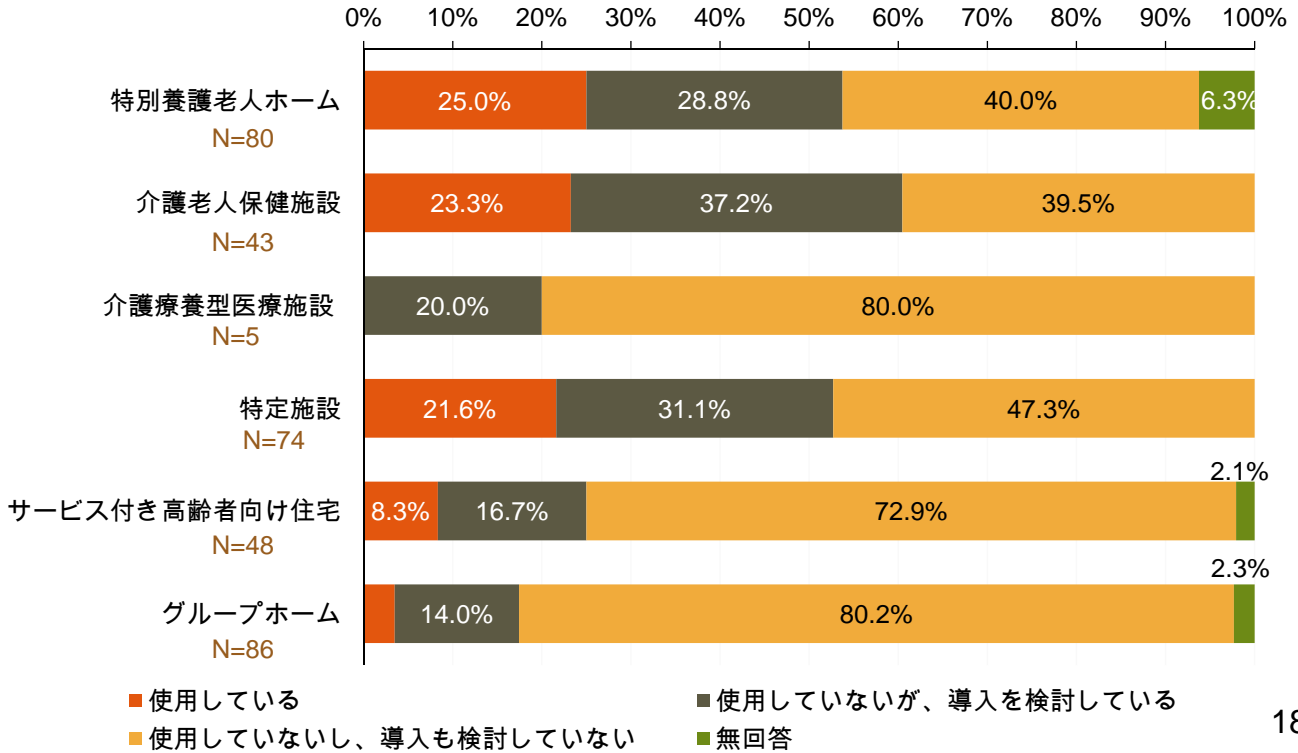


介護人材確保・育成に対する行政への期待（2）



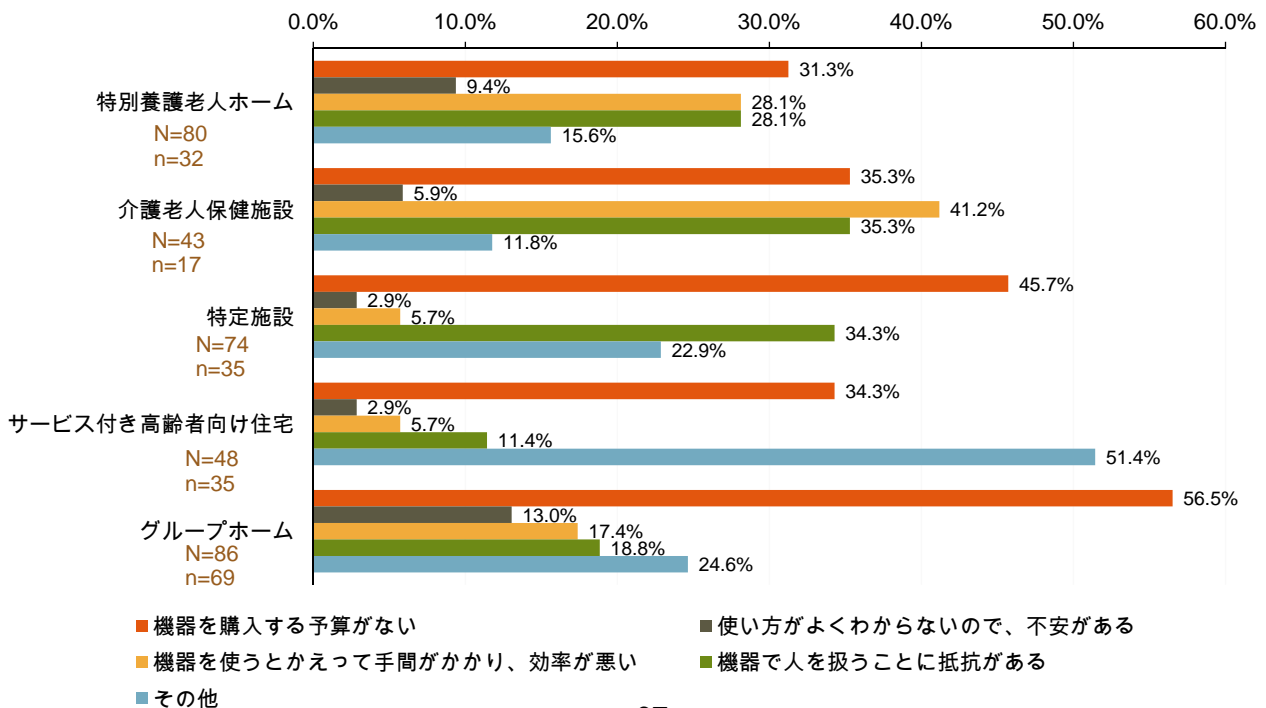
介助用リフトや介護ロボットの使用状況

「使用している」と回答したのは、特養25.0%、老健23.3%、特定施設21.6%、サ高住8.3%、グループホーム2.9%となっている。サ高住、グループホームでは、「導入も検討していない」が、それぞれ72.9%、80.2%と高くなっている。



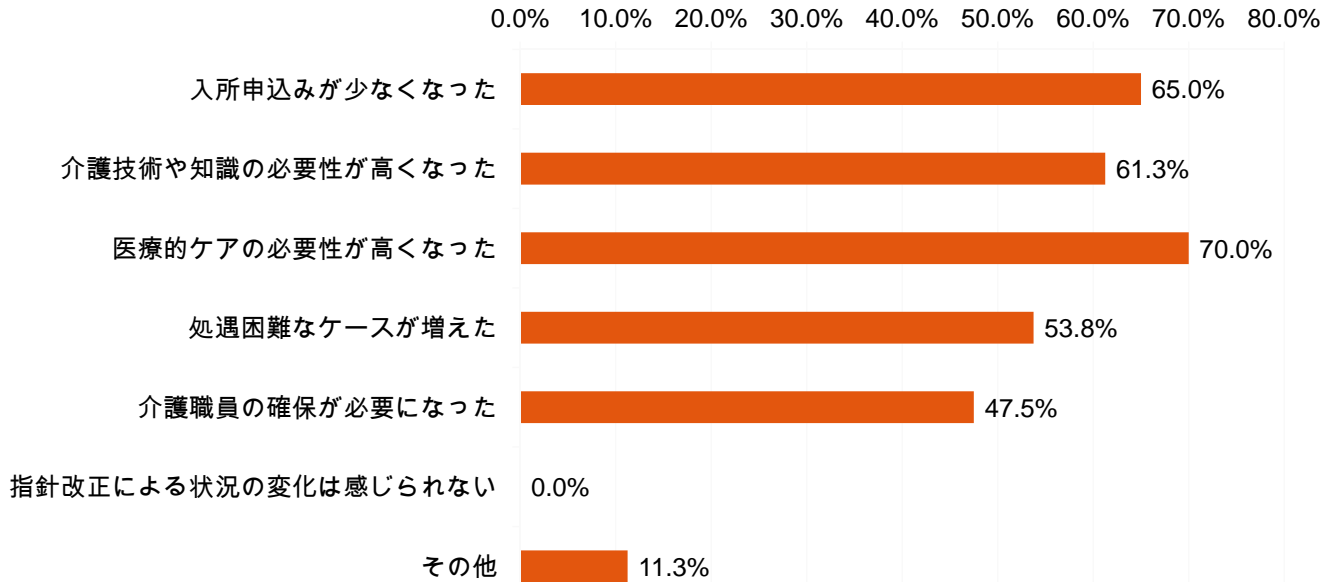
介助用リフトや介護ロボットを使用しない理由

介助用リフトや介護ロボットの導入を検討していないと回答した事業者に対し、その理由をたずねたところ、「機器を購入する予算がない」が、特養31.3%、老健35.3%、特定施設45.7%、サ高住34.3%、グループホーム56.5%と多くなっている。特養と老健では、「機器を使うとかえって手間がかかり、効率が悪い」も、特養28.1%、老健41.2%と多くなっている。



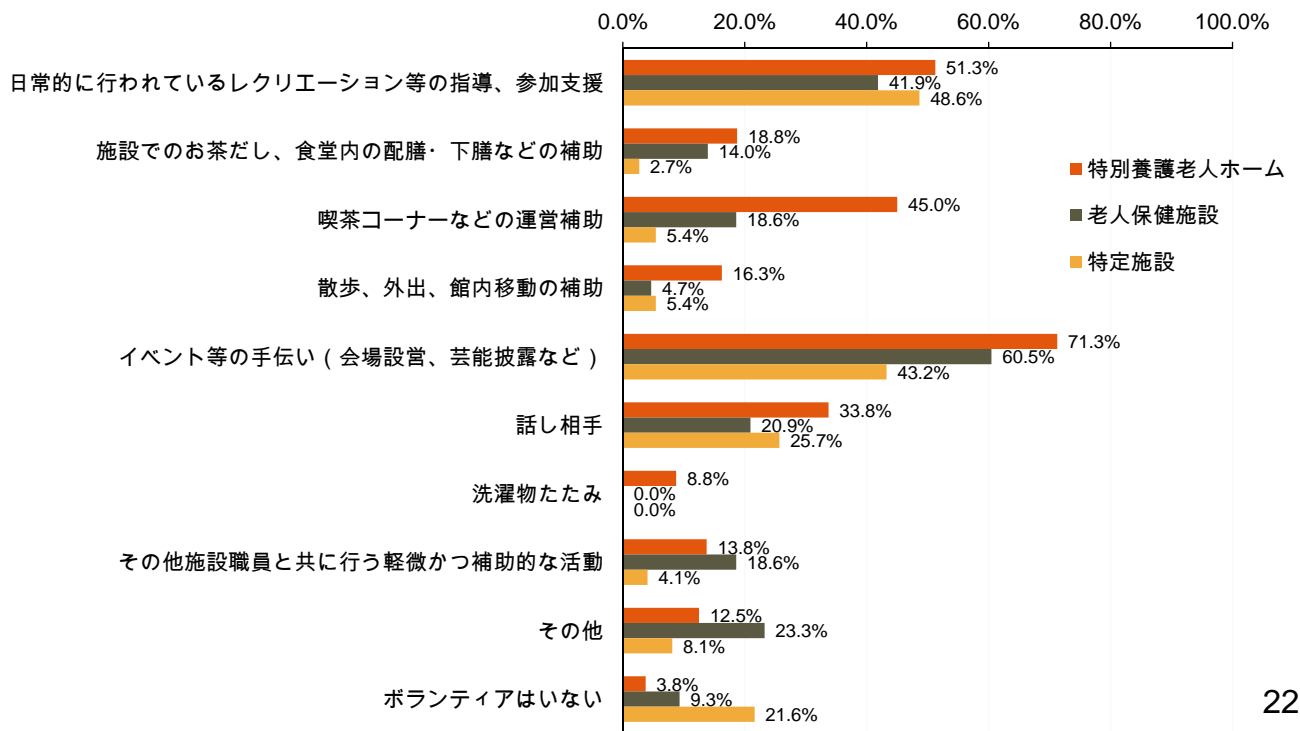
特別養護老人ホーム入所指針改正の影響

平成27年4月から特別養護老人ホームの入所基準が、原則、要介護3以上となったことへの影響をたずねたところ、「医療的ケアの必要性が高くなった」が70.0%と最も多く、次いで「入所申し込みが少なくなった」65.0%、「介護技術や知識の必要性が高くなった」61.3%、「処遇困難なケースが増えた」53.8%、「介護職員の確保が必要になった」47.5%の順に多くなっている。「指針改正による状況の変化は感じられない」と回答した法人はなかった。



ボランティア活動 (1)

いずれの施設等においても、「日常的に行われているレクリエーション等の指導、参加支援」「イベント等の手伝い」が多くなっている。特養では、「施設でのお茶だし、食堂内の配膳・下膳などの補助」「喫茶コーナーなどの運営補助」「散歩、外出、館内移動の補助」「話し相手」が他の施設等より多くなっている。



ボランティア活動 (2)

